

地域の相談・支援体制に関するアンケート 【民生委員・児童委員対象】

調査結果報告書

平成 29 年 5 月

日本地域福祉学会研究プロジェクト

平成 27-29 年度科学研究費補助金基盤研究 (B) 「コミュニティ再生に向けた地域福祉実践理論の
構築とその研究方法論の確立に関する研究」 (課題番号: 15H03434)

代表 市川一宏 (ルーテル学院大学)

はじめに

現在、全世代を対象とする地域包括支援体制の構築が喫緊の課題となっています。日本地域福祉学会研究プロジェクトは、こうした現状を踏まえ、相談・支援体制の現状を把握することを目的に、東京都三鷹市、長野県茅野市、三重県名張市、宮崎県都城市の4市において、地域の福祉の実情に精通している民生委員・児童委員を対象に調査を実施しました。

おかげさまで多くの民生委員・児童委員の皆様にご協力いただき、高い回収率を得ることができました。ご多忙の中、ご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。

本調査では、各地が独自に構築してきた相談・支援体制が一定の成果を上げていることが明らかになるとともに、課題もあることが明らかになりました。この調査結果が、地域で日々奮闘されている民生委員・児童委員をはじめとする皆様に、少しでもお役に立てれば幸いです。

本調査は、平成27-29年度科学研究費補助金基盤研究(B)「コミュニティ再生に向けた地域福祉実践理論の構築とその研究方法論の確立に関する研究」(課題番号:15H03434)(研究代表 市川一宏)の助成を受けて実施しました。日本地域福祉学会研究プロジェクトでは、今後さらに分析を深め、持続可能な地域包括支援体制の構築方法を発信するよう取り組んでいきたいと考えています。

最後になりますが、皆様の今後ますますのご健勝をお祈りいたします。

平成29年5月

日本地域福祉学会研究プロジェクト
代 表 市川 一宏
(ルーテル学院大学)

も く じ

【調査結果】

東京都三鷹市	1
長野県茅野市	33
三重県名張市	61
宮崎県都城市	89

【調査票】

東京都三鷹市	117
長野県茅野市	125
三重県名張市	133
宮崎県都城市	141

日本地域福祉学会研究プロジェクト名簿	149
--------------------	-----

地域の相談・支援体制に関するアンケート 三鷹市

調査結果報告書

目次

I. 調査概要	3
① 調査の目的.....	3
② 調査対象及び調査方法	3
③ 調査票の回収状況.....	3
④ 報告書の見方.....	3
II. 調査結果	4
1. 最初に思い浮かべる「地域」の範囲	4
2. 困りごとの相談を受ける経路.....	5
3. 困りごとを抱えている住民を発見する機会	7
4. 福祉に関わる困りごとの相談窓口	9
5. 民児協以外の相談相手	10
6. 困りごとを抱えている人がいたときの行動	11
7. 支え合い活動の取り組みで住民がまとまりやすい拠点（場所）	13
8-1. 市役所の福祉関係課の窓口の利便性	14
8-2. 地域包括支援センターの利便性	15
8-3. 社会福祉協議会の利便性.....	16
9-1. 地域包括支援センターについて	17
9-2. 社会福祉協議会について.....	19
10-1. 地域ケアネットワークについて.....	21
10-2. ほのぼのネットについて.....	23
11. 自分が人を信頼できるかについて.....	25
12. 地域の人々がお互いを信頼し合っているかについて.....	26
13. 地域の人々の民生委員・児童委員の理解度.....	27
14. 民生委員・児童委員の任期	28
15. 民生委員・児童委員としての役割.....	29
16. 担当区域内での居住歴.....	30
17. 地域での活動内容.....	31

I. 調査概要

① 調査の目的

本調査は、日本地域福祉学会の研究プロジェクトにおいて、「コミュニティ再生に向けた地域福祉実践理論の構築とその研究方法論の確立に関する研究」をテーマに研究を進めている一環として、地域における相談・支援体制の実態を把握することを目的に実施しました。

② 調査対象及び調査方法

- (1) 調査地域：三鷹市内全域
- (2) 調査対象：民生委員・児童委員
- (3) 標本数：111 サンプル
- (4) 調査時期：2017年2月15日～28日
- (5) 調査方法：2017年2月15日開催の研修会で配布、郵送による回収。

③ 調査票の回収状況

- (1) 配布数：111件
- (2) 回収数(率)：74件(66.7%)
- (3) 有効回答数(率)：74件(66.7%)
- (4) 無効回答数(率)：0件(0.0%)

④ 報告書の見方

- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が0の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、選択肢の文章を簡略化してある場合もあります。

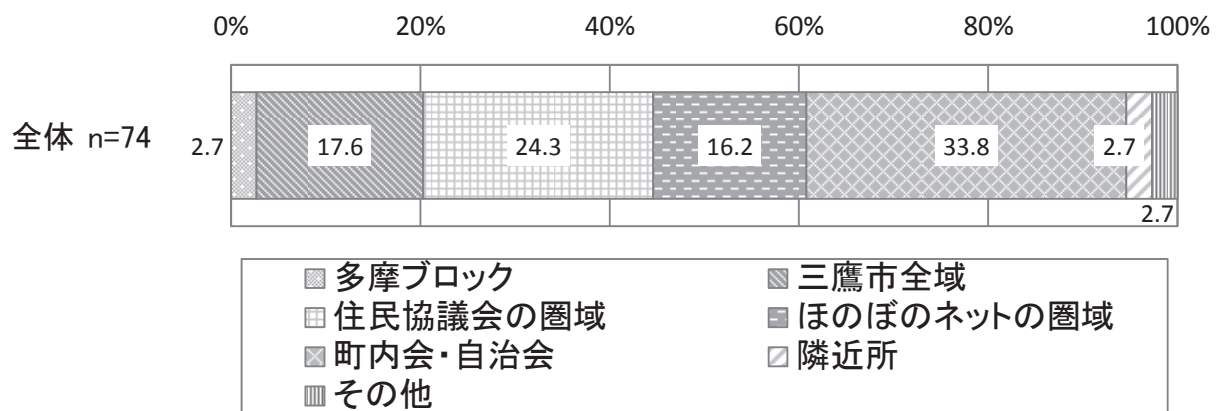
II. 調査結果

1. 最初に思い浮かべる「地域」の範囲

問1 「地域」という言葉を聞いたときに、あなたが最初に思い浮かべる「地域」の範囲は次のどれでしょうか。次の中からあてはまる番号に一つだけに○をつけてください。

「町内会・自治会」が33.8%と最も多く、次いで、「住民協議会の圏域」(24.3%)、「三鷹市全域」(17.6%)の順となっている。

図 1



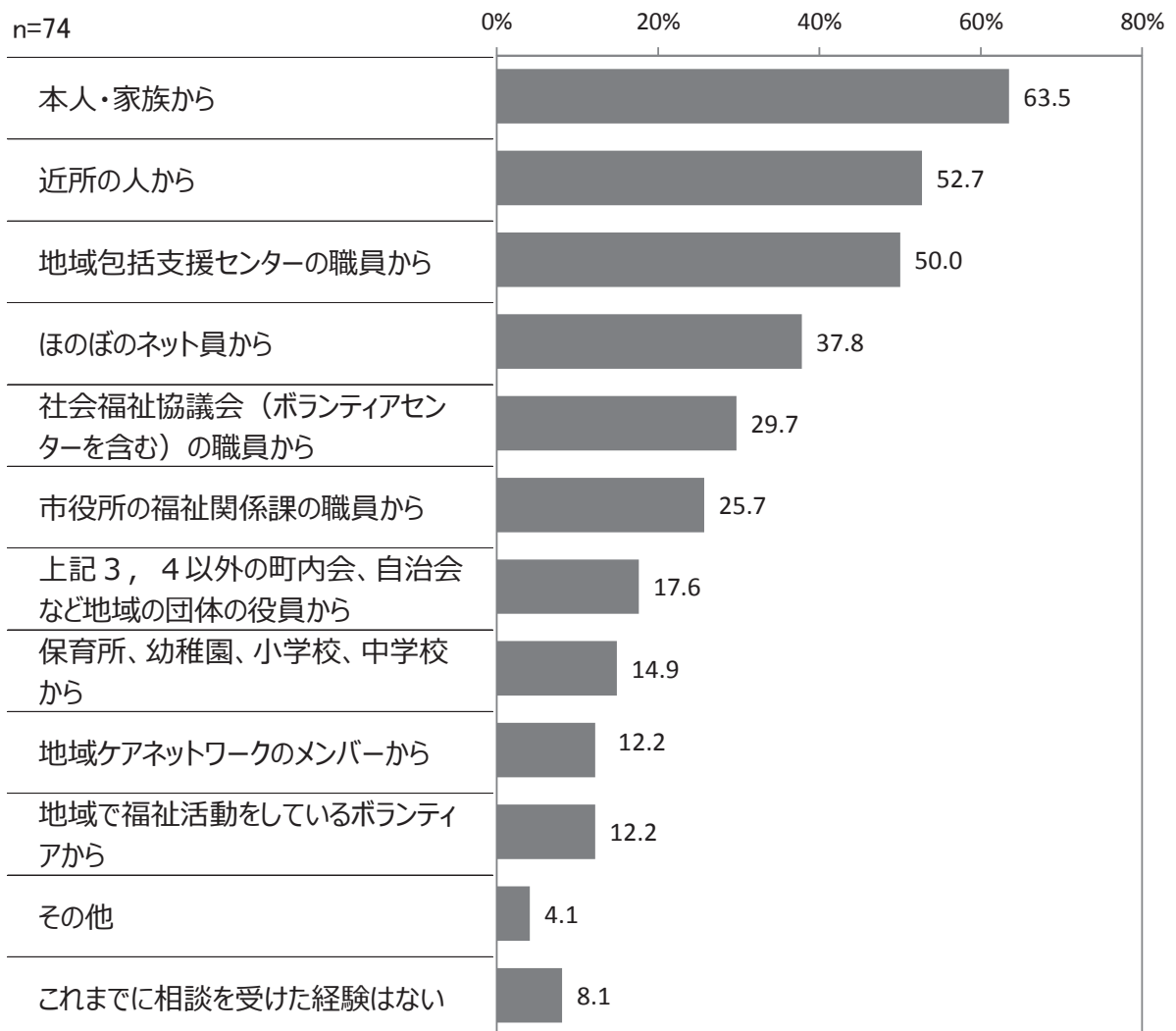
2. 困りごとの相談を受ける経路

問2 あなたは、担当区域の住民の困りごとの相談をどのような経路で受けていますか。もっとも多いものに一つだけ◎をつけ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【相談を受けているすべての経路（◎と○の回答）】

「本人・家族から」が 63.5%と最も多く、次いで、「近所の人から」(52.7%)、「地域包括支援センターの職員から」(50.0%) の順となっている。

図 2

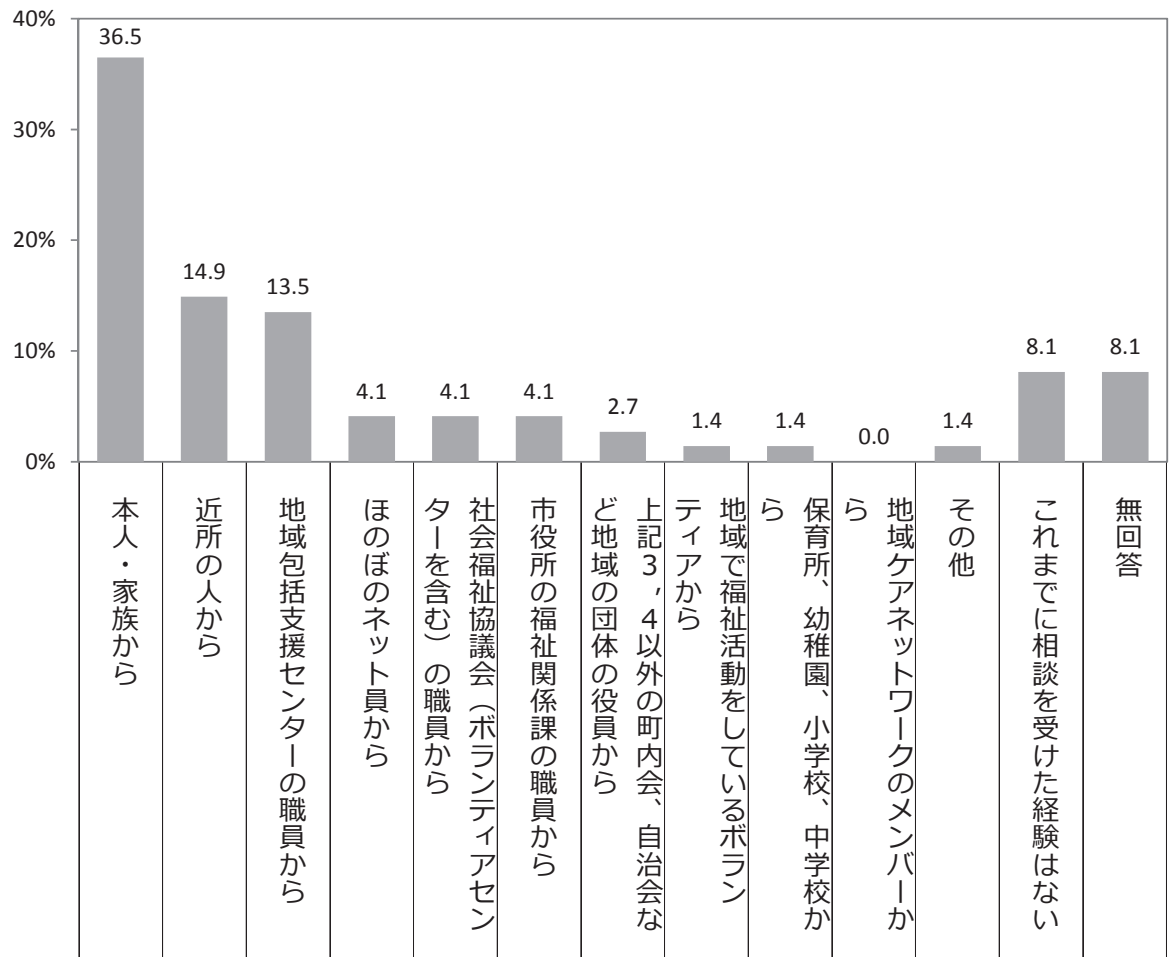


【相談を受けるもっとも多い経路（◎の回答）】

「本人・家族から」が 36.5%と最も多く、次いで、「近所の人から」(14.9%)、「地域包括支援センターの職員から」(13.5%) の順となっている。

図 3

n=74



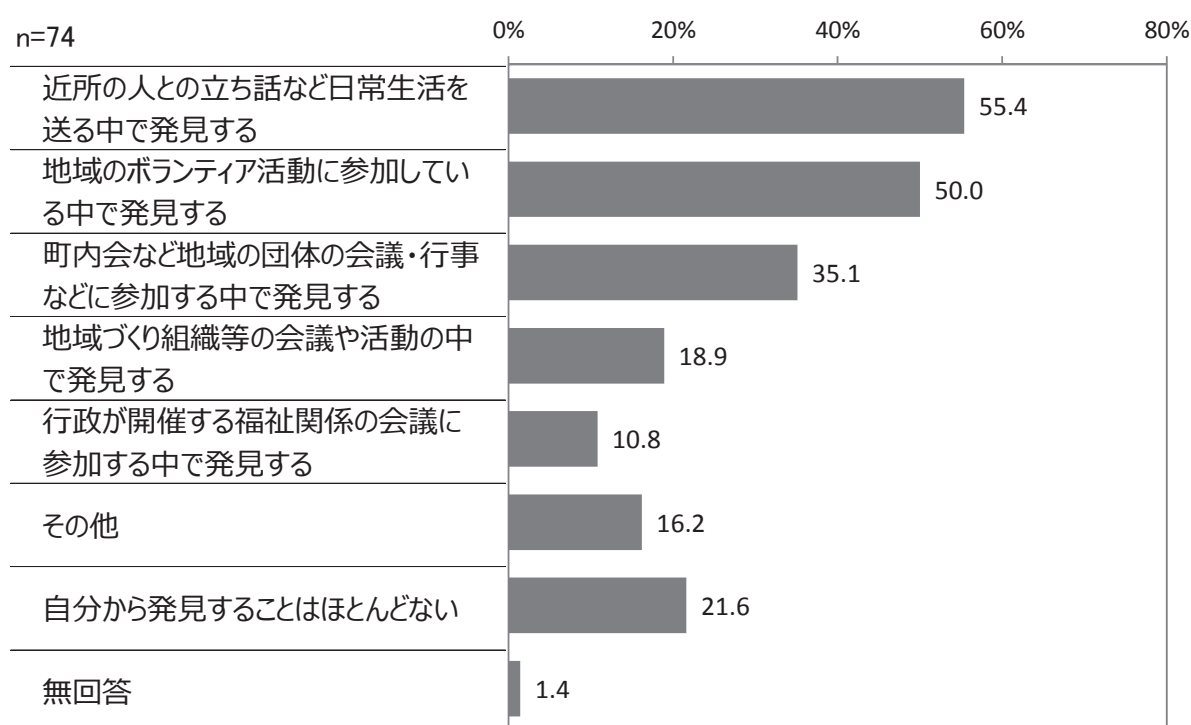
3. 困りごとを抱えている住民を発見する機会

問3 あなたは、民生委員・児童委員として、困りごとを抱えている住民をどのような機会に発見することが多いですか。もっとも多いものに一つだけ◎をつけ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【困りごとを抱えている住民を発見するすべての機会（◎と○の回答）】

「近所の人との立ち話など日常生活を送る中で発見する」が55.4%と最も多く、次いで、「地域のボランティア活動に参加している中で発見する」（50.0%）、「町内会など地域の団体の会議・行事などに参加する中で発見する」（35.1%）の順となっている。

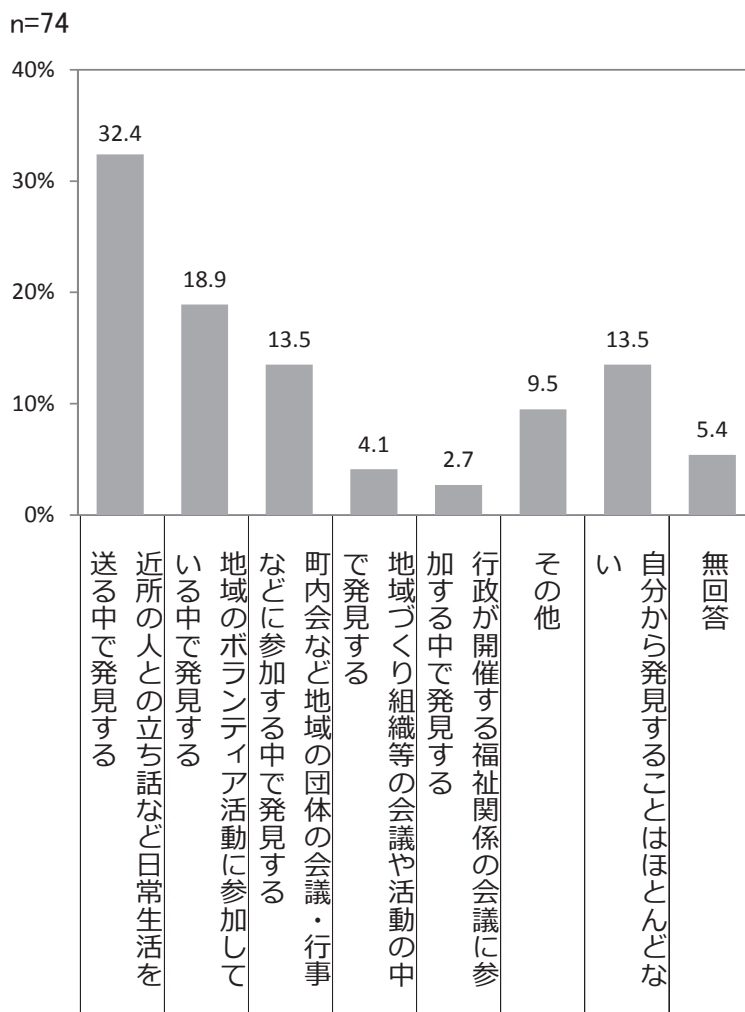
図 4



【困りごとを抱えている住民を発見するもっとも多い機会（◎の回答）】

「近所の人との立ち話など日常生活を送る中で発見する」が32.4%と最も多く、次いで、「地域のボランティア活動に参加している中で発見する」（18.9%）、「町内会など地域の団体の会議・行事などに参加する中で発見する」「自分から発見することはほとんどない」（13.5%）の順となっている。

図 5

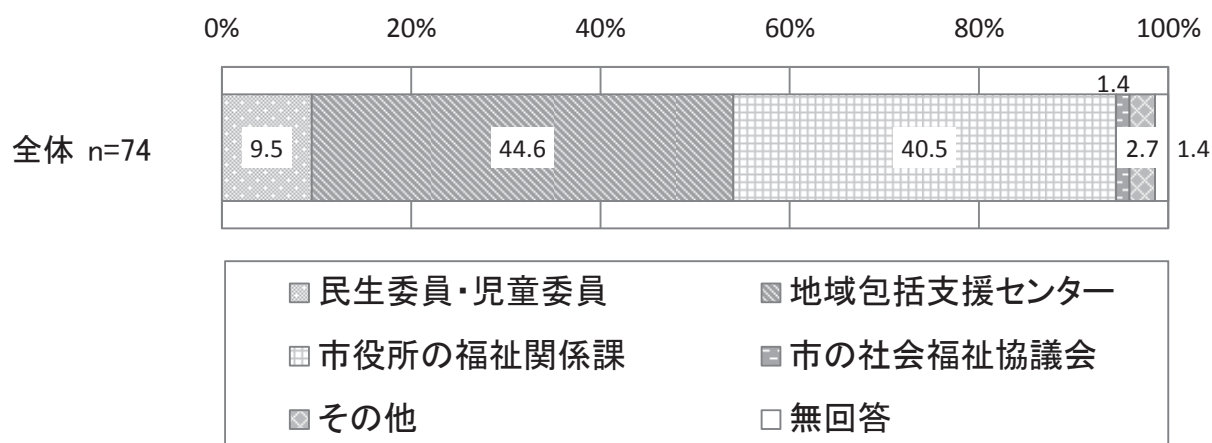


4. 福祉に関わる困りごとの相談窓口

問4 あなたの担当区域では、一般的に、一人暮らしの高齢者が福祉に関わる困りごとを抱えた時に相談に行くのはどの窓口だと思われますか。もっとも多いと思われるものに一つだけ○をつけてください。

「地域包括支援センター」が 44.6%と最も多く、次いで、「市役所の福祉関係課」(40.5%)、「民生委員・児童委員」(9.5%)の順となっている。

図 6



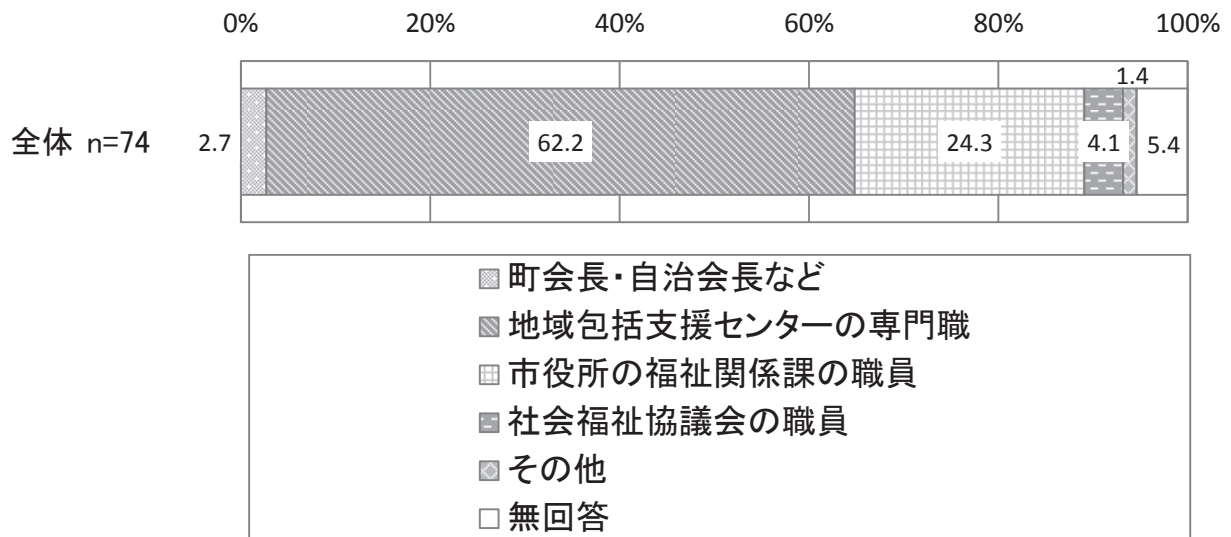
5. 民児協以外の相談相手

【区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

問5 あなたは、民生委員・児童委員として受けた相談を解決するためにつなげる機関やサービスが見つからない時、民児協内で相談する以外に、だれに相談しますか。もっともよく相談する相手に一つだけ○をつけてください。

「地域包括支援センターの専門職」が62.2%と最も多く、次いで、「市役所の福祉関係課の職員」(24.3%)、「社会福祉協議会の職員」(4.1%)の順となっている。

図 7



6. 困りごとを抱えている人がいたときの行動

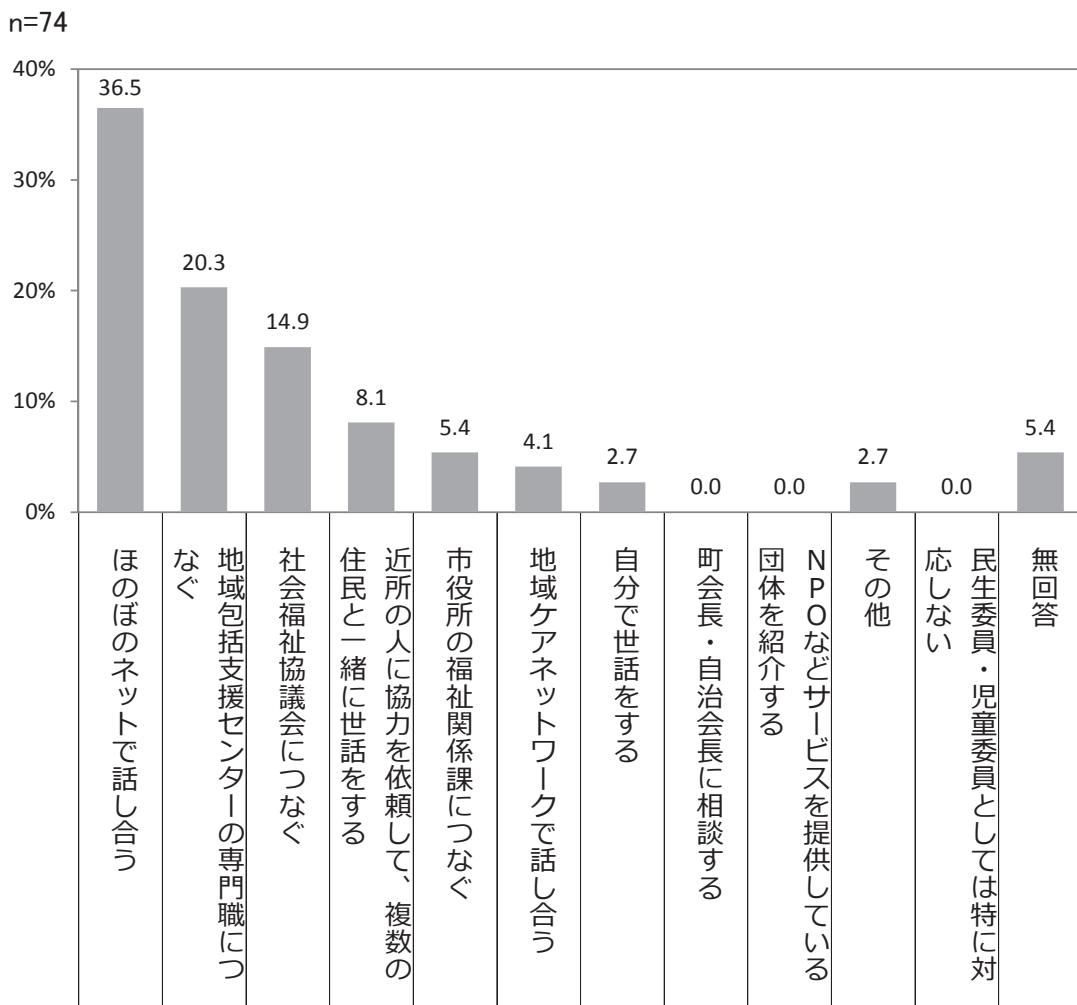
【区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

問6 もし、あなたの担当区域に次のような困りごとを抱えている人がいたら、あなたはどのように行動しますか。行動する可能性がもっとも高いものに一つだけ○をつけてください。

(1) 歩行が困難になりつつある一人暮らしの高齢者が、地域で開かれているサロンに参加したいと思っているが、移動の手段がない。

「ほのぼのネットで話し合う」が 36.5%と最も多く、次いで、「地域包括支援センターの専門職につなぐ」(20.3%)、「社会福祉協議会につなぐ」(14.9%)の順となっている。

図 8



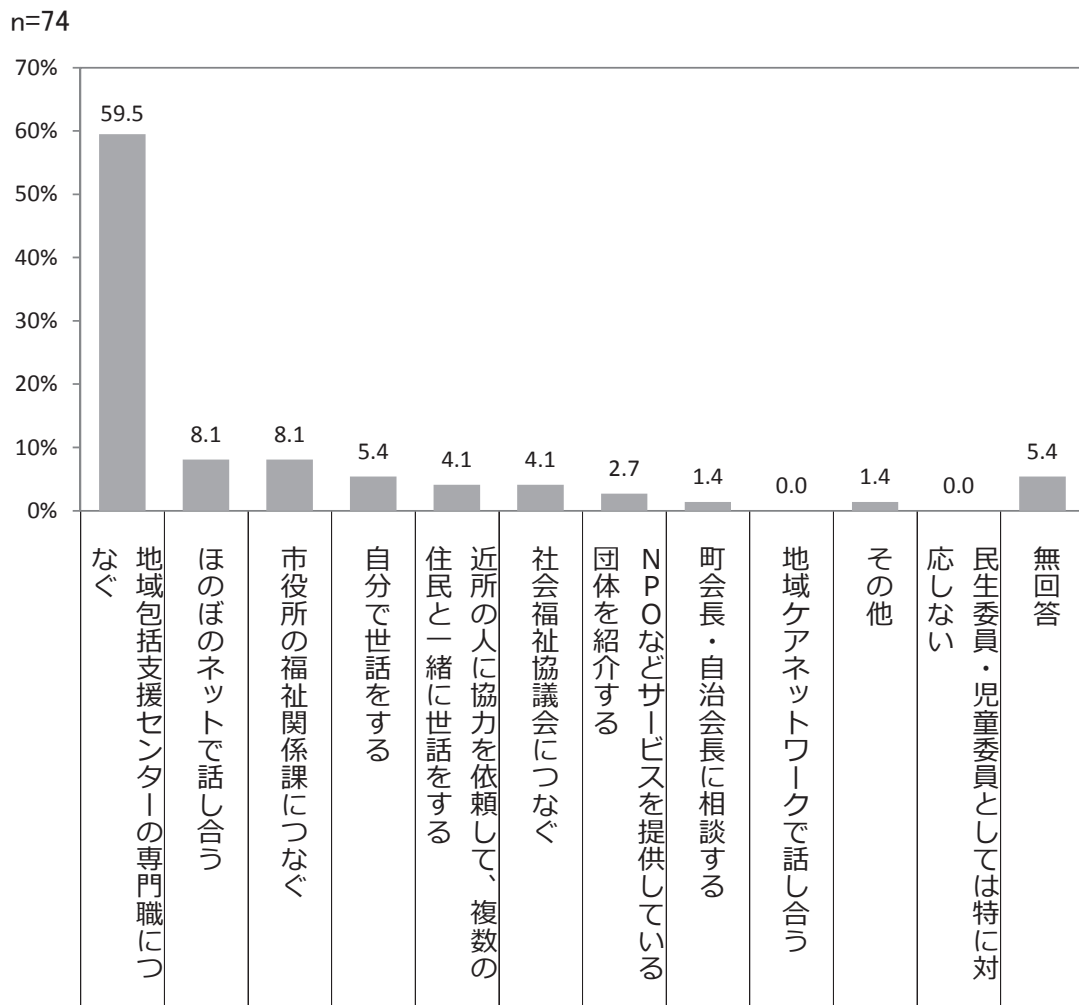
【区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

問6 もし、あなたの担当区域に次のような困りごとを抱えている人がいたら、あなたはどのように行動しますか。行動する可能性がもっとも高いものに一つだけ○をつけてください。

(2) 歩行が困難になりつつある一人暮らしの高齢者が、食料品を購入するための買い物に行くことが難しい。

「地域包括支援センターの専門職につなぐ」が59.5%と最も多く、次いで、「ほのぼのネットで話し合う」「市役所の福祉関係課につなぐ」(8.1%)、「自分で世話をする」(5.4%)の順となっている。

図 9

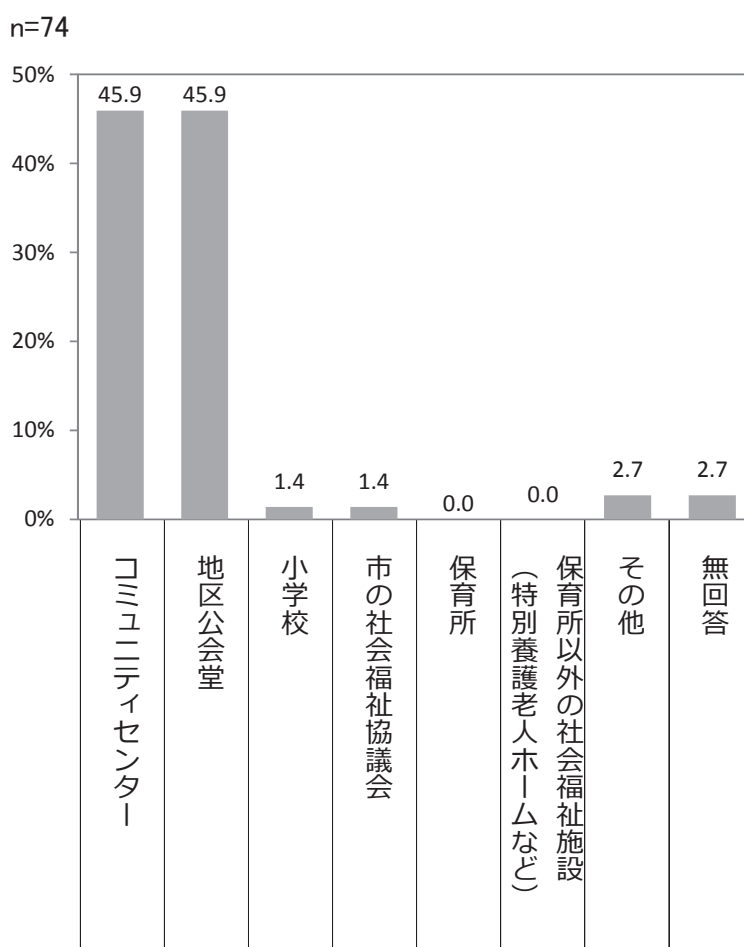


7. 支え合い活動の取り組みで住民がまとまりやすい拠点（場所）

問7 もし、あなたの地域で、支え合い活動に取り組むことになった場合、住民がまとまりやすい拠点（場所）としてどこが適切だとお考えですか。もっとも適切だと考える場所に一つだけ○をつけてください。

「コミュニティセンター」「地区公会堂」が45.9%と最も多く、次いで、「小学校」「市の社会福祉協議会」（1.4%）の順となっている。

図 10



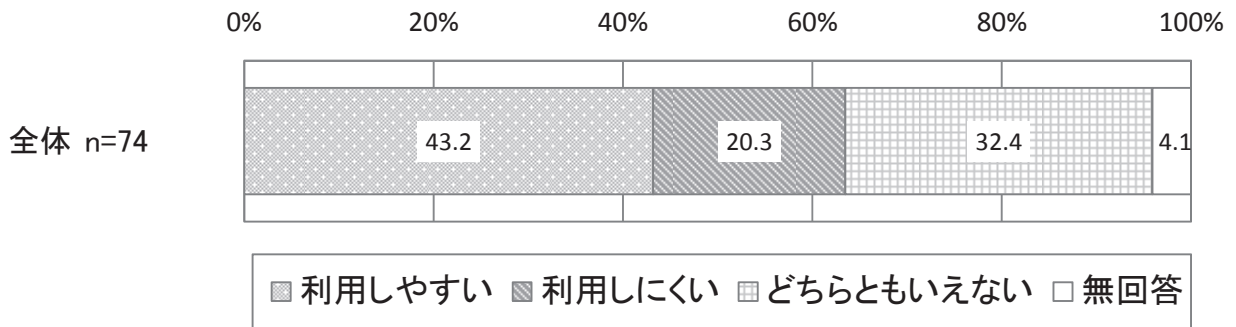
8-1. 市役所の福祉関係課の窓口の利便性

問8 あなたの地域にある次の機関は、民生委員・児童委員活動を行う上で利用しやすいですか。当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。

(1)市役所の福祉関係課の窓口

「利用しやすい」が43.2%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(32.4%)、「利用しにくい」(20.3%)の順となっている。

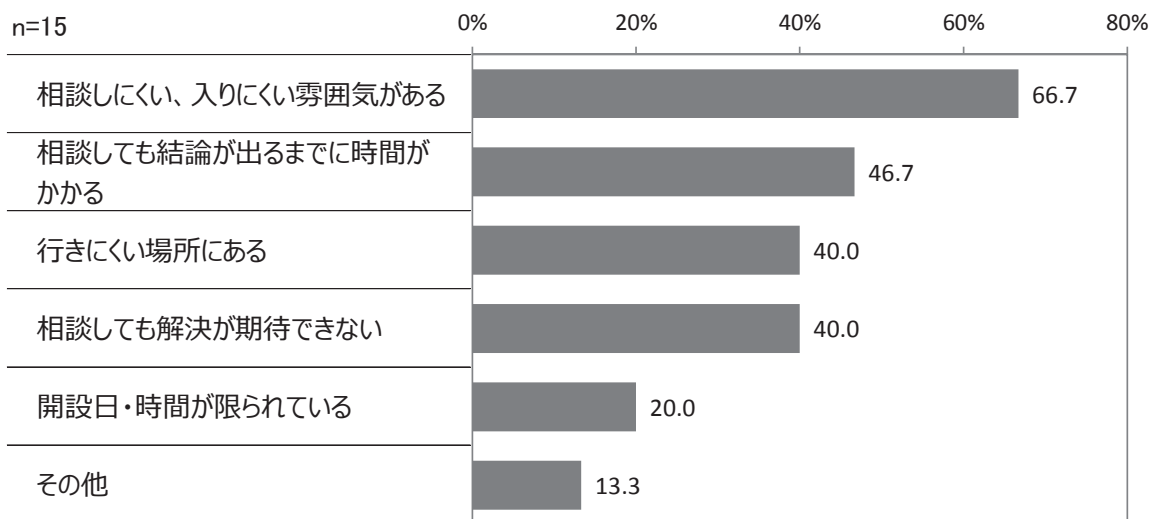
図 11



(1)-2 「2 利用しにくい」と回答された方にお尋ねします。それは、どのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「相談しにくい、入りにくい雰囲気がある」が66.7%と最も多く、次いで、「相談しても結論が出るまでに時間がかかる」(46.7%)、「行きにくい場所にある」「相談しても解決が期待できない」(40.0%)の順となっている。

図 12

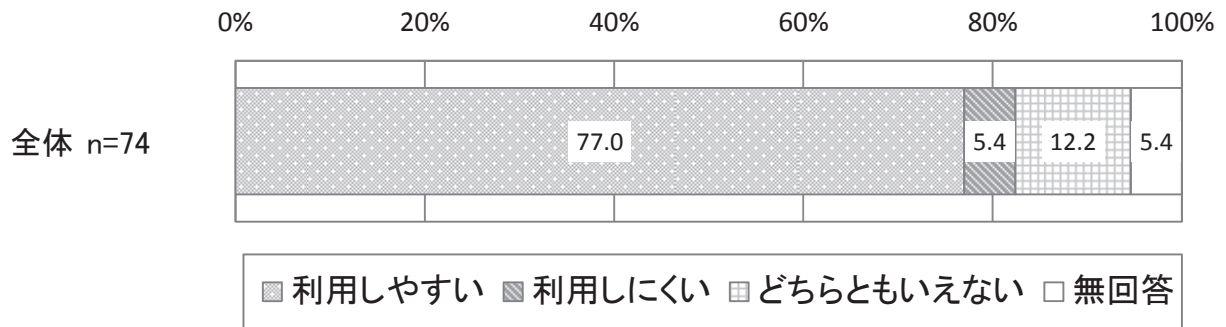


8-2. 地域包括支援センターの利便性

問8 あなたの地域にある次の機関は、民生委員・児童委員活動を行う上で利用しやすいですか。当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。
(2)地域包括支援センター

「利用しやすい」が77.0%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(12.2%)、「利用しにくい」(5.4%)の順となっている。

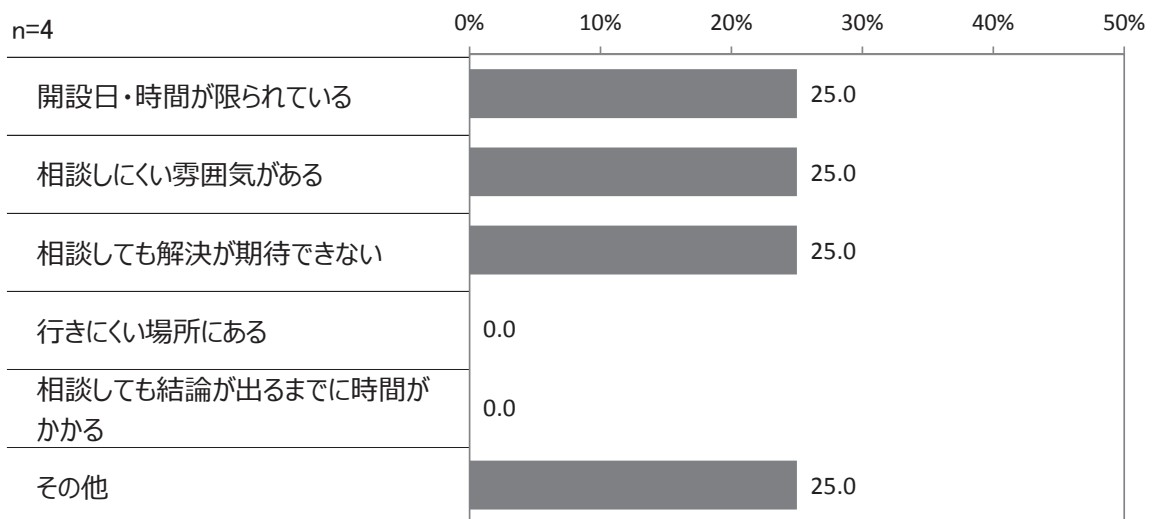
図 13



(2)-2 「2 利用しにくい」と回答された方にお尋ねします。それは、どのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「開設日・時間が限られている」「相談しにくい雰囲気がある」「相談しても解決が期待できない」が25.0%となっている。

図 14

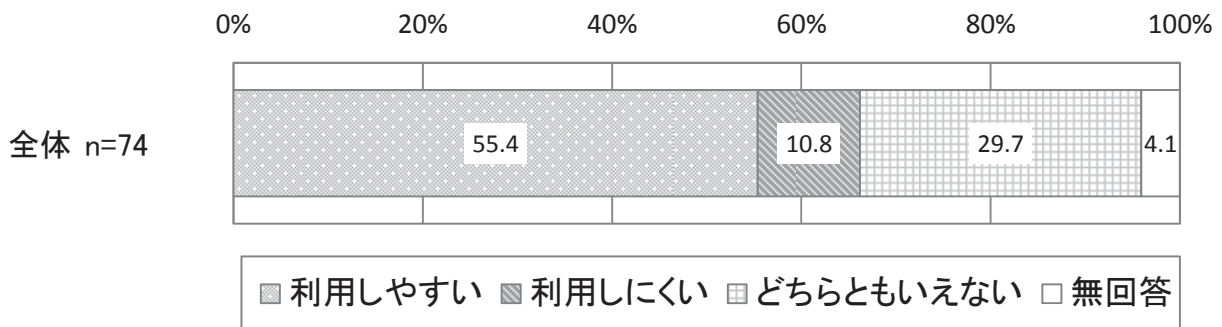


8-3. 社会福祉協議会の利便性

問8 あなたの地域にある次の機関は、民生委員・児童委員活動を行う上で利用しやすいですか。当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。
(3)社会福祉協議会

「利用しやすい」が55.4%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(29.7%)、「利用しにくい」(10.8%)の順となっている。

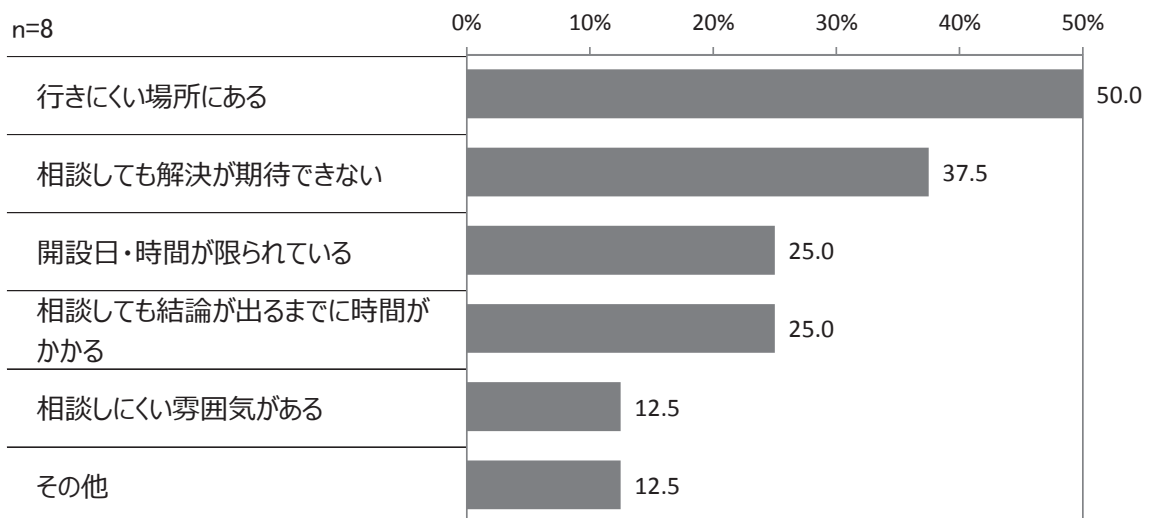
図 15



(3)-2 「2 利用しにくい」と回答された方にお尋ねします。それは、どのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「行きにくい場所にある」が50.0%と最も多く、次いで、「相談しても解決が期待できない」(37.5%)、「開設日・時間が限られている」「相談しても結論が出るまでに時間がかかる」(25.0%)の順となっている。

図 16



9-1. 地域包括支援センターについて

問9 民生委員・児童委員活動をする上で、各地区の生活支援コーディネーターが設置されている次の機関についてどのようにお考えですか。「そう思う」「まあそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち、当てはまるものの番号を○で囲んでください。

(1) 地域包括支援センター

① 一カ所に行っただけで、すべての困りごとを解決してもらえる

「まあそう思う」が36.5%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(29.7%)、「そう思う」(20.3%)の順となっている。

② ささいなことでも気軽に相談にのってもらえる

「そう思う」が40.5%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(33.8%)、「どちらともいえない」(16.2%)の順となっている。

③ 民生委員・児童委員だけでは解決できない問題を解決してもらえる

「まあそう思う」が37.8%と最も多く、次いで、「そう思う」(33.8%)、「どちらともいえない」(20.3%)の順となっている。

④ 民生委員・児童委員を精神的に支えてもらえる

「まあそう思う」が40.5%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(25.7%)、「そう思う」(21.6%)の順となっている。

⑤ センターを活用することで、民生委員・児童委員の業務量を減らすことができる

「まあそう思う」が31.1%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(28.4%)、「そう思う」(17.6%)の順となっている。

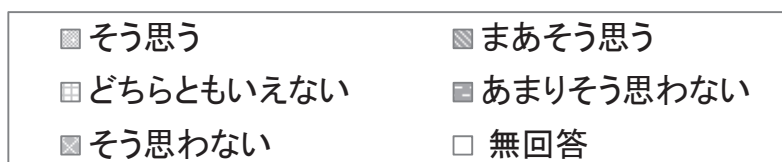
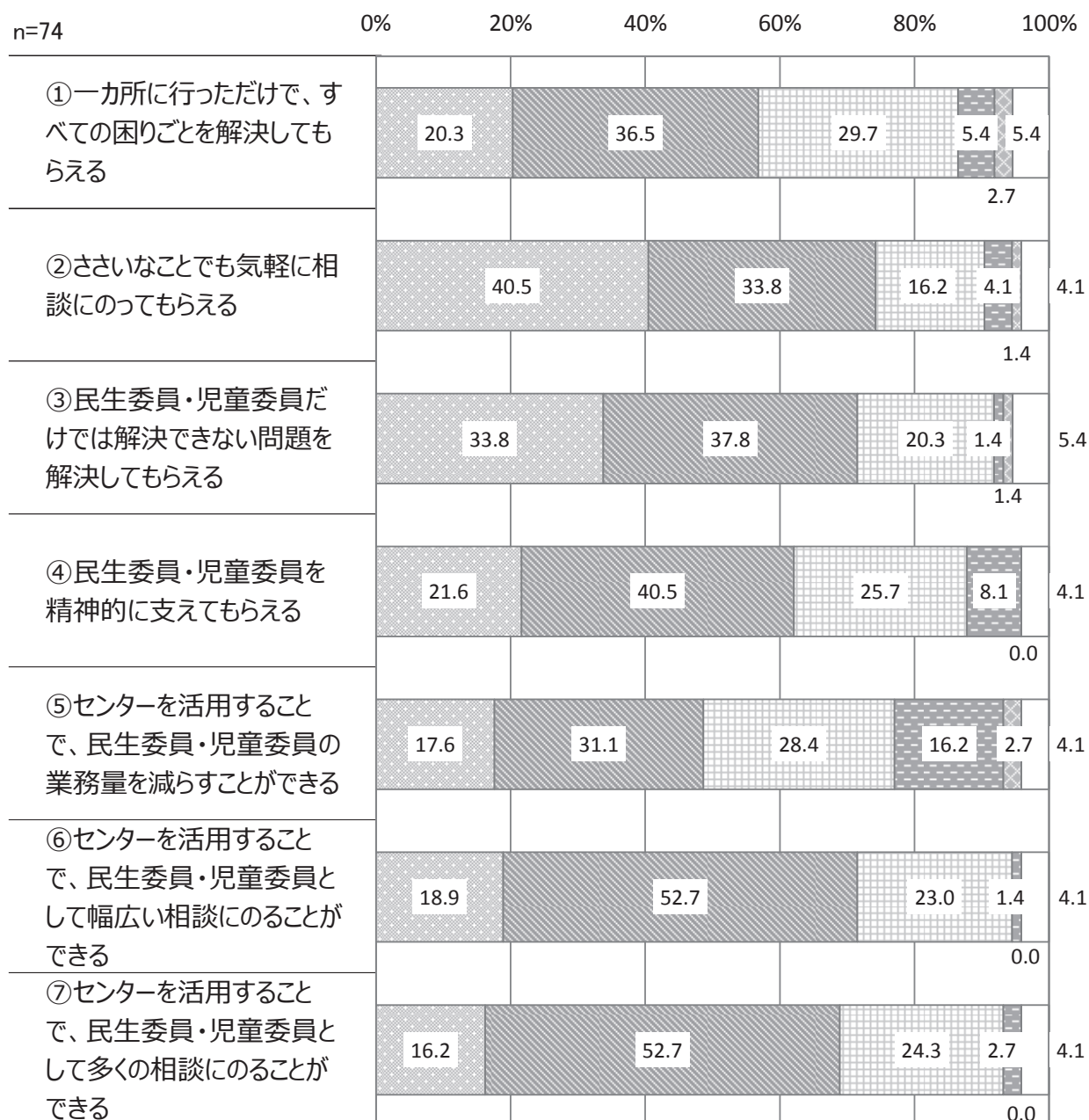
⑥ センターを活用することで、民生委員・児童委員として幅広い相談にのることができる

「まあそう思う」が52.7%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(23.0%)、「そう思う」(18.9%)の順となっている。

⑦ センターを活用することで、民生委員・児童委員として多くの相談に
のることができる

「まあそう思う」が52.7%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」
(24.3%)、「そう思う」(16.2%)の順となっている。

図 17



9-2. 社会福祉協議会について

問9 民生委員・児童委員活動をする上で、各地区の生活支援コーディネーターが設置されている次の機関についてどのようにお考えですか。「そう思う」「まあそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち、当てはまるものの番号を○で囲んでください。

(2)社会福祉協議会

① 一カ所に行っただけで、すべての困りごとを解決してもらえる

「どちらともいえない」が 44.6%と最も多く、次いで、「あまりそう思わない」(20.3%)、「まあそう思う」(18.9%)の順となっている。

② ささいなことでも気軽に相談にのってもらえる

「まあそう思う」が 37.8%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(27.0%)、「そう思う」(17.6%)の順となっている。

③ 民生委員・児童委員だけでは解決できない問題を解決してもらえる

「まあそう思う」が 36.5%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(35.1%)、「あまりそう思わない」(12.2%)の順となっている。

④ 民生委員・児童委員を精神的に支えてもらえる

「まあそう思う」が 32.4%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(25.7%)、「あまりそう思わない」(10.8%)の順となっている。

⑤ 社協を活用することで、民生委員・児童委員の業務量を減らすことができる

「どちらともいえない」が 37.8%と最も多く、次いで、「あまりそう思わない」(28.4%)、「まあそう思う」(14.9%)の順となっている。

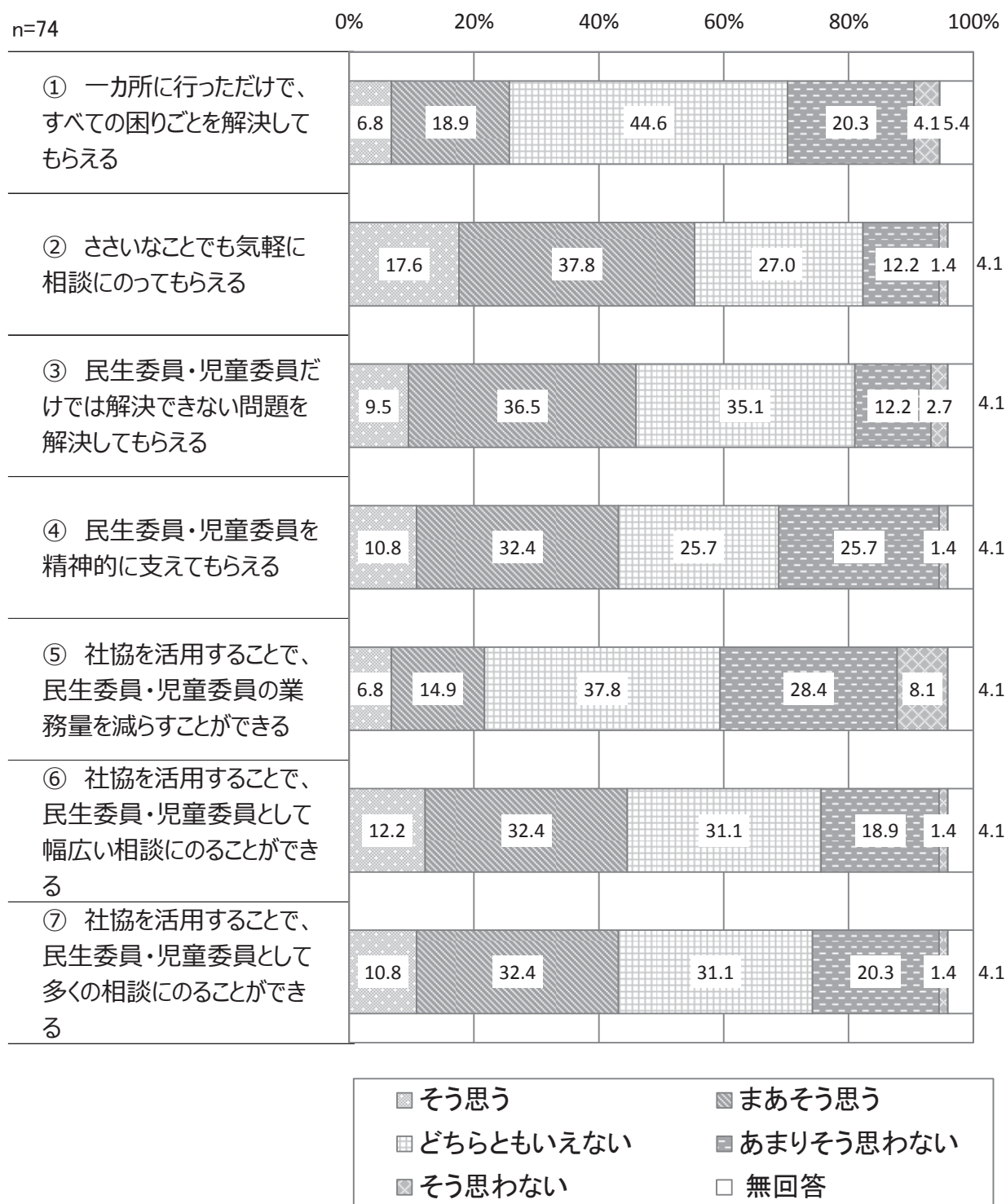
⑥ 社協を活用することで、民生委員・児童委員として幅広い相談にのることができる

「まあそう思う」が 32.4%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(31.1%)、「あまりそう思わない」(18.9%)の順となっている。

⑦ 社協を活用することで、民生委員・児童委員として多くの相談にのることができる

「まあそう思う」が32.4%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(31.1%)、「あまりそう思わない」(20.3%)の順となっている。

図 18



10-1. 地域ケアネットワークについて

問10 あなたの地域には、「地域ケアネットワーク」「ほのぼのネット」がありますが、これについてどのように考えですか。「そう思う」「まあそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち、当てはまるものの番号を○で囲んでください。

(1)地域ケアネットワーク

① 地域で働く専門職との話し合いの場になっている

「どちらともいえない」が 32.4%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(24.3%)、「あまりそう思わない」(20.3%)の順となっている。

② 地域活動に関わっている住民・ボランティアとの話し合いの場になっている

「まあそう思う」が 39.2%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(24.3%)、「そう思う」「あまりそう思わない」(13.5%)の順となっている。

③ 民生委員・児童委員では解決できない問題について相談する場になっている

「どちらともいえない」が 41.9%と最も多く、次いで、「あまりそう思わない」(27.0%)、「まあそう思う」(16.2%)の順となっている。

④ 地域で支えが必要な人について相談する場になっている

「どちらともいえない」が 33.8%と最も多く、次いで、「まあそう思う」「あまりそう思わない」(25.7%)、「そう思わない」(6.8%)の順となっている。

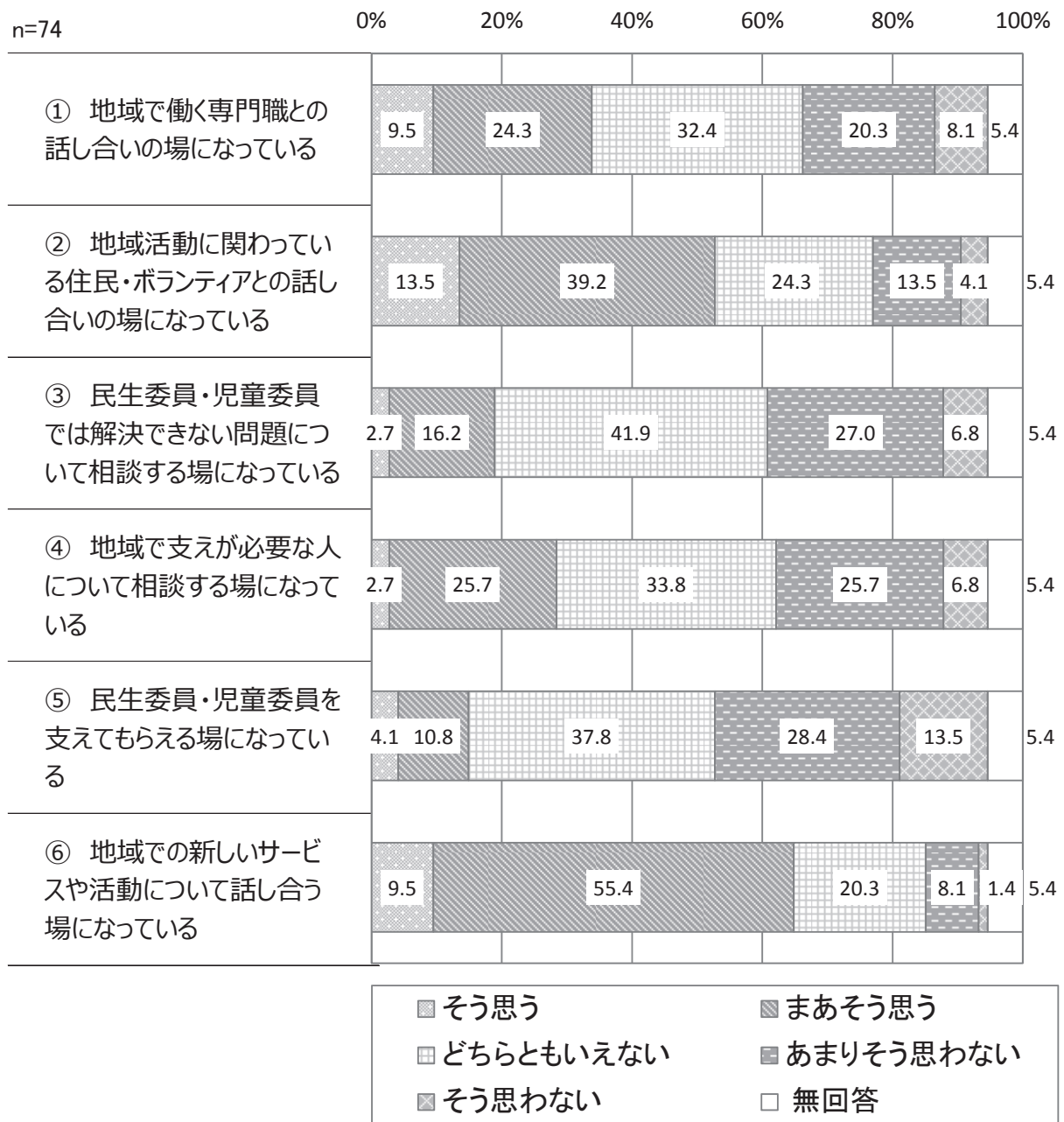
⑤ 民生委員・児童委員を支えてもらえる場になっている

「どちらともいえない」が 37.8%と最も多く、次いで、「あまりそう思わない」(28.4%)、「そう思わない」(13.5%)の順となっている。

⑥ 地域での新しいサービスや活動について話し合う場になっている

「まあそう思う」が 55.4%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(20.3%)、「そう思う」(9.5%)の順となっている。

図 19



10-2. ほのぼのネットについて

問10 あなたの地域には、「地域ケアネットワーク」「ほのぼのネット」がありますが、これについてどのように考えですか。「そう思う」「まあそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち、当てはまるものの番号を○で囲んでください。

(2)ほのぼのネット

① 地域で働く専門職との話し合いの場になっている

「まあそう思う」が32.4%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(29.7%)、「あまりそう思わない」(14.9%)の順となっている。

② 地域活動に関わっている住民・ボランティアとの話し合いの場になっている

「まあそう思う」が55.4%と最も多く、次いで、「そう思う」(18.9%)、「どちらともいえない」(14.9%)の順となっている。

③ 民生委員・児童委員では解決できない問題について相談する場になっている

「どちらともいえない」が32.4%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(25.7%)、「あまりそう思わない」(23.0%)の順となっている。

④ 地域で支えが必要な人について相談する場になっている

「まあそう思う」が56.8%と最も多く、次いで、「そう思う」「どちらともいえない」(13.5%)、「あまりそう思わない」(6.8%)の順となっている。

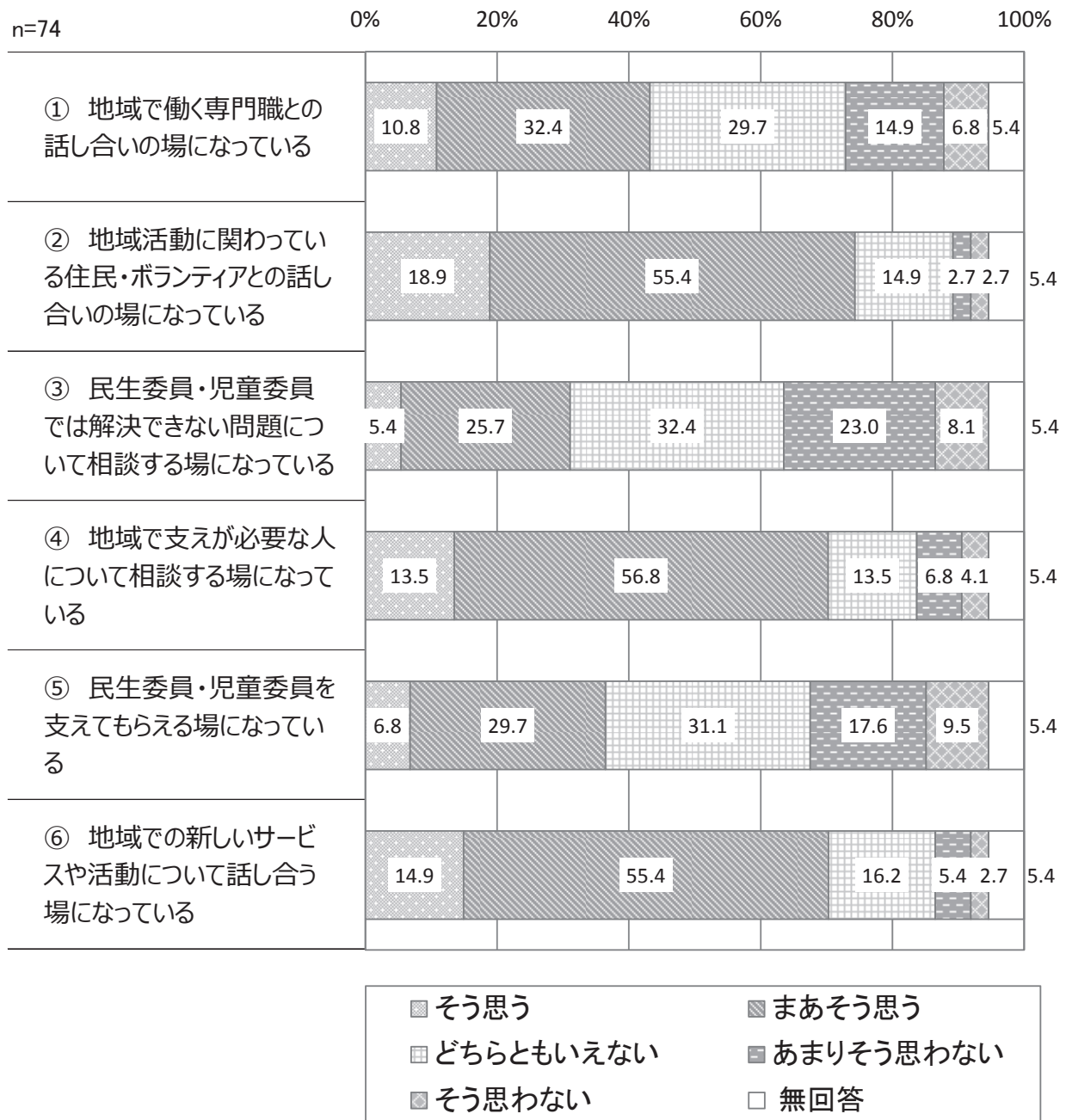
⑤ 民生委員・児童委員を支えてもらえる場になっている

「どちらともいえない」が31.1%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(29.7%)、「あまりそう思わない」(17.6%)の順となっている。

⑥ 地域での新しいサービスや活動について話し合う場になっている

「まあそう思う」が55.4%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(16.2%)、「そう思う」(14.9%)の順となっている。

図 20

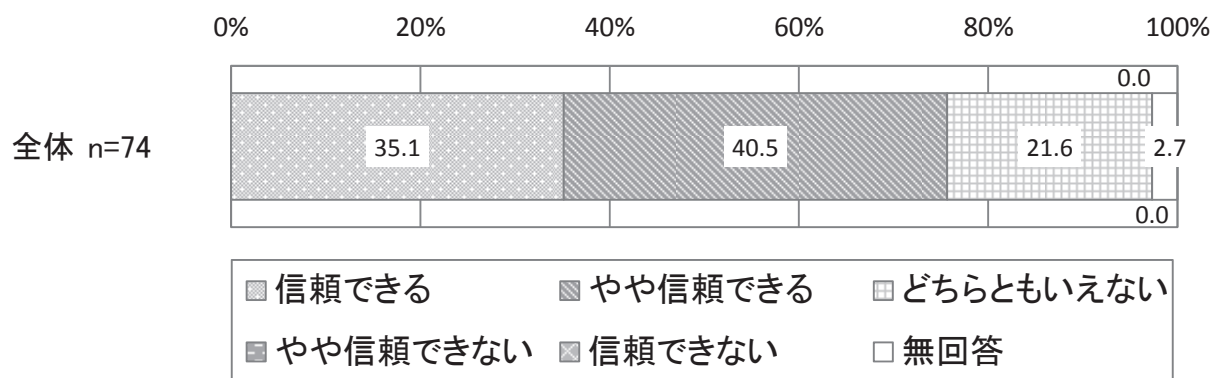


11. 自分が人を信頼できるかについて

問11 あなたは、一般的に人は信頼できると思いますか。それとも信頼できないと思いますか。当てはまる番号に一つだけ○をつけてください。

「やや信頼できる」が40.5%と最も多く、次いで、「信頼できる」(35.1%)、「どちらともいえない」(21.6%)の順となっている。

図 21

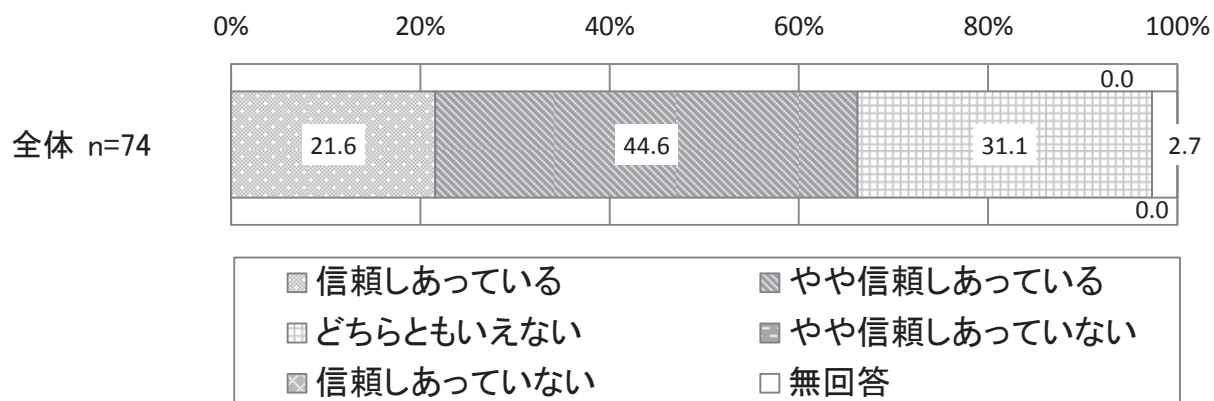


12. 地域の人々がお互いを信頼し合っているかについて

問12 あなたが現在お住まいの地域の人々は、全体としてお互いを信頼し合っていると思いますか。当てはまる番号に一つだけ○をつけてください。

「やや信頼しあっている」が 44.6%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(31.1%)、「信頼しあっている」(21.6%) の順となっている。

図 22

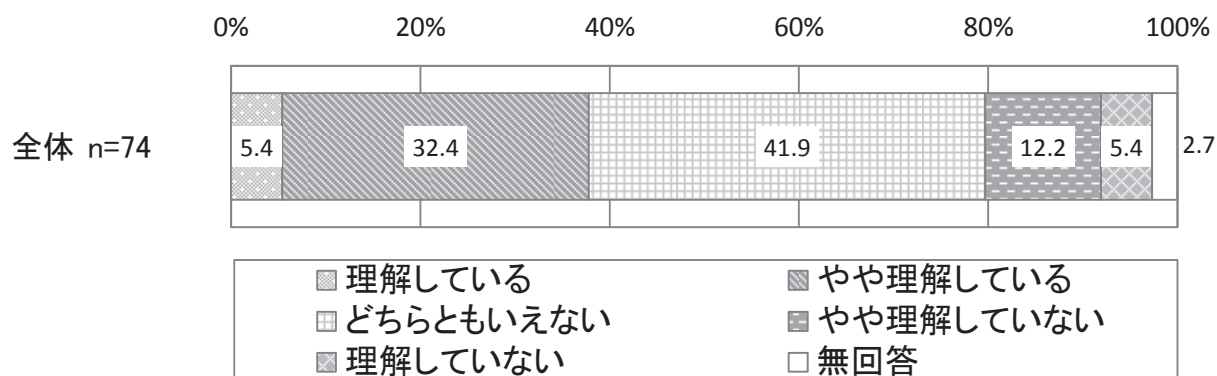


13. 地域の人々の民生委員・児童委員の理解度

問13 あなたの地域の人々は、民生委員・児童委員のことを理解していると思いますか。あなたのお気持ちに一番近いものの一つだけ○をつけてください。

「どちらともいえない」が41.9%と最も多く、次いで、「やや理解している」(32.4%)、「やや理解していない」(12.2%)の順となっている。

図 23

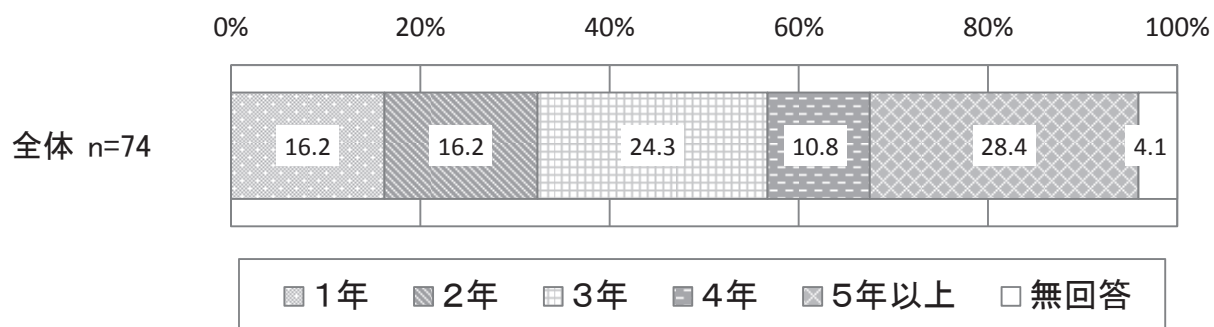


14. 民生委員・児童委員の任期

問14 平成29(2017)年2月1日現在、あなたは、民生委員・児童委員として何期目ですか。

「5年以上」が28.4%と最も多く、次いで、「3年」(24.3%)、「1年」
「2年」(16.2%)の順となっている。

図 24

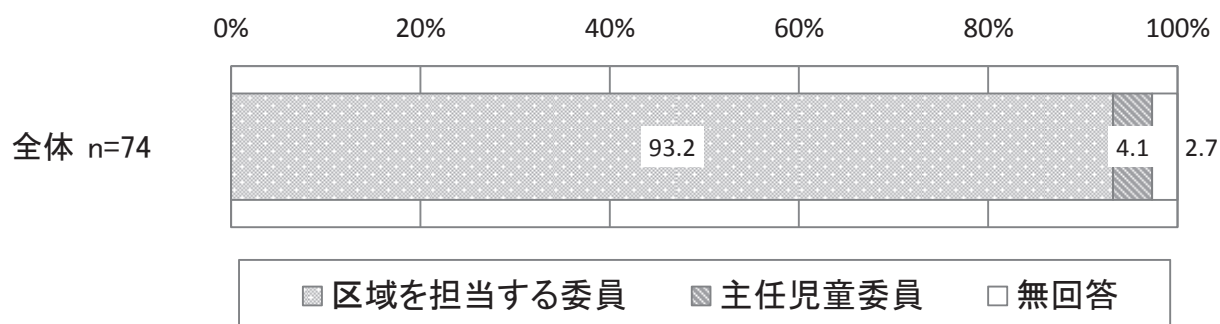


15. 民生委員・児童委員としての役割

問15 あなたの民生委員・児童委員としての役割に○をつけてください。

「区域を担当する委員」が 93.2%、「主任児童委員」(4.1%) となっている。

図 25



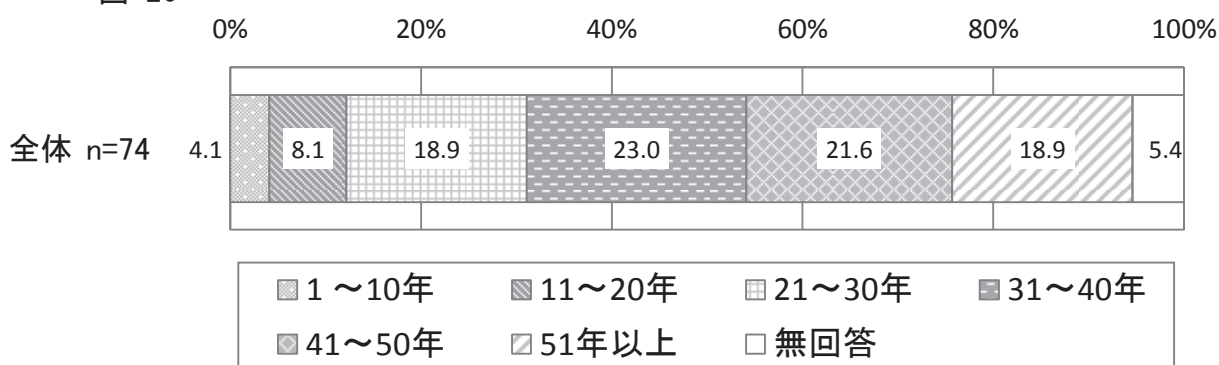
16. 担当区域内での居住歴

問16 あなたの民生委員・児童委員の担当区域内での居住歴はどれにあてはまりますか。()に年数を記入し、当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。

【居住年数】

「31～40年」が23.0%と最も多く、次いで、「41～50年」(21.6%)、「21～30年」「51年以上」(18.9%)の順となっている。

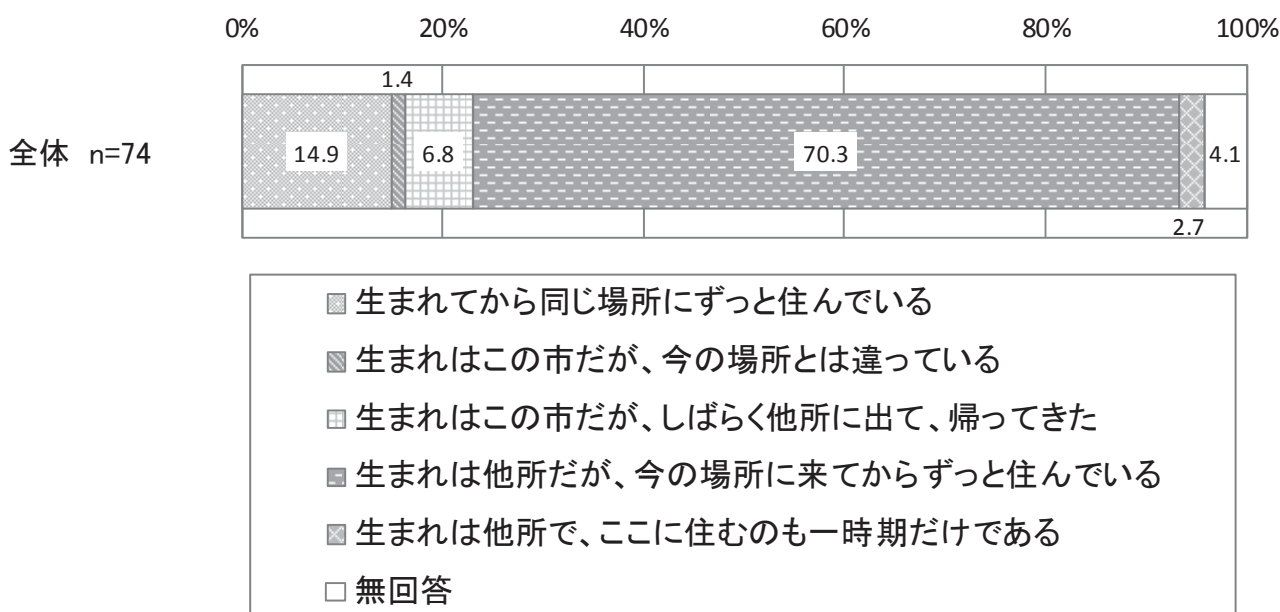
図 26



【居住歴】

「生まれは他所だが、今の場所に来てからずっと住んでいる」が70.3%と最も多く、次いで、「生まれてから同じ場所にずっと住んでいる」(14.9%)、「生まれはこの市だが、しばらく他所に出て、帰ってきた」(6.8%)の順となっている。

図 27

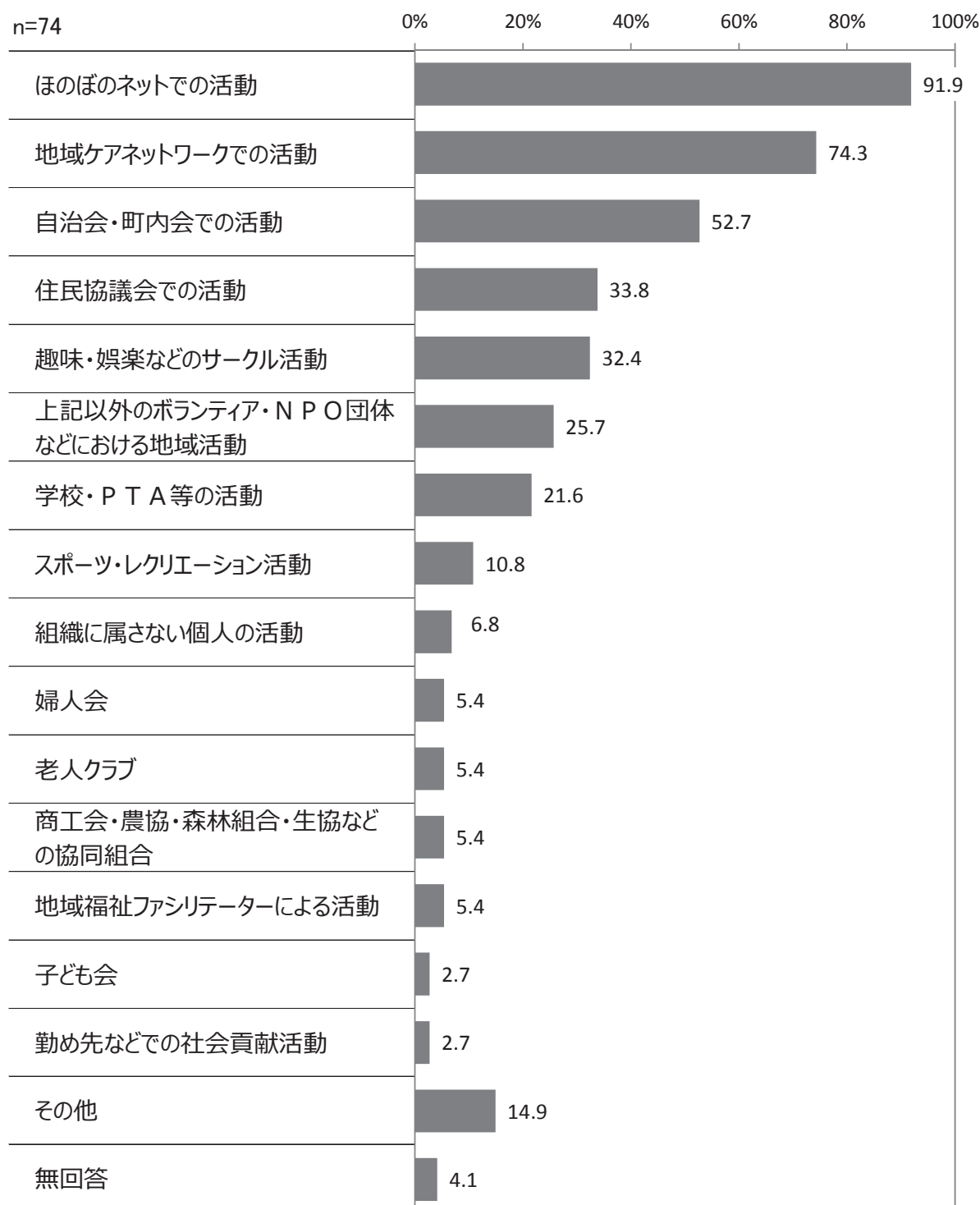


17. 地域での活動内容

問17 あなたは、現在、地域でどのような活動をされていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「ほのぼのネットでの活動」が91.9%と最も多く、次いで、「地域ケアネットワークでの活動」(74.3%)、「自治会・町内会での活動」(52.7%)の順となっている。

図 28



地域の相談・支援体制に関するアンケート 茅野市

調査結果報告書

目次

I. 調査概要	35
① 調査の目的.....	35
② 調査対象及び調査方法	35
③ 調査票の回収状況.....	35
④ 報告書の見方.....	35
II. 調査結果	36
1. 最初に思い浮かべる「地域」の範囲	36
2. 困りごとの相談を受ける経路.....	37
3. 困りごとを抱えている住民を発見する機会	39
4. 福祉に関わる困りごとの相談窓口	41
5. 民児協以外の相談相手	42
6. 困りごとを抱えている人がいたときの行動	43
7. 支え合い活動の取り組みで住民がまとまりやすい拠点（場所）	45
8-1. 市役所の福祉関係課の窓口の利便性	46
8-2. 保健福祉サービスセンターの利便性	47
9. 保健福祉サービスセンターについて	48
10. 地域づくり組織の福祉部会について.....	50
11. 自分が人を信頼できるかについて.....	52
12. 地域の人々がお互いを信頼し合っているかについて.....	53
13. 地域の人々の民生委員・児童委員の理解度	54
14. 民生委員・児童委員の任期	55
15. 民生委員・児童委員としての役割.....	56
16. 担当区域内での居住歴.....	57
17. 地域での活動内容.....	58
18. 地域福祉計画の策定への参加経験.....	59

調査概要

① 調査の目的

本調査は、日本地域福祉学会の研究プロジェクトにおいて、「コミュニティ再生に向けた地域福祉実践理論の構築とその研究方法論の確立に関する研究」をテーマに研究を進めている一環として、地域における相談・支援体制の実態を把握することを目的に実施しました。

② 調査対象及び調査方法

- (1) 調査地域：茅野市内全域
- (2) 調査対象：民生委員・児童委員
- (3) 標本数：126 サンプル
- (4) 調査時期：2017年1月31日～2月17日
- (5) 調査方法：2017年1月31日に開催した研修会で配布、郵送による回収。

③ 調査票の回収状況

- (1) 配布数：126件
- (2) 回収数(率)：106件(84.1%)
- (3) 有効回答数(率)：106件(84.1%)
- (4) 無効回答数(率)：0件(0.0%)

④ 報告書の見方

- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が0の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、選択肢の文章を簡略化してある場合もあります。

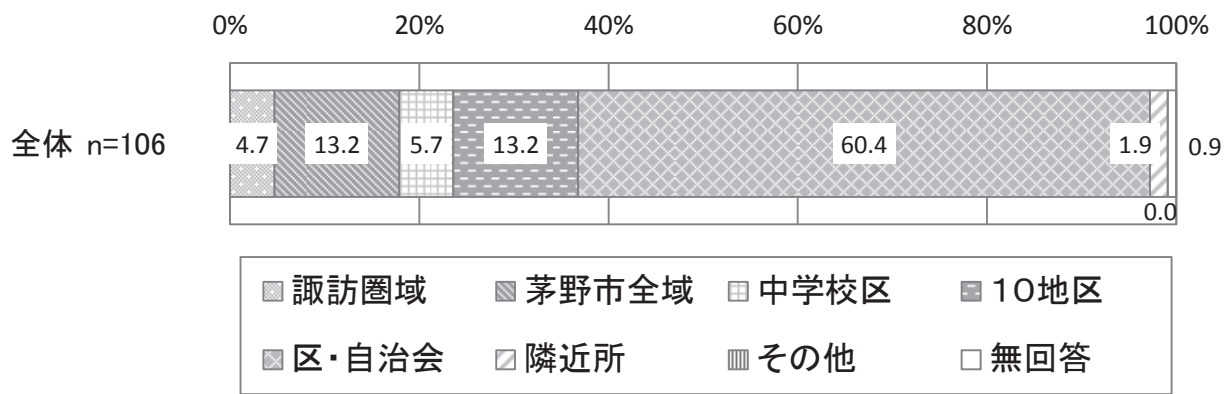
II. 調査結果

1. 最初に思い浮かべる「地域」の範囲

問1 「地域」という言葉を聞いたときに、あなたが最初に思い浮かべる「地域」の範囲は次のどれでしょうか。次の中からあてはまる番号に一つだけに○をつけてください。

「区・自治会」が60.4%と最も多く、次いで、「茅野市全域」「10地区」(13.2%)、「中学校区」(5.7%)の順となっている。

図 1



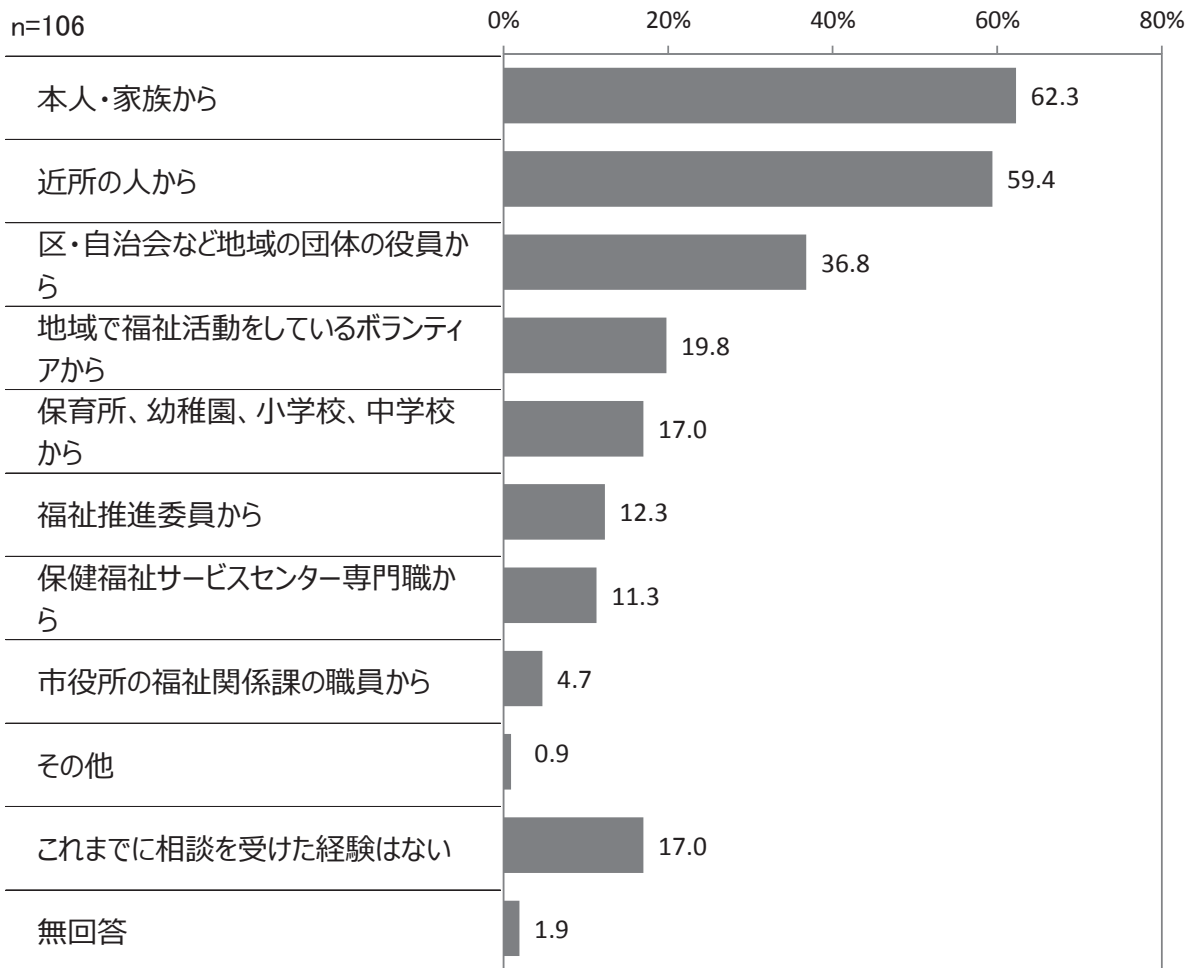
2. 困りごとの相談を受ける経路

問2 あなたは、住民の困りごとの相談をどのような経路で受けていますか。もっとも多いものに一つだけ◎をつけ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【相談を受けているすべての経路（◎と○の回答）】

「本人・家族から」が62.3%と最も多く、次いで、「近所の人から」(59.4%)、「区・自治会など地域の団体の役員から」(36.8%)の順となっている。

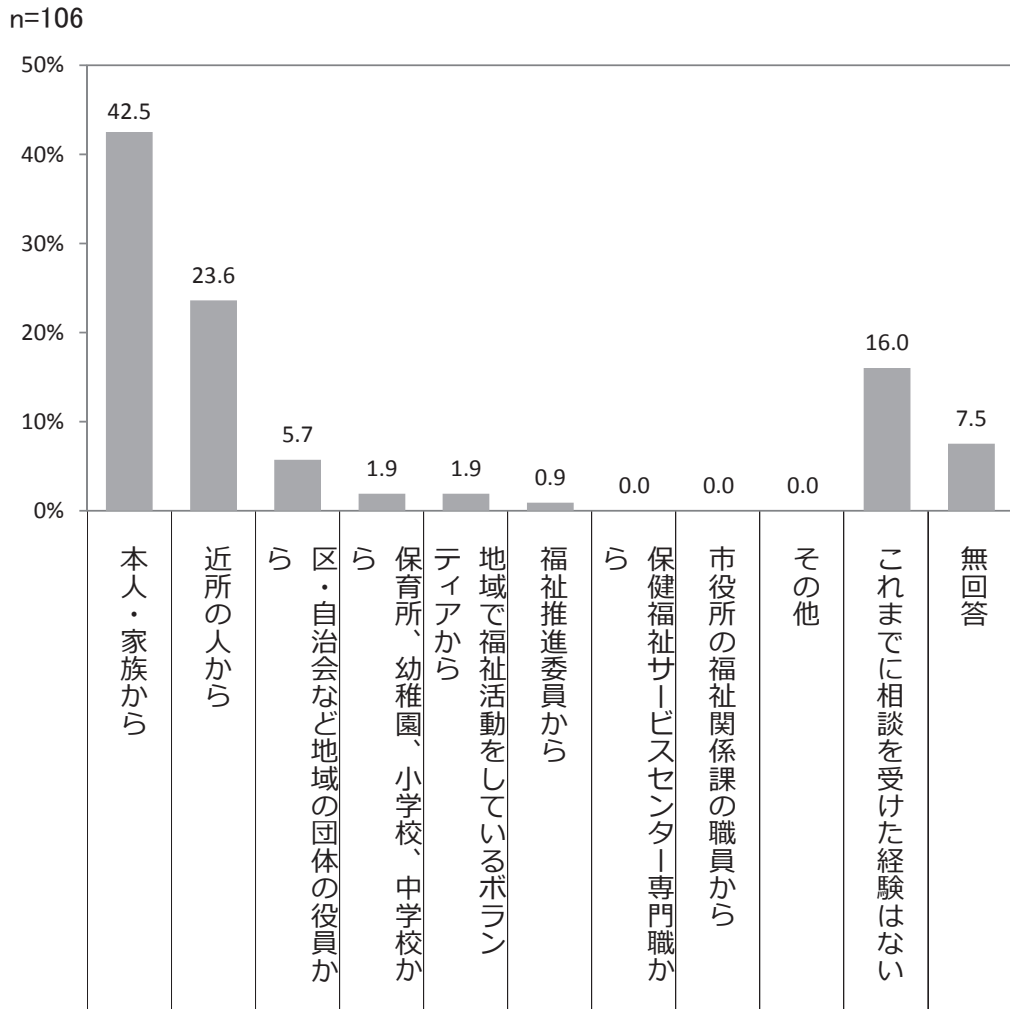
図 2



【相談を受けるもっとも多い経路（◎の回答）】

「本人・家族から」が42.5%と最も多く、次いで、「近所の人から」(23.6%)、「これまでに相談を受けた経験はない」(16.0%)の順となっている。

図 3



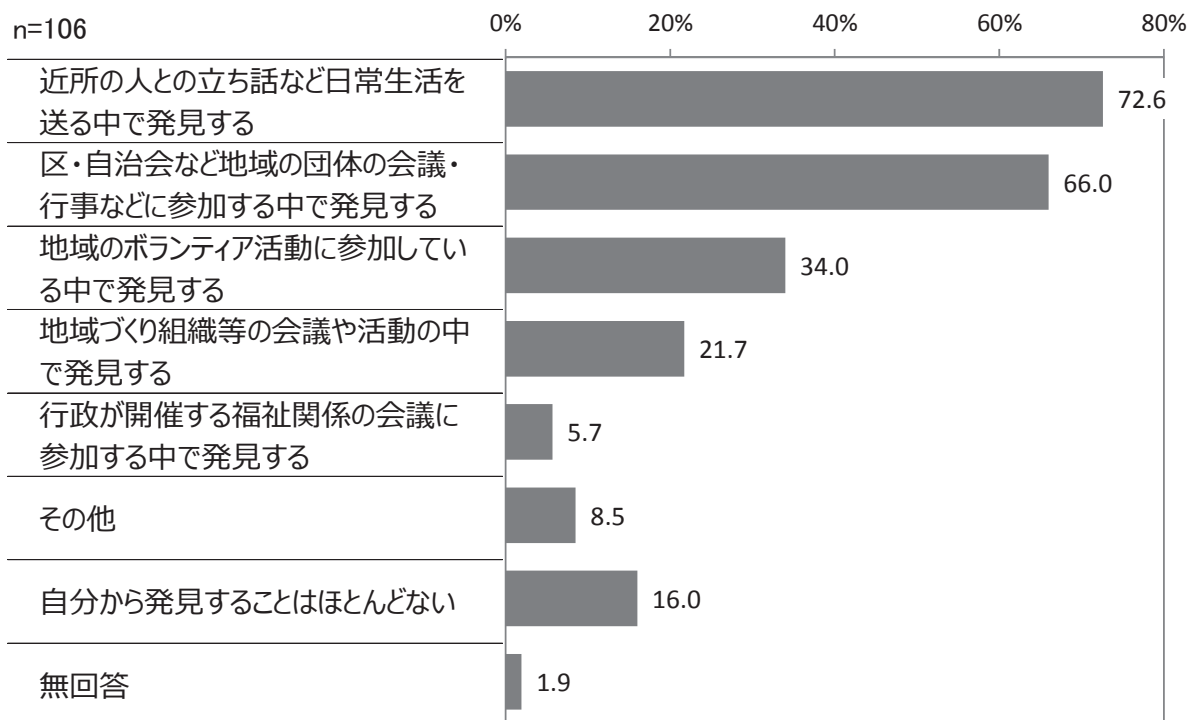
3. 困りごとを抱えている住民を発見する機会

問3 あなたは、民生委員・児童委員として、困りごとを抱えている住民をどのような機会に発見することが多いですか。もっとも多いものに一つだけ◎をつけ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【困りごとを抱えている住民を発見するすべての機会（◎と○の回答）】

「近所の人との立ち話など日常生活を送る中で発見する」が72.6%と最も多く、次いで、「区・自治会など地域の団体の会議・行事などに参加する中で発見する」（66.0%）、「地域のボランティア活動に参加している中で発見する」（34.0%）の順となっている。

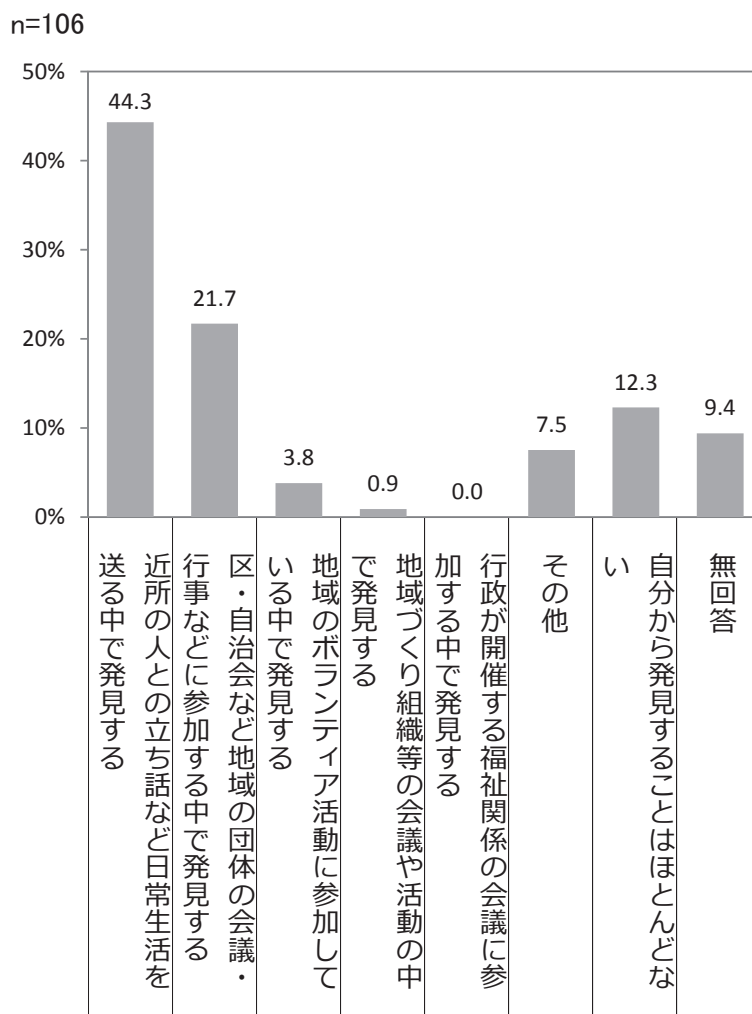
図 4



【困りごとを抱えている住民を発見するもっとも多い機会（◎の回答）】

「近所の人との立ち話など日常生活を送る中で発見する」が44.3%と最も多く、次いで、「区・自治会など地域の団体の会議・行事などに参加する中で発見する」（21.7%）、「自分から発見することはほとんどない」（12.3%）の順となっている。

図 5

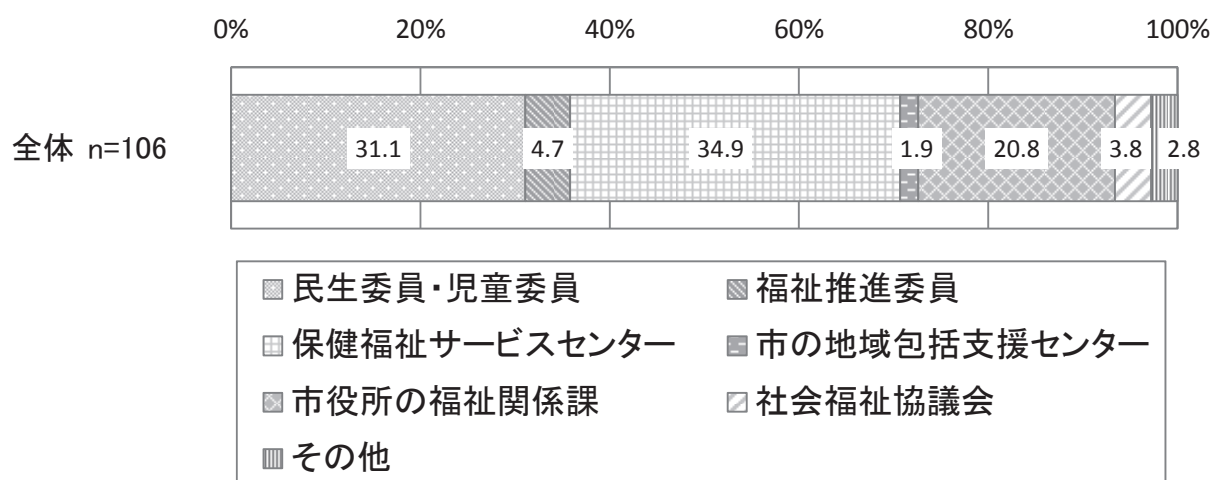


4. 福祉に関わる困りごとの相談窓口

問4 あなたの担当区域では、一般的に、一人暮らしの高齢者が福祉に関わる困りごとを抱えた時に相談に行くのはどの窓口だと思われますか。もっとも多いと思われるものに一つだけ○をつけてください。

「保健福祉サービスセンター」が 34.9%と最も多く、次いで、「民生委員・児童委員」(31.1%)、「市役所の福祉関係課」(20.8%)の順となっている。

図 6



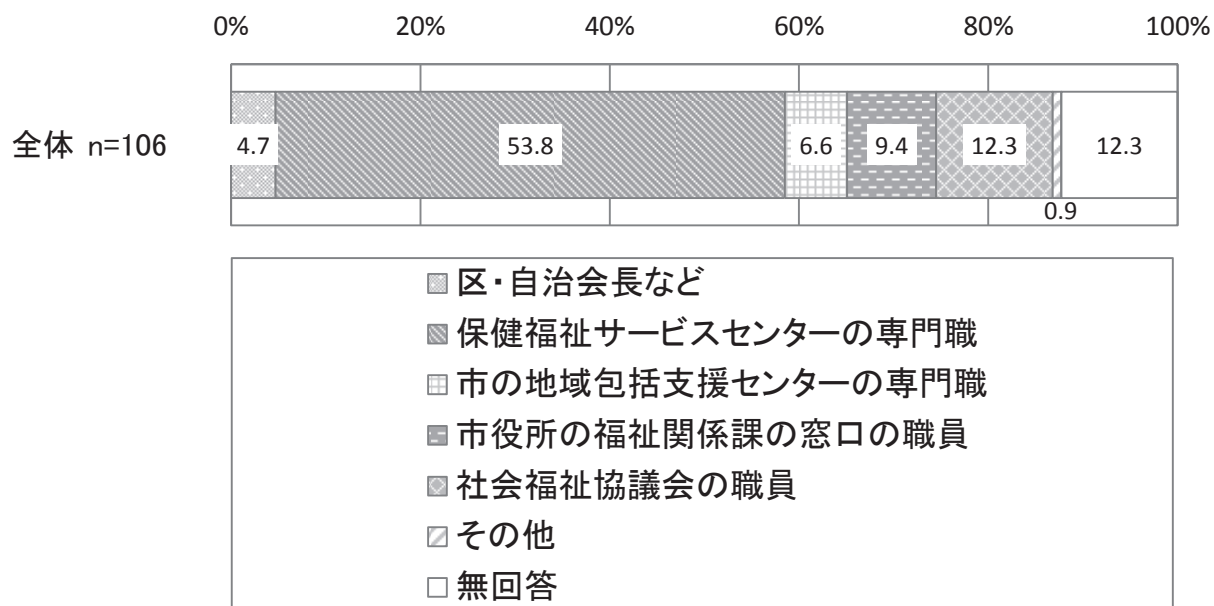
5. 民児協以外の相談相手

【区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

問5 あなたは、民生委員・児童委員として受けた相談を解決するためにつなげる機関やサービスが見つからない時、民児協内で相談する以外に、だれに相談しますか。もっともよく相談する相手に一つだけ○をつけてください。

「保健福祉サービスセンターの専門職」が 53.8%と最も多く、次いで、「社会福祉協議会の職員」(12.3%)、「市役所の福祉関係課の窓口の職員」(9.4%) の順となっている。

図 7



6. 困りごとを抱えている人がいたときの行動

【区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

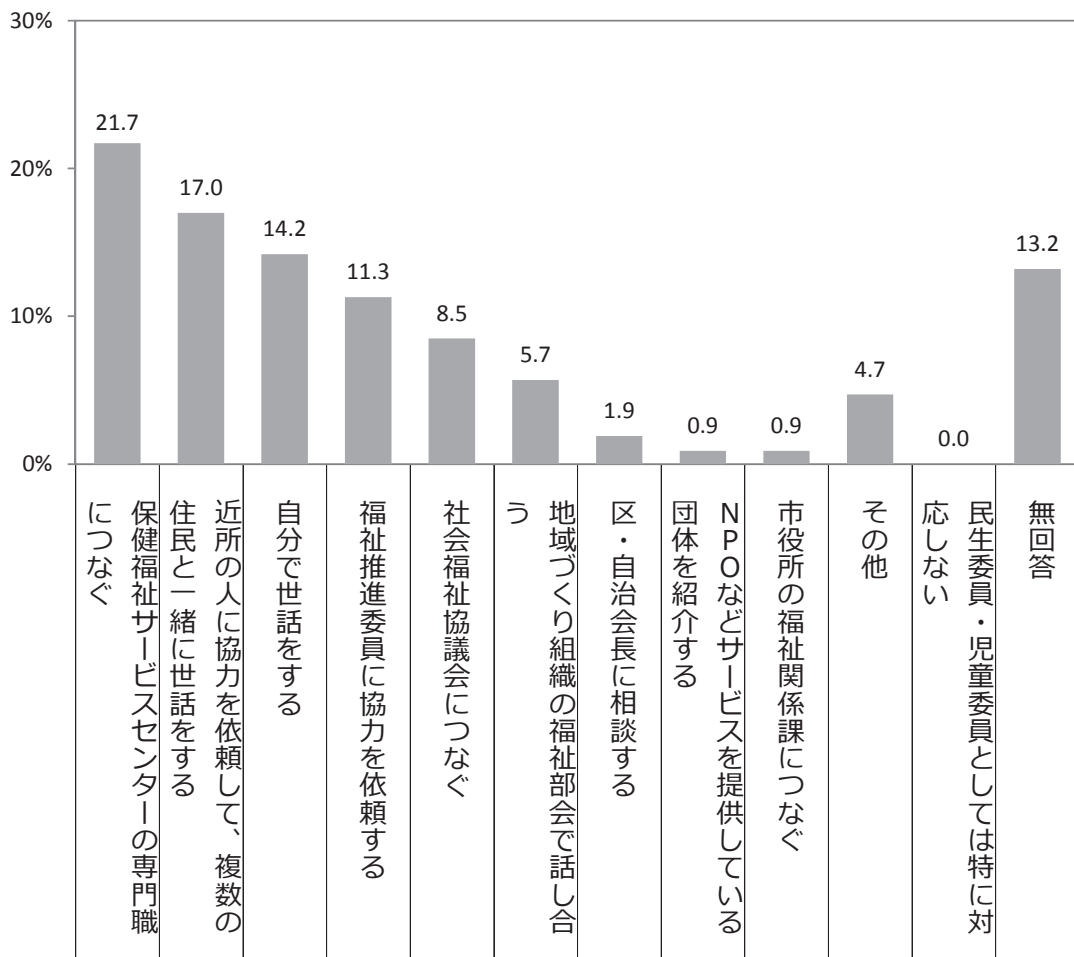
問6 もし、あなたの担当区域に次のような困りごとを抱えている人がいたら、あなたはどのように行動しますか。行動する可能性がもっとも高いものに一つだけ○をつけてください。

(1) 歩行が困難になりつつある一人暮らしの高齢者が、地域で開かれているサロンに参加したいと思っているが、移動の手段がない。

「保健福祉サービスセンターの専門職につなぐ」が 21.7%と最も多く、次いで、「近所の人に協力を依頼して、複数の住民と一緒に世話をする」(17.0%)、「自分で世話をする」(14.2%)の順となっている。

図 8

n=106



【区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

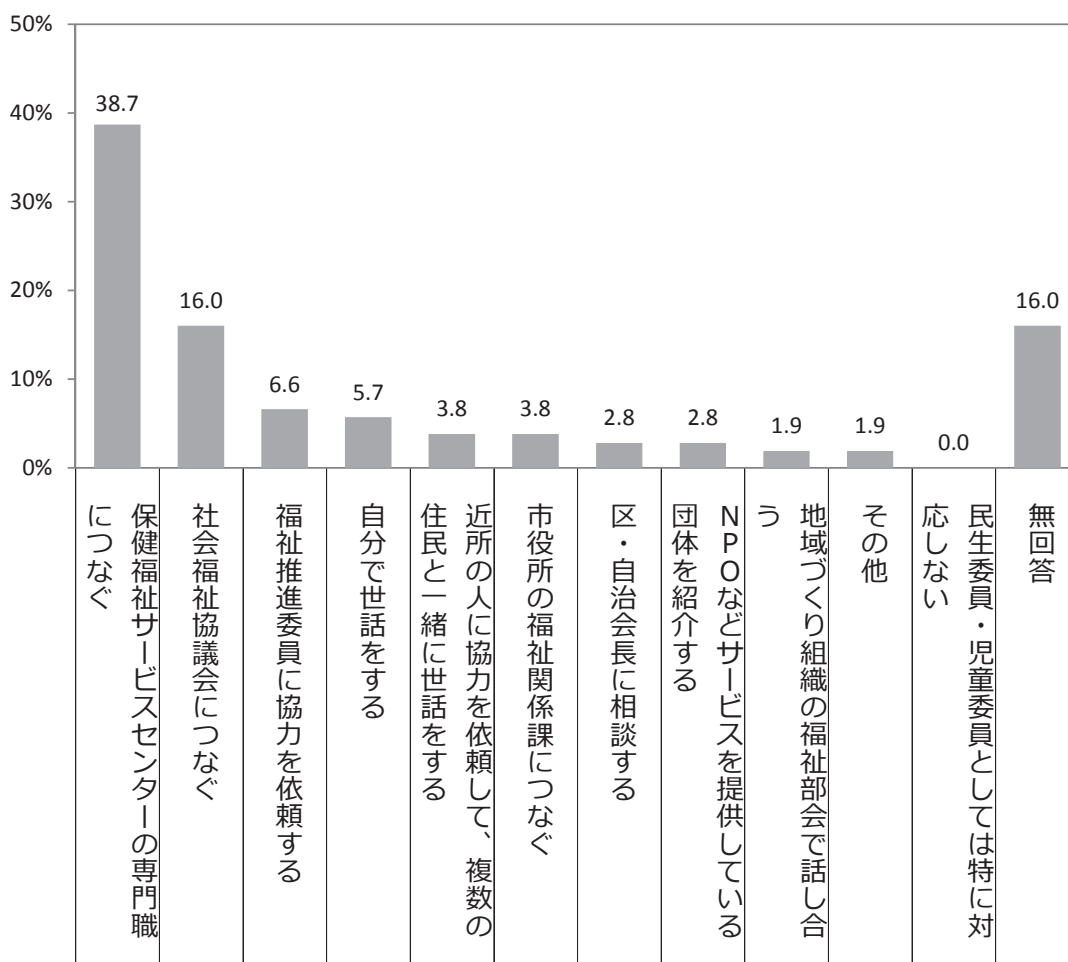
問6 もし、あなたの担当区域に次のような困りごとを抱えている人がいたら、あなたはどのように行動しますか。行動する可能性がもっとも高いものに一つだけ○をつけてください。

(2) 歩行が困難になりつつある一人暮らしの高齢者が、食料品を購入するための買い物に行くことが難しい。

「保健福祉サービスセンターの専門職につなぐ」が 38.7%と最も多く、次いで、「社会福祉協議会につなぐ」(16.0%)、「福祉推進委員に協力を依頼する」(6.6%) の順となっている。

図 9

n=106

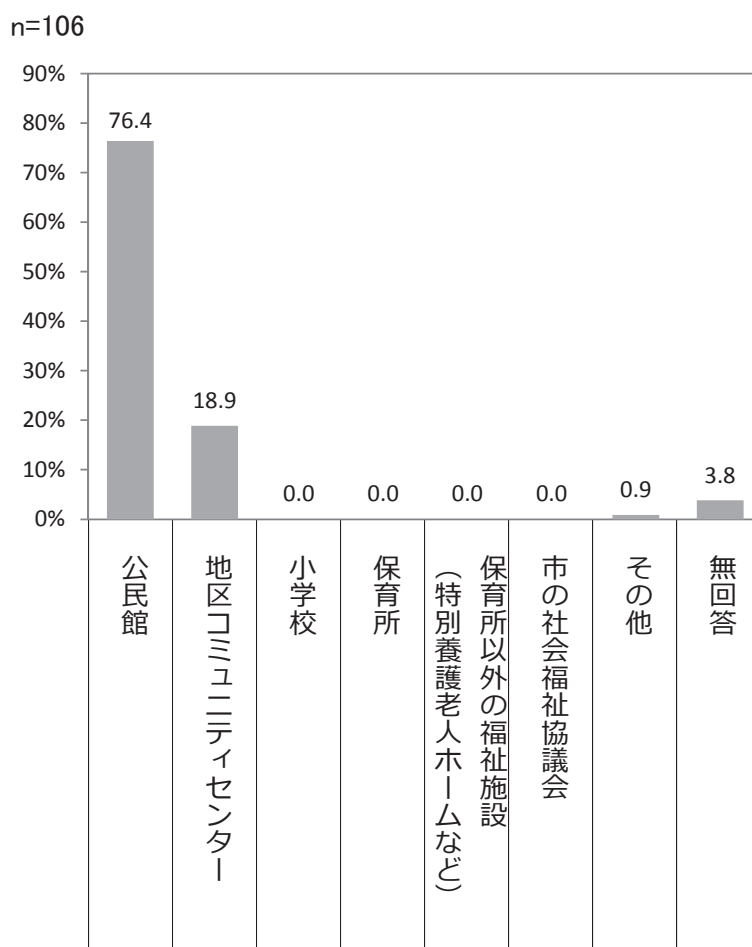


7. 支え合い活動の取り組みで住民がまとまりやすい拠点（場所）

問7 もし、あなたの地域で、支えあい活動に取り組むことになった場合、住民がまとまりやすい拠点（場所）としてどこが適切だとお考えですか。もっとも適切だと考える場所に一つだけ○をつけてください。

「公民館」が76.4%と最も多く、次いで、「地区コミュニティセンター」(18.9%)の順となっている。

図 10



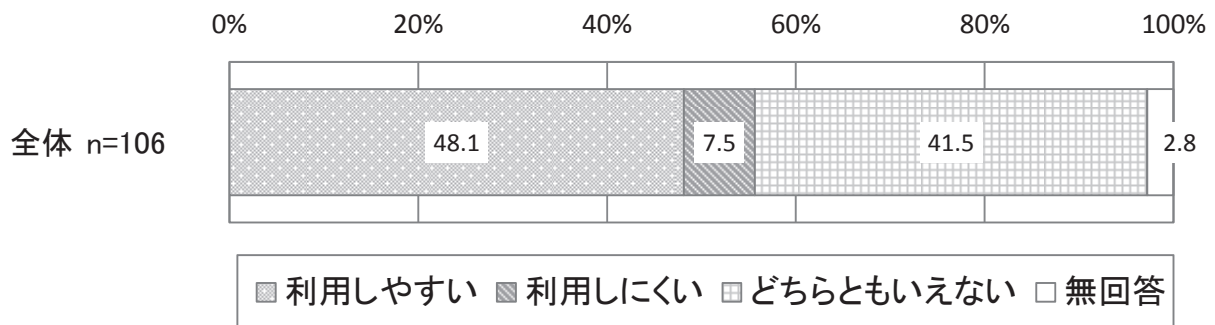
8-1. 市役所の福祉関係課の窓口の利便性

問8 あなたの地域にある次の機関は、民生委員・児童委員活動を行う上で利用しやすいですか。当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。

(1)市役所の福祉関係課の窓口

「利用しやすい」が48.1%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(41.5%)、「利用しにくい」(7.5%)の順となっている。

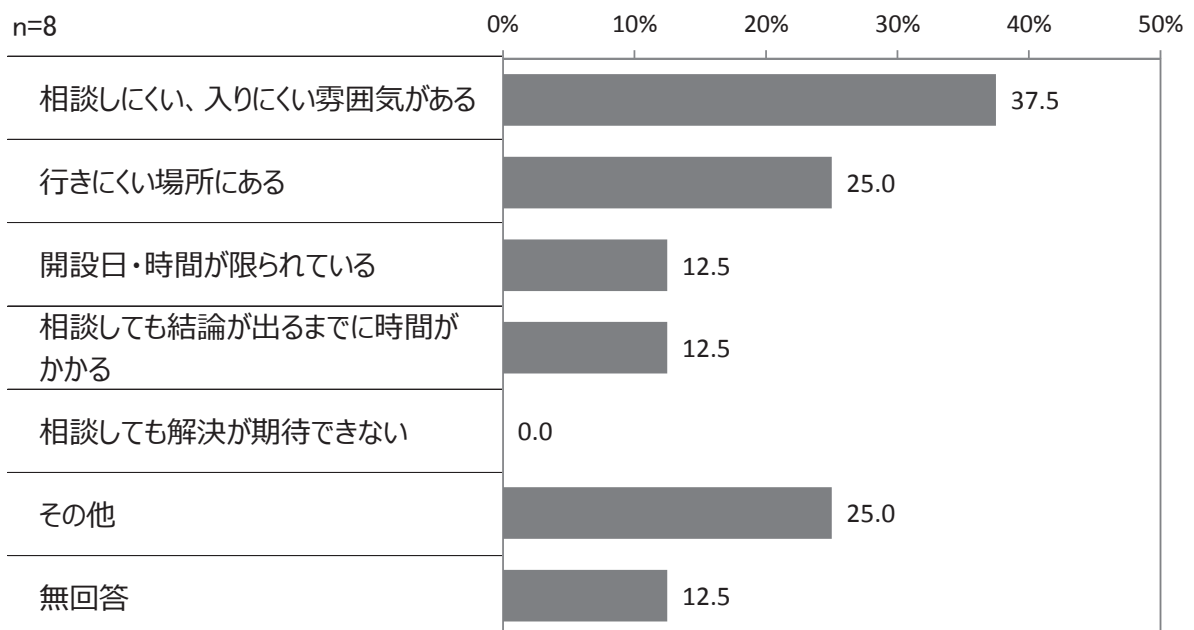
図 11



(1)-2 「2 利用しにくい」と回答された方にお尋ねします。それは、どのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「相談しにくい、入りにくい雰囲気がある」が37.5%と最も多く、次いで、「行きにくい場所にある」(25.0%)、「開設日・時間が限られている」「相談しても結論が出るまでに時間がかかる」(12.5%)の順となっている。

図 12

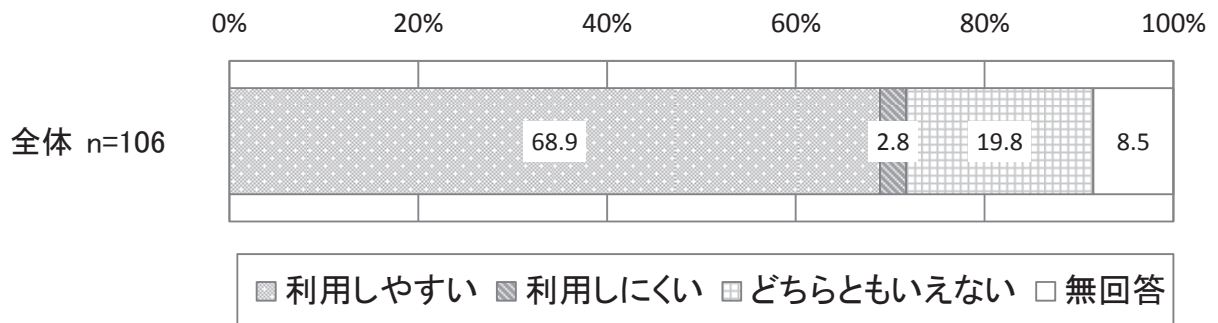


8-2. 保健福祉サービスセンターの利便性

問8 あなたの地域にある次の機関は、民生委員・児童委員活動を行う上で利用しやすいですか。当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。
(2)保健福祉サービスセンター

「利用しやすい」が68.9%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(19.8%)、「利用しにくい」(2.8%)の順となっている。

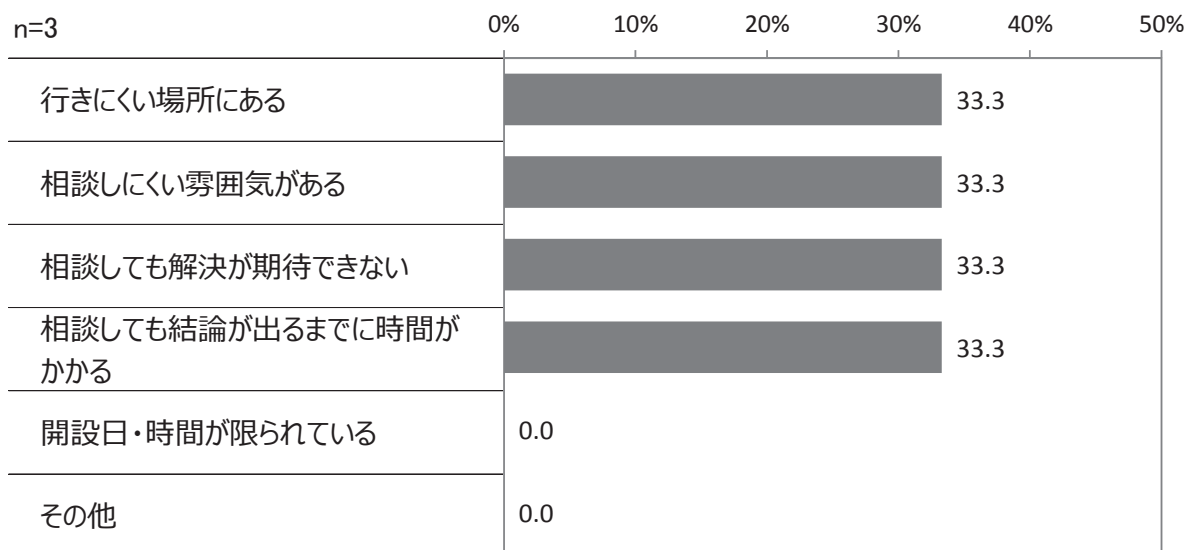
図 13



(2)-2 「2 利用しにくい」と回答された方にお尋ねします。それは、どのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「行きにくい場所にある」「相談しにくい雰囲気がある」「相談しても解決が期待できない」「相談しても結論が出るまでに時間がかかる」が33.3%となっている。

図 14



9. 保健福祉サービスセンターについて

問9 民生委員・児童委員活動をする上で、保健福祉サービスセンターについてどのようにお考えですか。「そう思う」「まあそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち、当てはまるものの番号を○で囲んでください。

① 一カ所に行っただけで、すべての困りごとを解決してもらえる

「まあそう思う」が50.9%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(20.8%)、「そう思う」(17.0%)の順となっている。

② ささいなことでも気軽に相談にのってもらえる

「まあそう思う」が43.4%と最も多く、次いで、「そう思う」(34.0%)、「どちらともいえない」(14.2%)の順となっている。

③ 民生委員・児童委員だけでは解決できない問題を解決してもらえる

「そう思う」が43.4%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(35.8%)、「どちらともいえない」(15.1%)の順となっている。

④ 民生委員・児童委員を精神的に支えてもらえる

「まあそう思う」が34.9%と最も多く、次いで、「そう思う」(33.0%)、「どちらともいえない」(25.5%)の順となっている。

⑤ センターを活用することで、民生委員・児童委員の業務量を減らすことができる

「まあそう思う」が32.1%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(29.2%)、「そう思う」(22.6%)の順となっている。

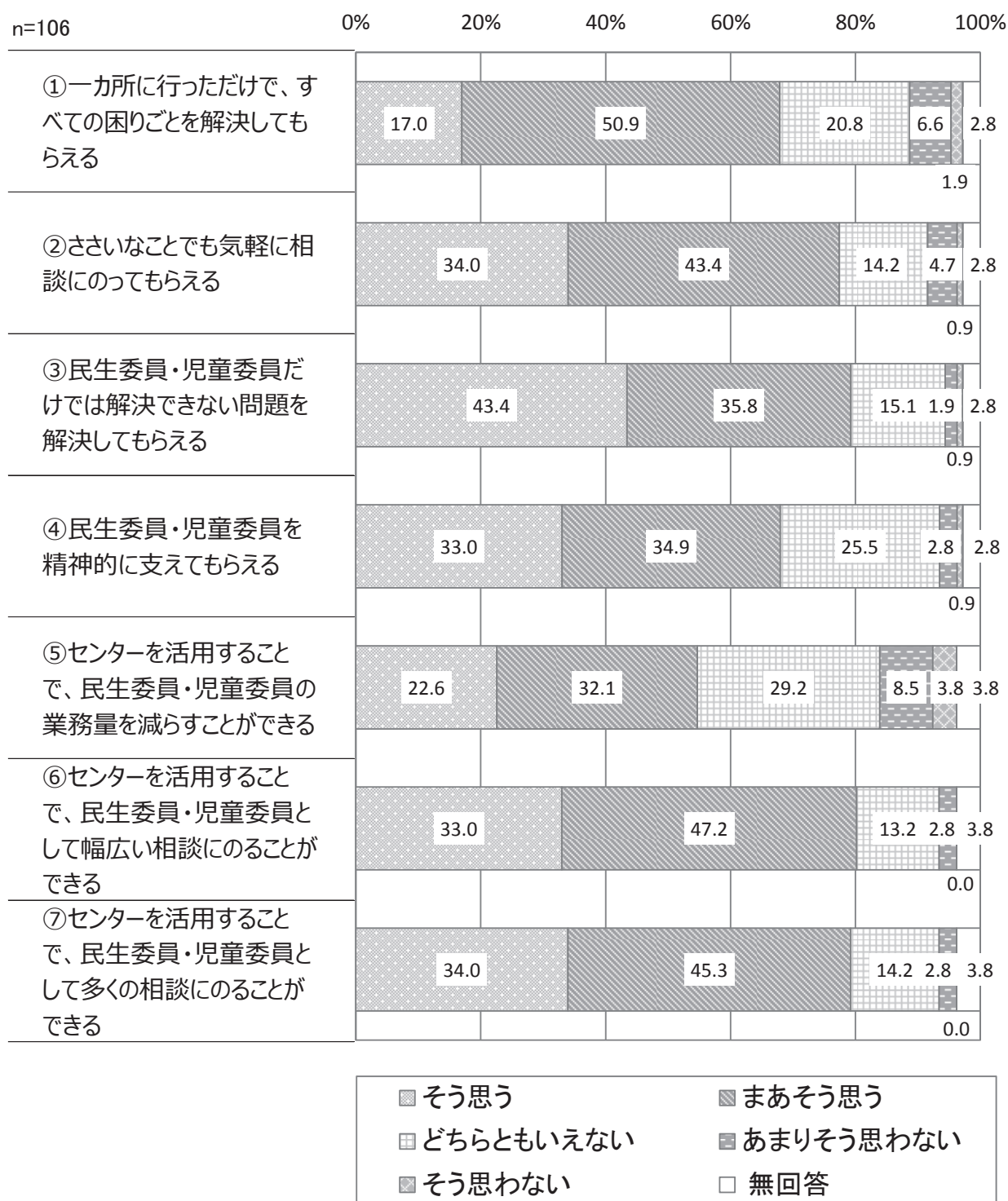
⑥ センターを活用することで、民生委員・児童委員として幅広い相談にのることができる

「まあそう思う」が47.2%と最も多く、次いで、「そう思う」(33.0%)、「どちらともいえない」(13.2%)の順となっている。

⑦ センターを活用することで、民生委員・児童委員として多くの相談にのることができる

「まあそう思う」が45.3%と最も多く、次いで、「そう思う」(34.0%)、「どちらともいえない」(14.2%)の順となっている。

図 15



10. 地域づくり組織の福祉部会について

問10 あなたの地域には地域づくり組織の福祉部会がありますが、これについてどのように考えですか。「そう思う」「まあそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち、当てはまるものの番号を○で囲んでください。

① 地域で働く専門職との話し合いの場になっている

「どちらともいえない」が37.7%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(22.6%)、「あまりそう思わない」(17.9%)の順となっている。

② 地域活動に関わっている住民・ボランティアとの話し合いの場になっている

「まあそう思う」が33.0%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(31.1%)、「あまりそう思わない」(14.2%)の順となっている。

③ 民生委員・児童委員では解決できない問題について相談する場になっている

「どちらともいえない」が36.8%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(17.9%)、「あまりそう思わない」(16.0%)の順となっている。

④ 地域で支えが必要な人について相談する場になっている

「どちらともいえない」が34.0%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(25.5%)、「あまりそう思わない」(17.0%)の順となっている。

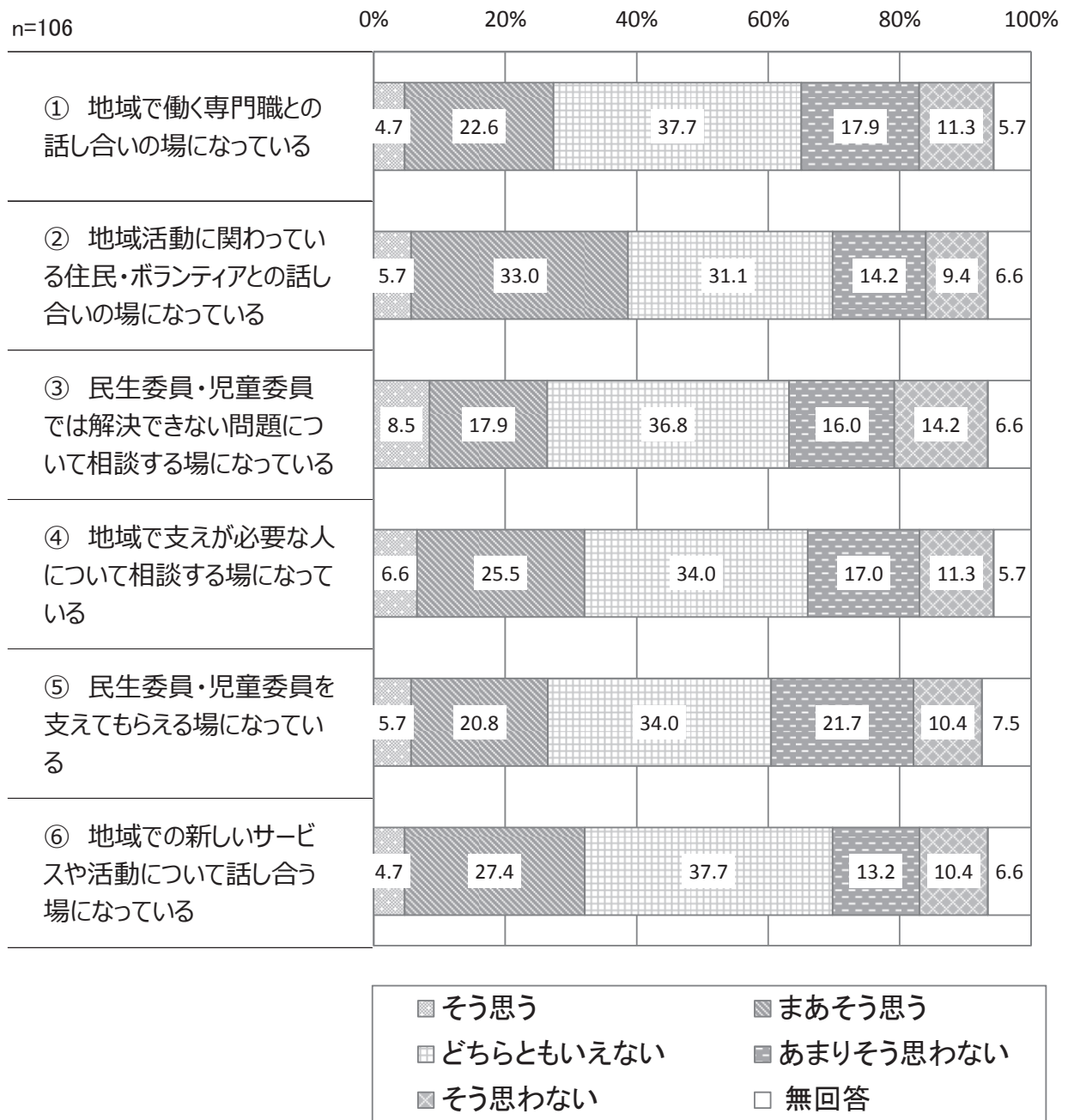
⑤ 民生委員・児童委員を支えてもらえる場になっている

「どちらともいえない」が34.0%と最も多く、次いで、「あまりそう思わない」(21.7%)、「まあそう思う」(20.8%)の順となっている。

⑥ 地域での新しいサービスや活動について話し合う場になっている

「どちらともいえない」が37.7%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(27.4%)、「あまりそう思わない」(13.2%)の順となっている。

図 16

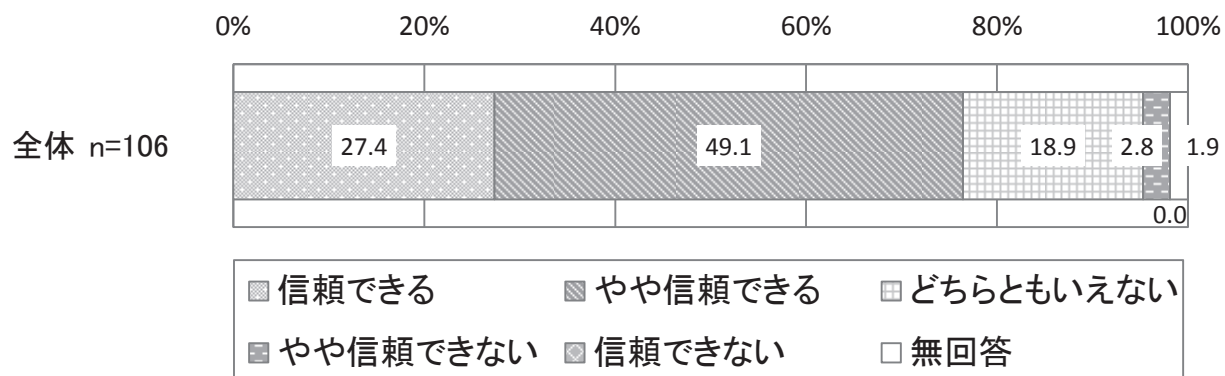


11. 自分が人を信頼できるかについて

問11 あなたは、一般的に人は信頼できると思いますか。それとも信頼できないと思いますか。当てはまる番号に一つだけ○をつけてください。

「やや信頼できる」が49.1%と最も多く、次いで、「信頼できる」(27.4%)、「どちらともいえない」(18.9%)の順となっている。

図 17

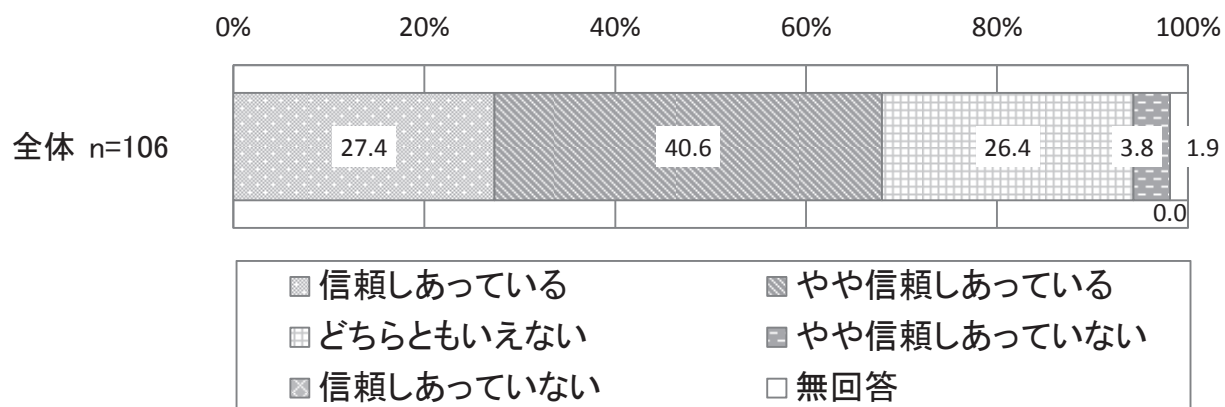


12. 地域の人々がお互いを信頼し合っているかについて

問12 あなたが現在お住まいの地域の人々は、全体としてお互いを信頼し合っていると思いますか。当てはまる番号に一つだけ○をつけてください。

「やや信頼しあっている」が40.6%と最も多く、次いで、「信頼しあっている」(27.4%)、「どちらともいえない」(26.4%)の順となっている。

図 18

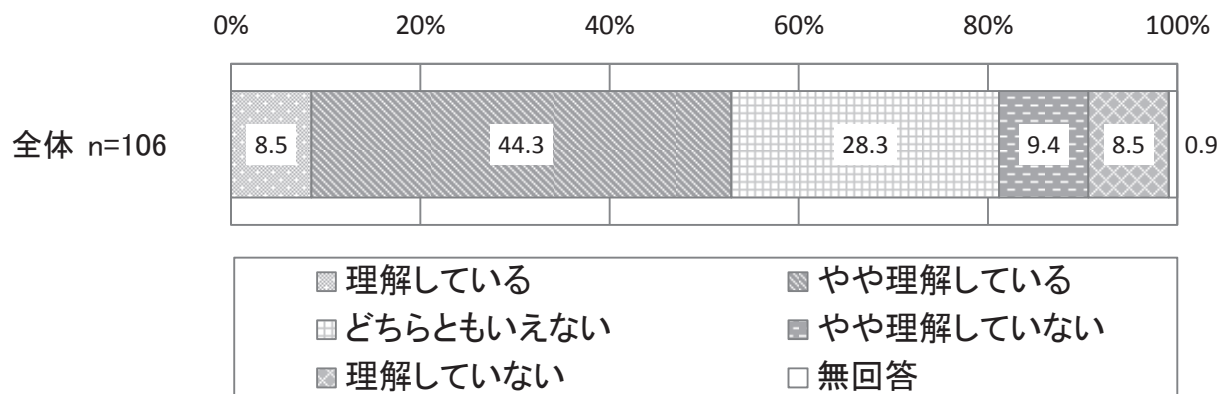


13. 地域の人々の民生委員・児童委員の理解度

問13 あなたの地域の人々は、民生委員・児童委員のことを理解していると思いますか。あなたのお気持ちに一番近いものの一つだけ○をつけてください。

「やや理解している」が44.3%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(28.3%)、「やや理解していない」(9.4%)の順となっている。

図 19

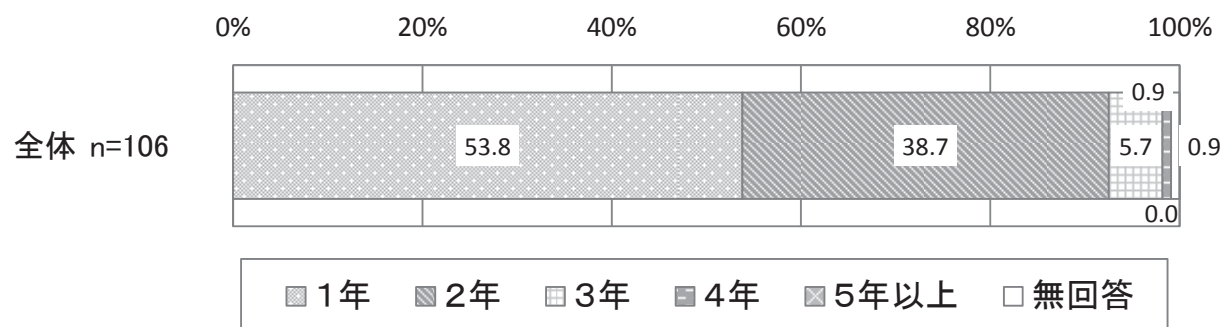


14. 民生委員・児童委員の任期

問14 平成29(2017)年2月1日現在、あなたは、民生委員・児童委員として何期目ですか。

「1年」が53.8%と最も多く、次いで、「2年」(38.7%)、「3年」(5.7%)の順となっている。

図 20

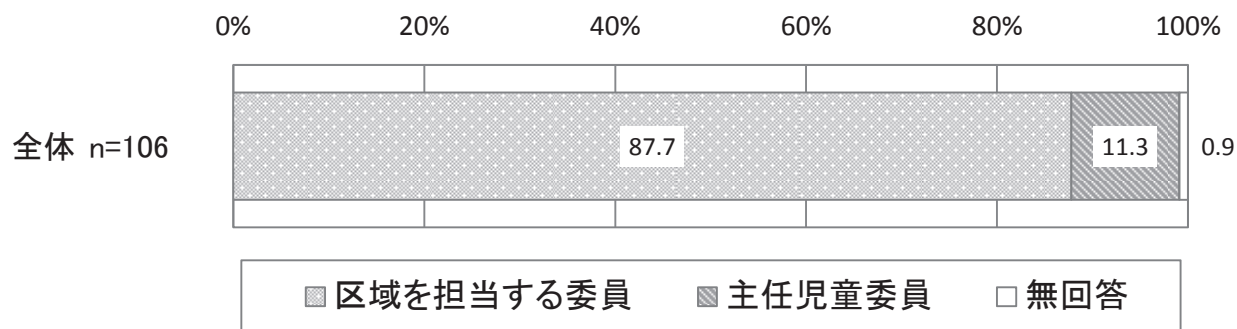


15. 民生委員・児童委員としての役割

問15 あなたの民生委員・児童委員としての役割に○をつけてください。

「区域を担当する委員」が87.7%、「主任児童委員」(11.3%)となっている。

図 21



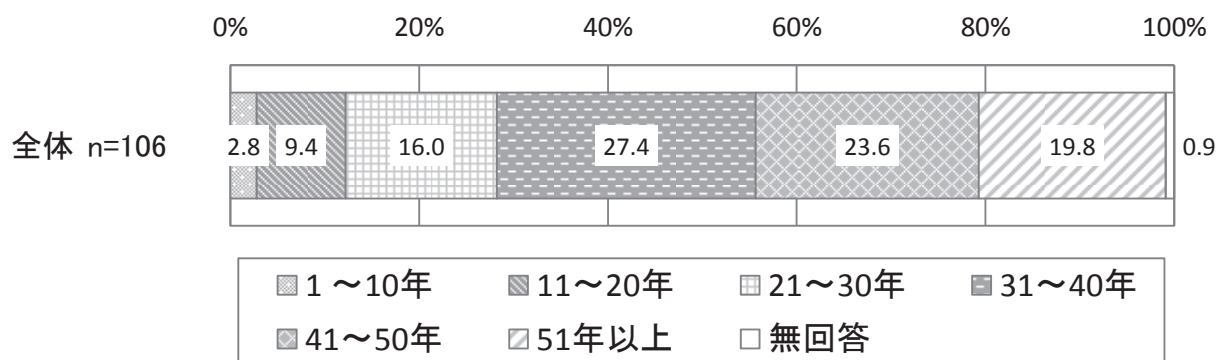
16. 担当区域内での居住歴

問16 あなたの民生委員・児童委員の担当区域内での居住歴はどれにあてはまりますか。()に年数を記入し、当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。

【居住年数】

「31～40年」が27.4%と最も多く、次いで、「41～50年」(23.6%)、「51年以上」(19.8%)の順となっている。

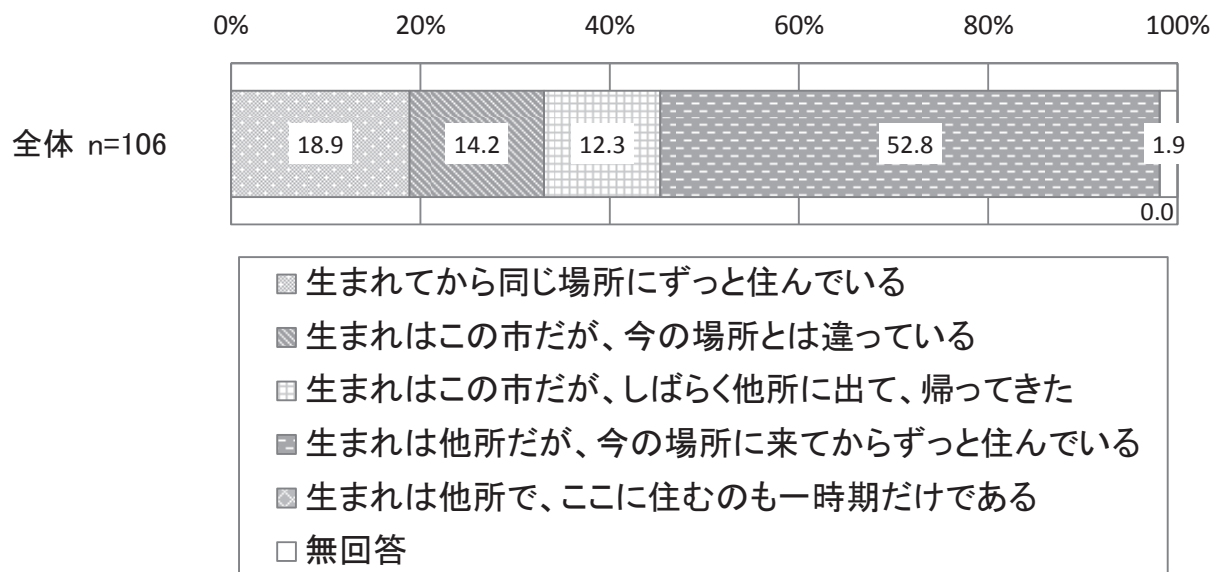
図 22



【居住歴】

「生まれは他所だが、今の場所に来てからずっと住んでいる」が52.8%と最も多く、次いで、「生まれてから同じ場所にずっと住んでいる」(18.9%)、「生まれはこの市だが、今の場所とは違っている」(14.2%)の順となっている。

図 23

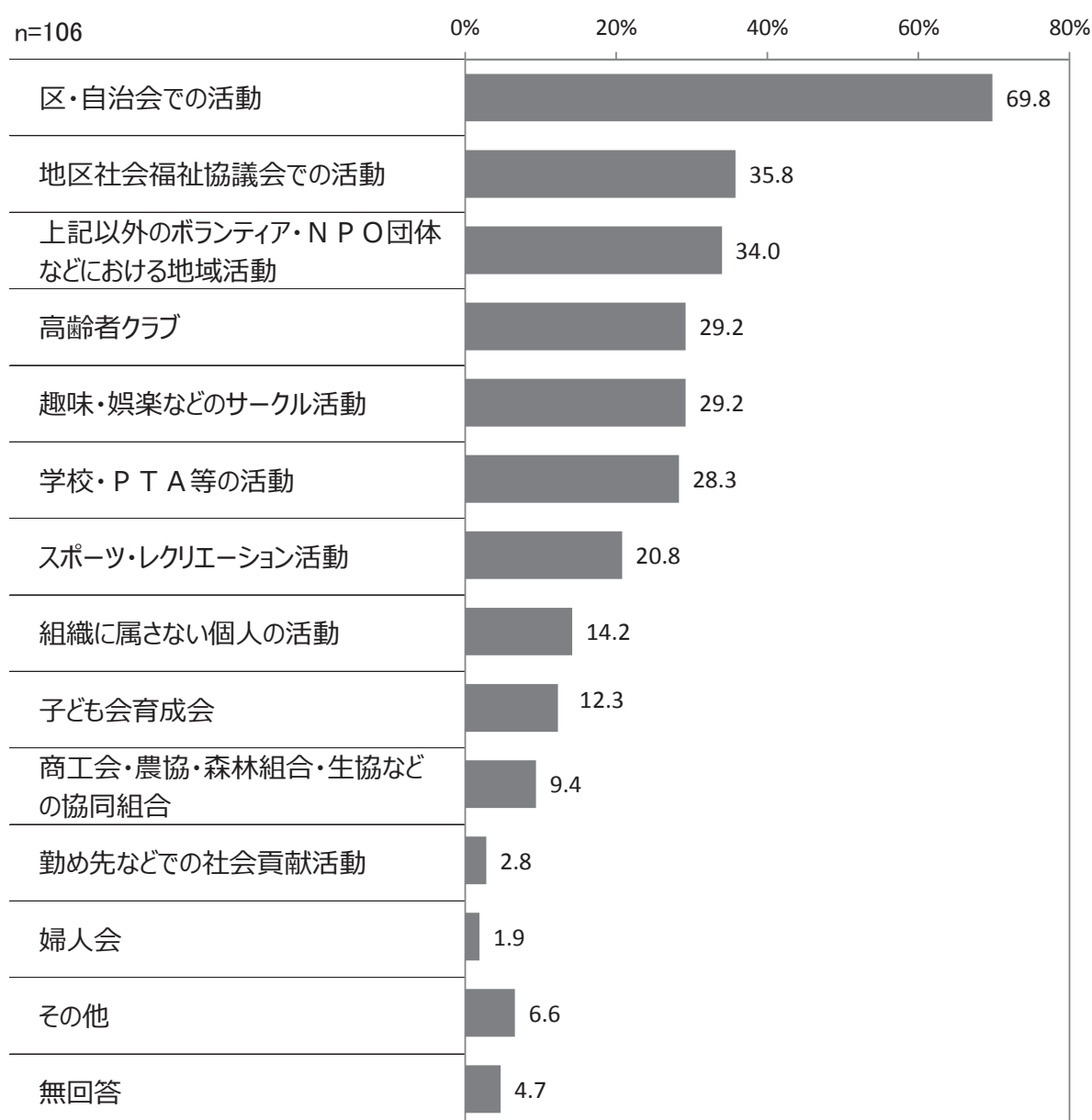


17. 地域での活動内容

問17 あなたは、現在、地域でどのような活動をされていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「区・自治会での活動」が 69.8%と最も多く、次いで、「地区社会福祉協議会での活動」(35.8%)、「上記以外のボランティア・NPO団体などにおける地域活動」(34.0%)の順となっている。

図 24

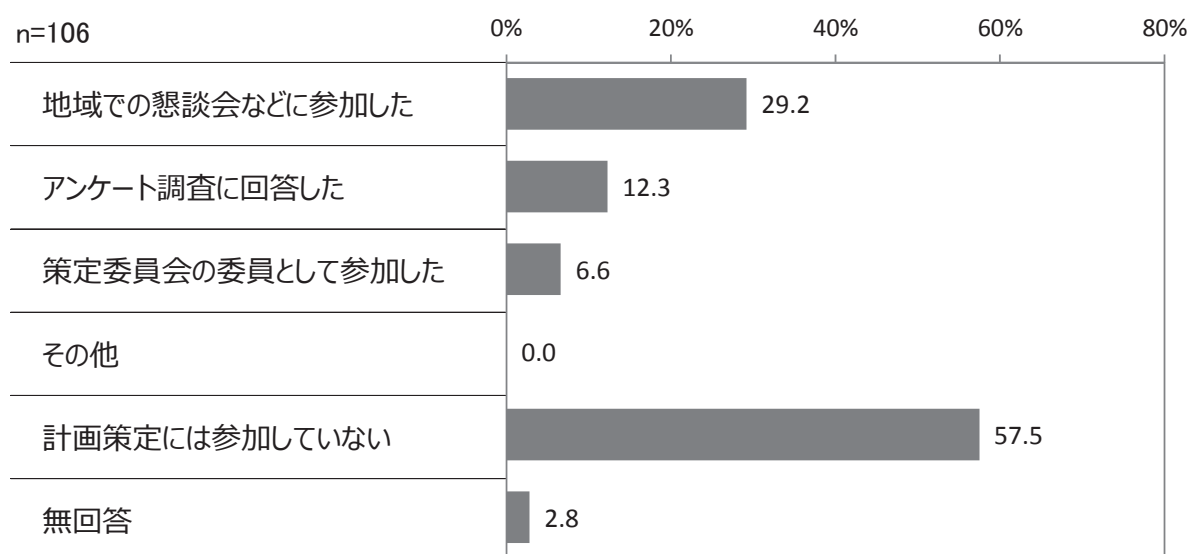


18. 地域福祉計画の策定への参加経験

問18 あなたは、10 地区で策定された『地域福祉行動計画』の策定に参加されましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「計画策定には参加していない」が 57.5%と最も多く、次いで、「地域での懇談会などに参加した」(29.2%)、「アンケート調査に回答した」(12.3%) の順となっている。

図 25



地域の相談・支援体制に関するアンケート 名張市

調査結果報告書

目次

I.	調査概要	63
①	調査の目的	63
②	調査対象及び調査方法	63
③	調査票の回収状況	63
④	報告書の見方	63
II.	調査結果	64
1.	最初に思い浮かべる「地域」の範囲	64
2.	困りごとの相談を受ける経路	65
3.	困りごとを抱えている住民を発見する機会	67
4.	福祉に関わる困りごとの相談窓口	69
5.	民児協以外の相談相手	70
6.	困りごとを抱えている人がいたときの行動	71
7.	支え合い活動の取り組みで住民がまとまりやすい拠点（場所）	73
8-1.	市役所の福祉関係課の窓口の利便性	74
8-2.	まちの保健室の利便性	75
9.	まちの保健室について	76
10.	地域づくり組織の福祉部会について	78
11.	自分が人を信頼できるかについて	80
12.	地域の人々がお互いを信頼し合っているかについて	81
13.	地域の人々の民生委員・児童委員の理解度	82
14.	民生委員・児童委員の任期	83
15.	民生委員・児童委員としての役割	84
16.	担当区域内での居住歴	85
17.	地域での活動内容	86
18.	地域福祉計画の策定への参加経験	87

I. 調査概要

① 調査の目的

本調査は、日本地域福祉学会の研究プロジェクトにおいて、「コミュニティ再生に向けた地域福祉実践理論の構築とその研究方法論の確立に関する研究」をテーマに研究を進めている一環として、地域における相談・支援体制の実態を把握することを目的に実施しました。

② 調査対象及び調査方法

- (1) 調査地域：名張市内全域
- (2) 調査対象：民生委員・児童委員
- (3) 標本数：180 サンプル
- (4) 調査時期：2017年2月9日
- (5) 調査方法：2017年2月9日開催の研修会で配布・回収。

③ 調査票の回収状況

- (1) 配布数：180 件
- (2) 回収数(率)：172 件 (95.6%)
- (3) 有効回答数(率)：172 件 (95.6%)
- (4) 無効回答数(率)：0 件 (0.0%)

④ 報告書の見方

- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が0の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、選択肢の文章を簡略化してある場合もあります。

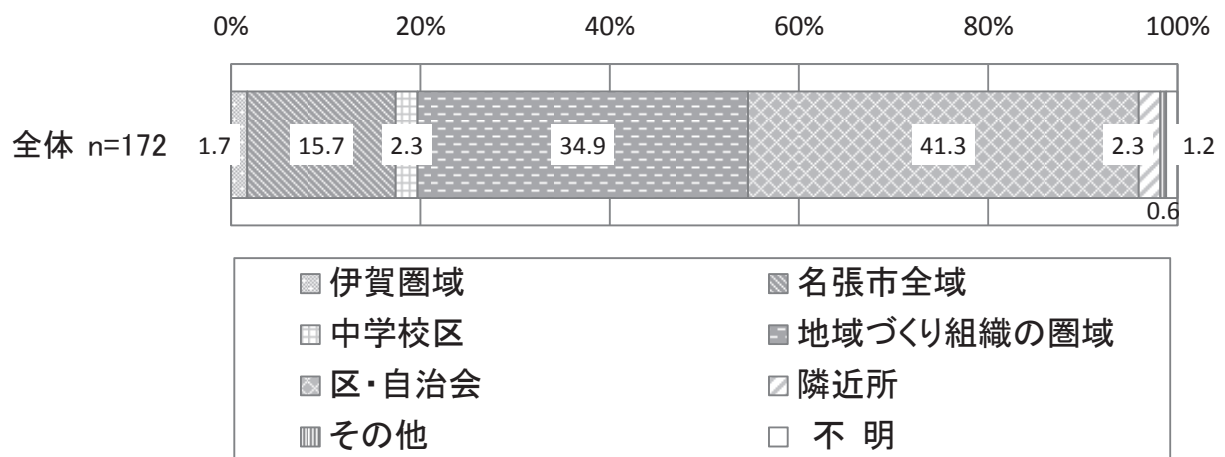
II. 調査結果

1. 最初に思い浮かべる「地域」の範囲

問1 「地域」という言葉を聞いたときに、あなたが最初に思い浮かべる「地域」の範囲は次のどれでしょうか。次の中からあてはまる番号に一つだけに○をつけてください。

「区・自治会」が41.3%と最も多く、次いで、「地域づくり組織の圏域」(34.9%)、「名張市全域」(15.7%)の順となっている。

図 1



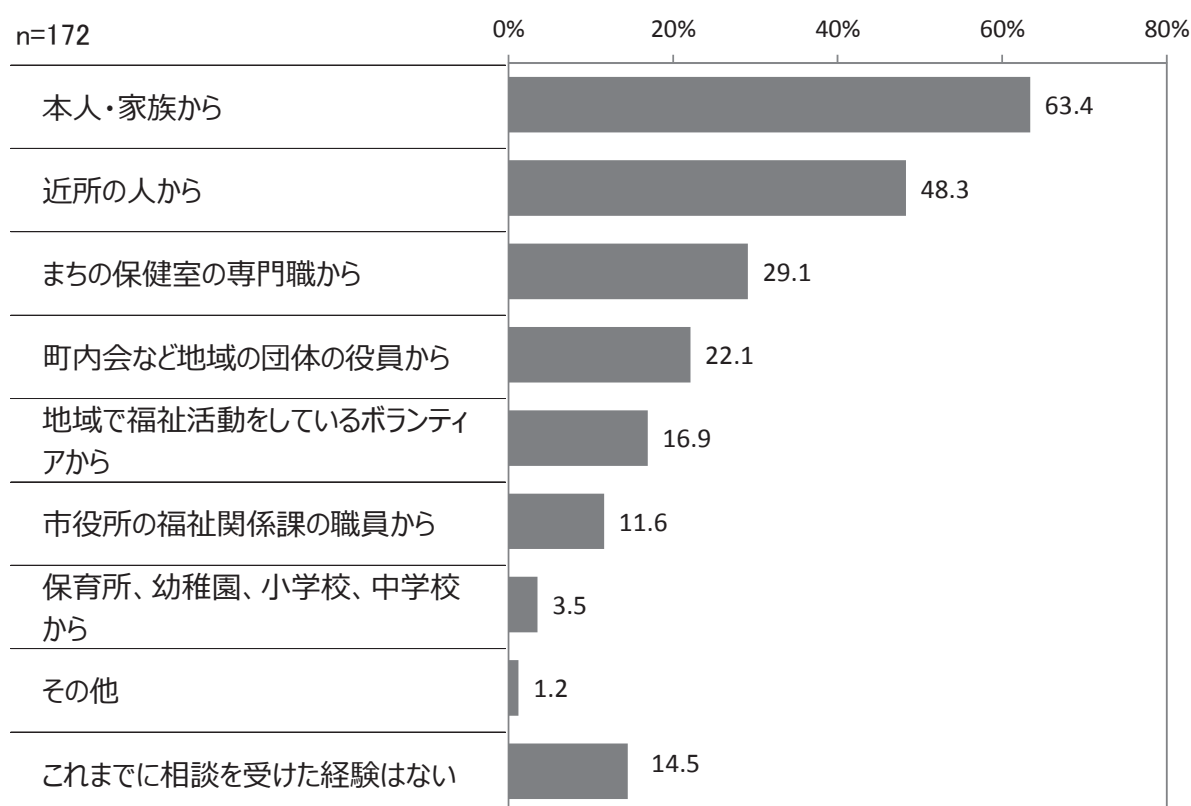
2. 困りごとの相談を受ける経路

問2 あなたは、住民の困りごとの相談をどのような経路で受けていますか。もっとも多いものに一つだけ◎をつけ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【相談を受けているすべての経路（◎と○の回答）】

「本人・家族から」が63.4%と最も多く、次いで、「近所の人から」(48.3%)、「まちの保健室の専門職から」(29.1%)の順となっている。

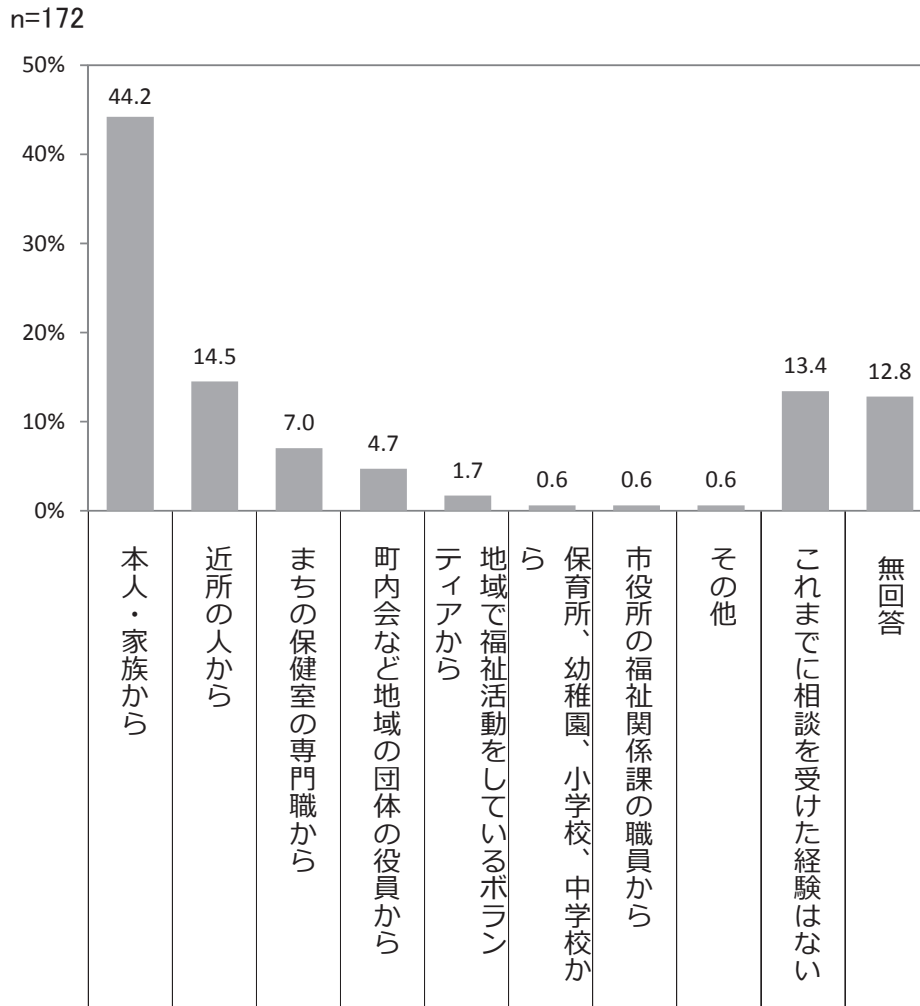
図 2



【相談を受けるもっとも多い経路（◎の回答）】

「本人・家族から」が44.2%と最も多く、次いで、「近所の人から」(14.5%)、「これまでに相談を受けた経験はない」(13.4%)の順となっている。

図 3



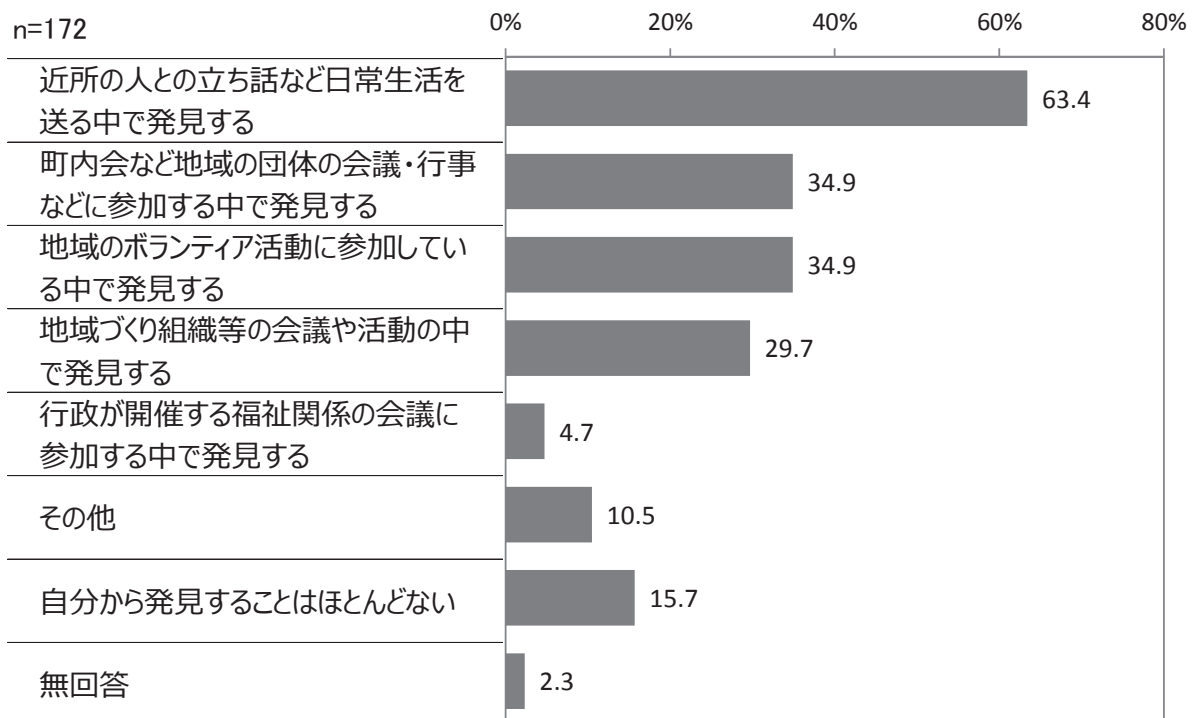
3. 困りごとを抱えている住民を発見する機会

問3 あなたは、民生委員・児童委員として、困りごとを抱えている住民をどのような機会に発見することが多いですか。もっとも多いものに一つだけ◎をつけ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【困りごとを抱えている住民を発見するすべての機会（◎と○の回答）】

「近所の人との立ち話など日常生活を送る中で発見する」が63.4%と最も多く、次いで、「町内会など地域の団体の会議・行事などに参加する中で発見する」「地域のボランティア活動に参加している中で発見する」（34.9%）、「地域づくり組織等の会議や活動の中で発見する」（29.7%）の順となっている。

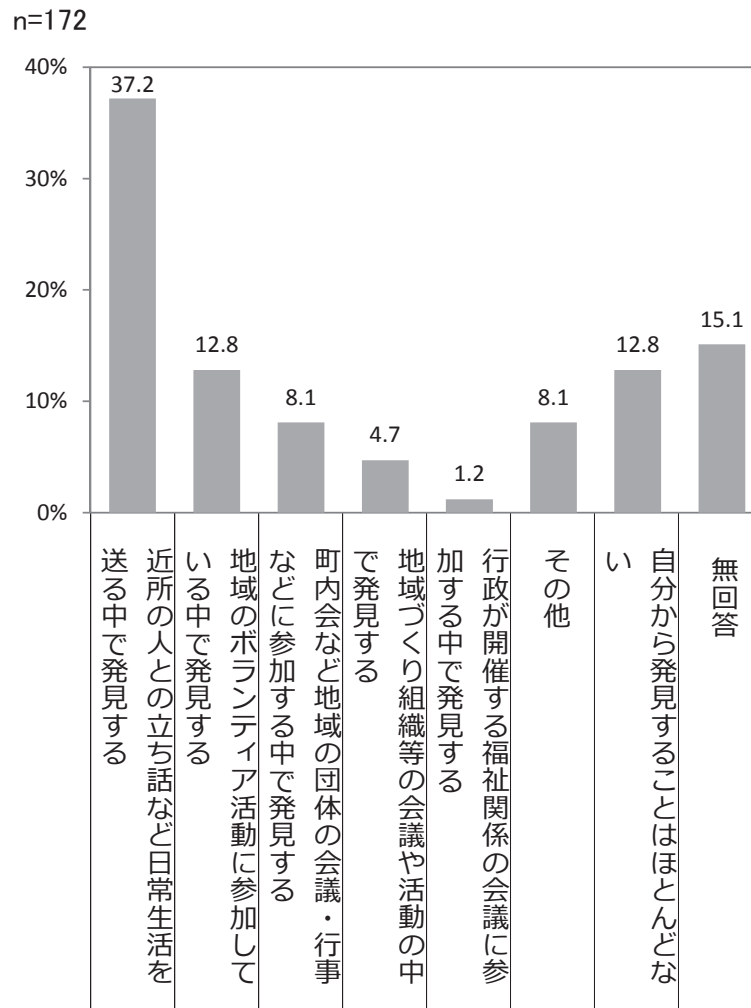
図 4



【困りごとを抱えている住民を発見するもっとも多い機会（◎の回答）】

「近所の人との立ち話など日常生活を送る中で発見する」が37.2%と最も多く、次いで、「地域のボランティア活動に参加している中で発見する」「自分から発見することはほとんどない」（12.8%）の順となっている。

図 5

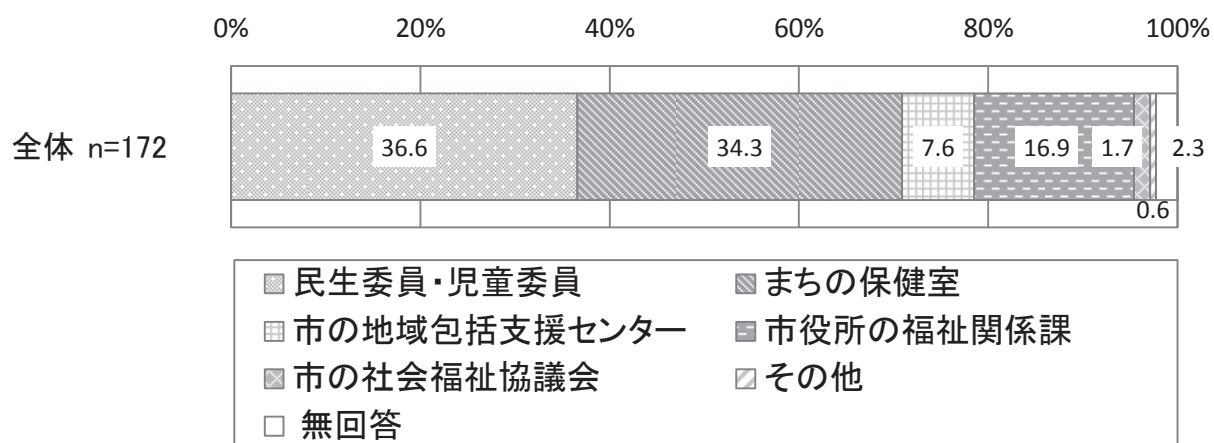


4. 福祉に関わる困りごとの相談窓口

問4 あなたの担当区域では、一般的に、一人暮らしの高齢者が福祉に関わる困りごとを抱えた時に相談に行くのはどの窓口だと思われますか。もっとも多いと思われるものに一つだけ○をつけてください。

「民生委員・児童委員」が36.6%と最も多く、次いで、「まちの保健室」(34.3%)、「市役所の福祉関係課」(16.9%)の順となっている。

図 6



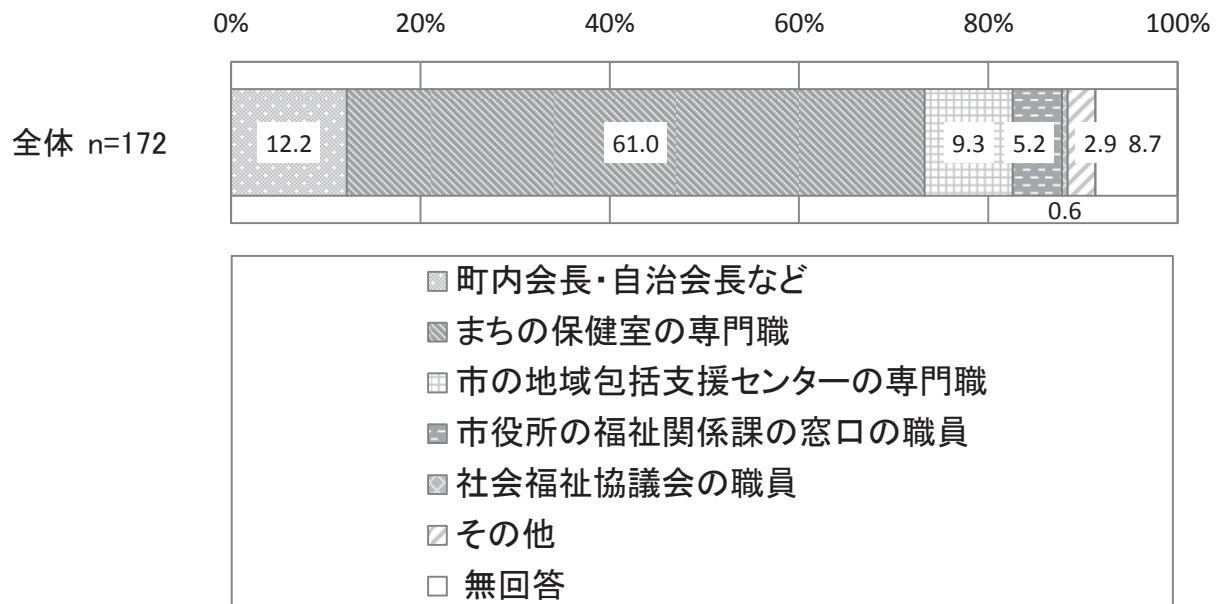
5. 民児協以外の相談相手

【区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

問5 あなたは、民生委員・児童委員として受けた相談を解決するためにつなげる機関やサービスが見つからない時、民児協内で相談する以外に、だれに相談しますか。もっともよく相談する相手に一つだけ○をつけてください。

「まちの保健室の専門職」が61.0%と最も多く、次いで、「町内会長・自治会長など」(12.2%)、「市の地域包括支援センターの専門職」(9.3%)の順となっている。

図 7



6. 困りごとを抱えている人がいたときの行動

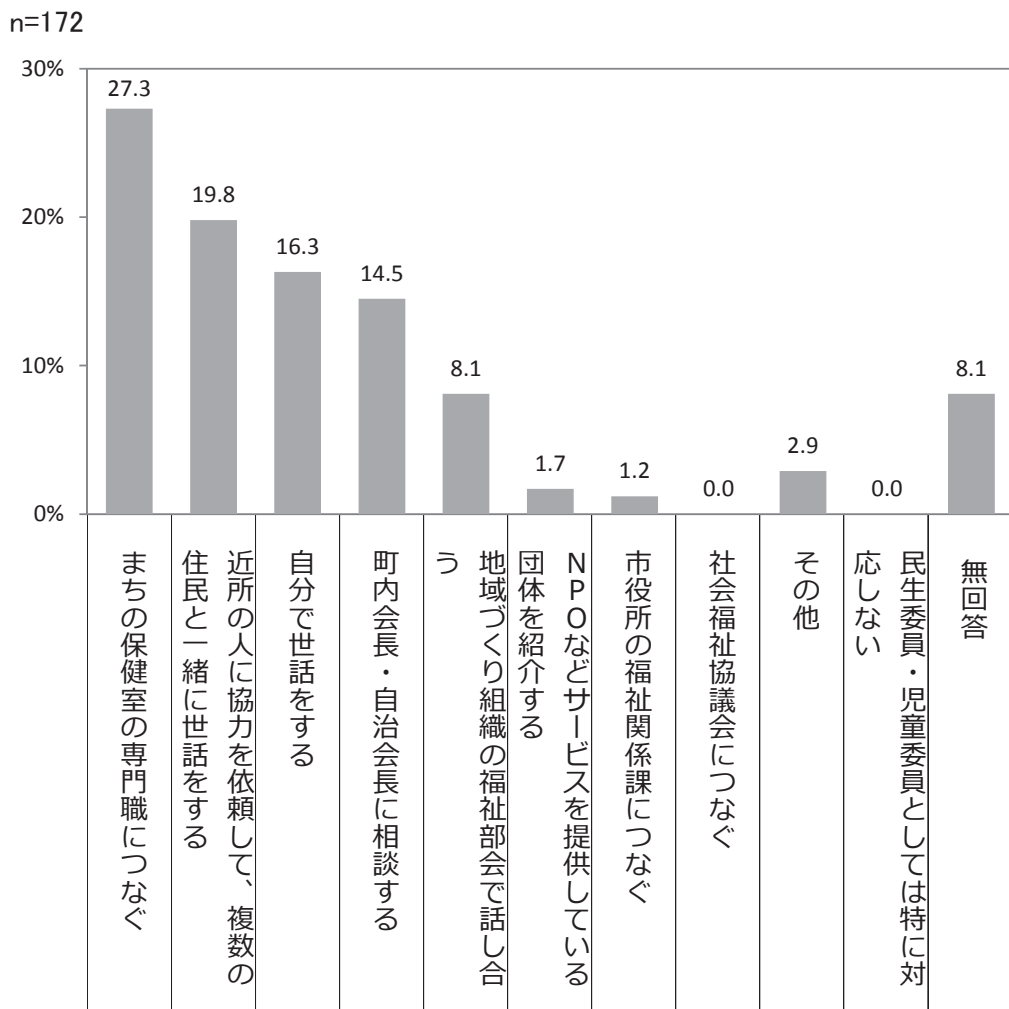
【区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

問6 もし、あなたの地域に次のような困りごとを抱えている人がいたら、あなたはどのように行動しますか。行動する可能性がもっとも高いものに一つだけ○をつけてください。

(1) 歩行が困難になりつつある一人暮らしの高齢者が、地域で開かれているサロンに参加したいと思っているが、移動の手段がない。

「まちの保健室の専門職につなぐ」が 27.3%と最も多く、次いで、「近所の人に協力を依頼して、複数の住民と一緒に世話をする」(19.8%)、「自分で世話をする」(16.3%)の順となっている。

図 8



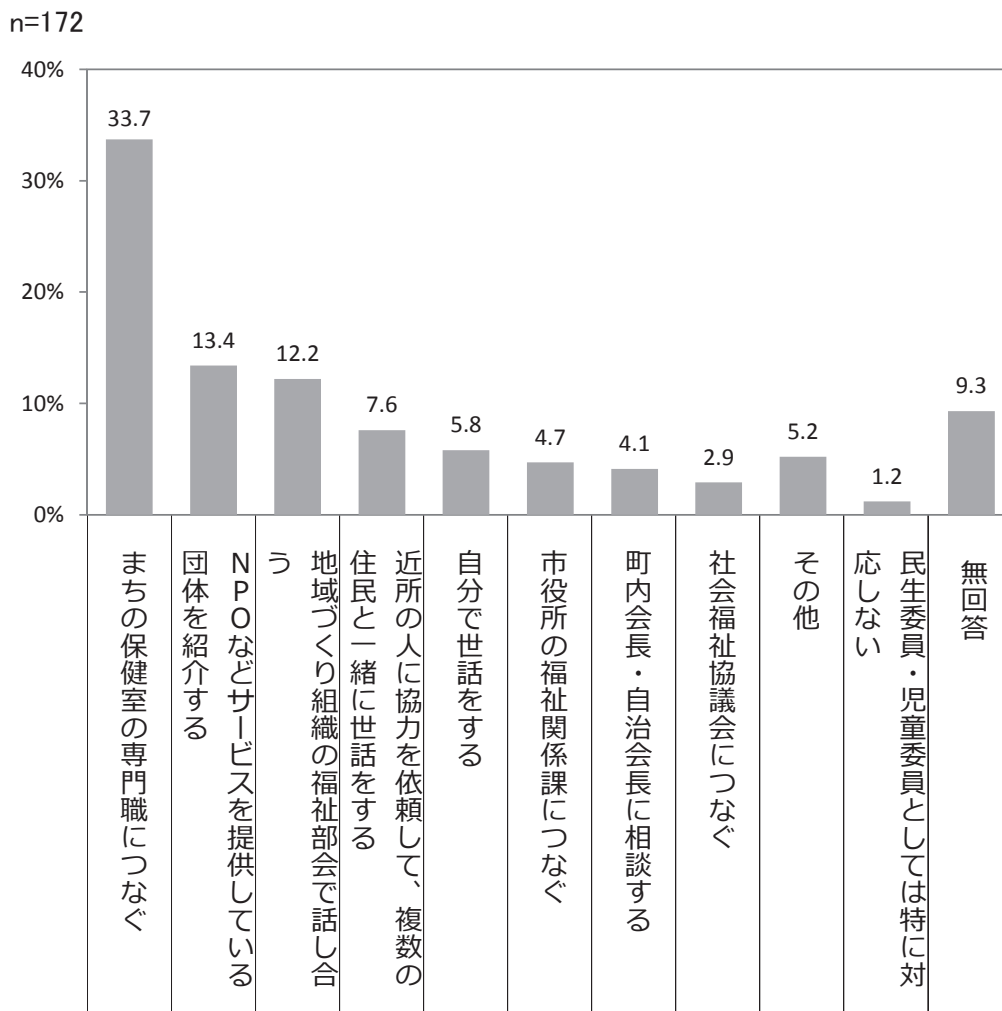
【区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

問6 もし、あなたの地域に次のような困りごとを抱えている人がいたら、あなたはどうに行動しますか。行動する可能性がもっとも高いものに一つだけ○をつけてください。

(2) 歩行が困難になりつつある一人暮らしの高齢者が、食料品を購入するための買い物に行くことが難しい。

「まちの保健室の専門職につなぐ」が 33.7%と最も多く、次いで、「NPOなどサービスを提供している団体を紹介する」(13.4%)、「地域づくり組織の福祉部会で話し合う」(12.2%)の順となっている。

図 9

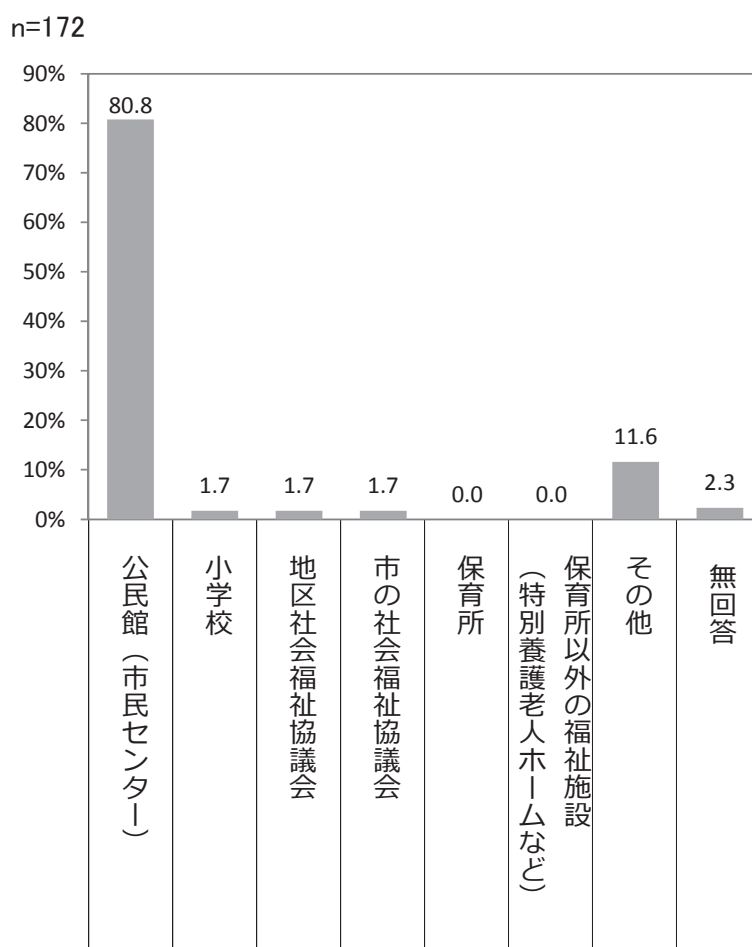


7. 支え合い活動の取り組みで住民がまとまりやすい拠点（場所）

問7 もし、あなたの地域で、支え合い活動に取り組むことになった場合、住民がまとまりやすい拠点(場所)としてどこが適切だとお考えですか。もっとも適切だと考える場所に一つだけ○をつけてください。

「公民館（市民センター）」が80.8%と最も多く、次いで、「小学校」「地区社会福祉協議会」「市の社会福祉協議会」（1.7%）の順となっている。

図 10

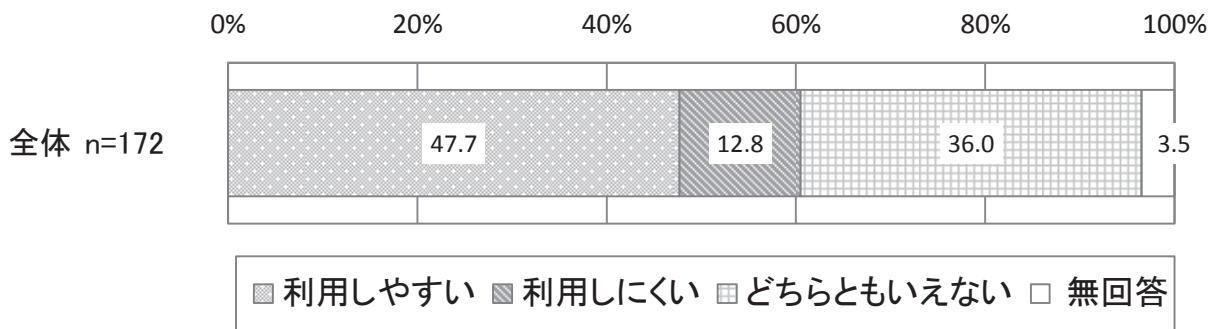


8-1. 市役所の福祉関係課の窓口の利便性

問8 あなたの地域にある次の機関は、民生委員・児童委員活動を行う上で利用しやすいですか。当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。
 (1)市役所の福祉関係課の窓口

「利用しやすい」が47.7%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(36.0%)、「利用しにくい」(12.8%)の順となっている。

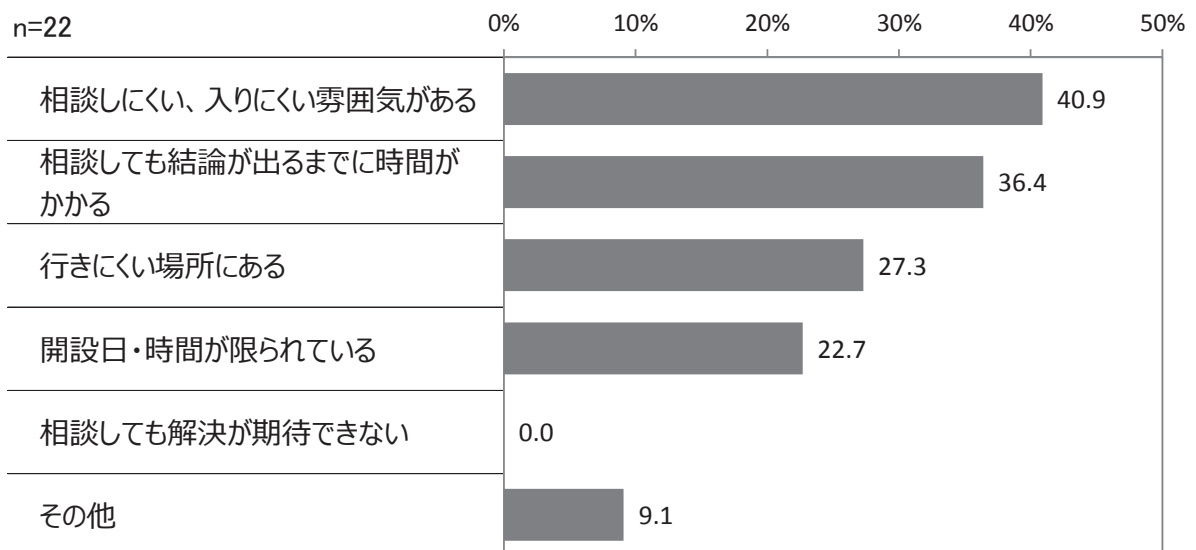
図 11



(1)-2 「2 利用しにくい」と回答された方にお尋ねします。それは、どのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「相談しにくい、入りにくい雰囲気がある」が40.9%と最も多く、次いで、「相談しても結論が出るまでに時間がかかる」(36.4%)、「行きにくい場所にある」(27.3%)の順となっている。

図 12

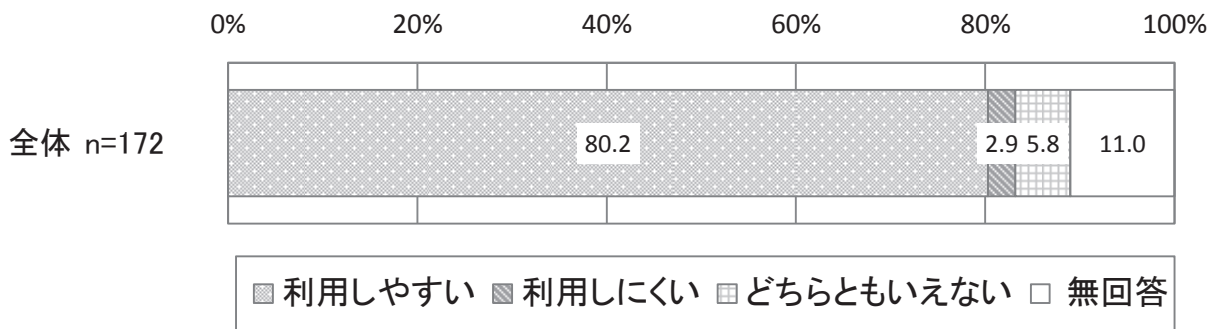


8-2. まちの保健室の利便性

問8 あなたの地域にある次の機関は、民生委員・児童委員活動を行う上で利用しやすいですか。当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。
(2)まちの保健室

「利用しやすい」が80.2%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(5.8%)、「利用しにくい」(2.9%)の順となっている。

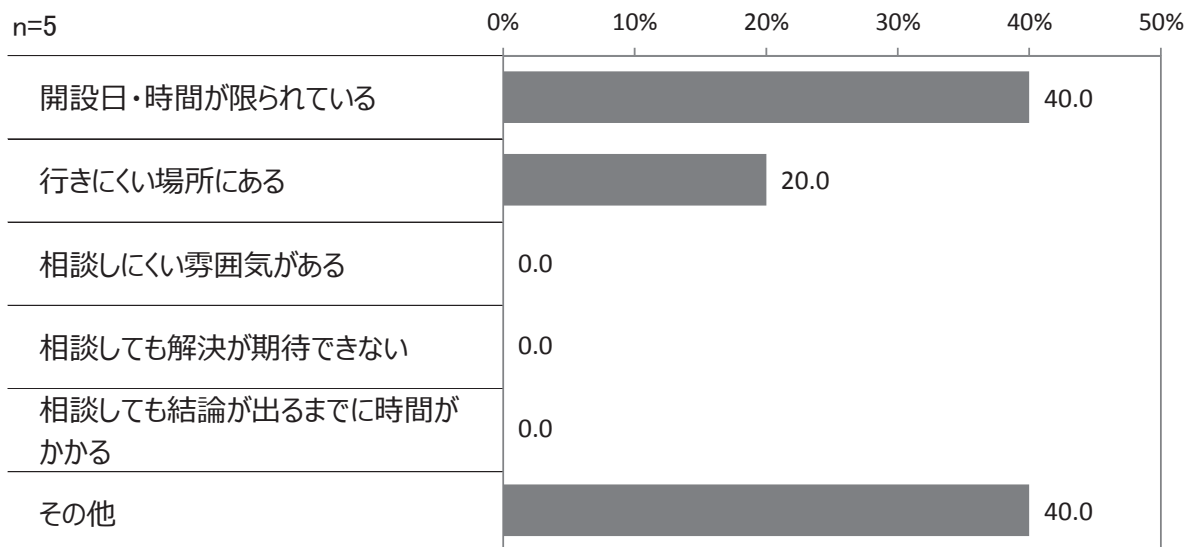
図 13



(2)-2 「2 利用しにくい」と回答された方にお尋ねします。それは、どのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「開設日・時間が限られている」が40.0%と最も多く、次いで、「行きにくい場所にある」(20.0%)の順となっている。

図 14



9. まちの保健室について

問9 民生委員・児童委員活動をする上で、まちの保健室についてどのようにお考えですか。「そう思う」「まあそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち、当てはまるものの番号を○で囲んでください。

① 一カ所に行っただけで、すべての困りごとを解決してもらえる

「まあそう思う」が43.0%と最も多く、次いで、「そう思う」(25.6%)、「どちらともいえない」(17.4%)の順となっている。

② ささいなことでも気軽に相談にのってもらえる

「そう思う」が58.7%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(27.3%)、「どちらともいえない」(7.6%)の順となっている。

③ 民生委員・児童委員だけでは解決できない問題を解決してもらえる

「そう思う」が39.5%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(36.6%)、「どちらともいえない」(12.8%)の順となっている。

④ 民生委員・児童委員を精神的に支えてもらえる

「そう思う」が43.0%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(36.6%)、「どちらともいえない」(10.5%)の順となっている。

⑤ まちの保健室を活用することで、民生委員・児童委員の業務量を減らすことができる

「そう思う」が35.5%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(24.4%)、「どちらともいえない」(23.8%)の順となっている。

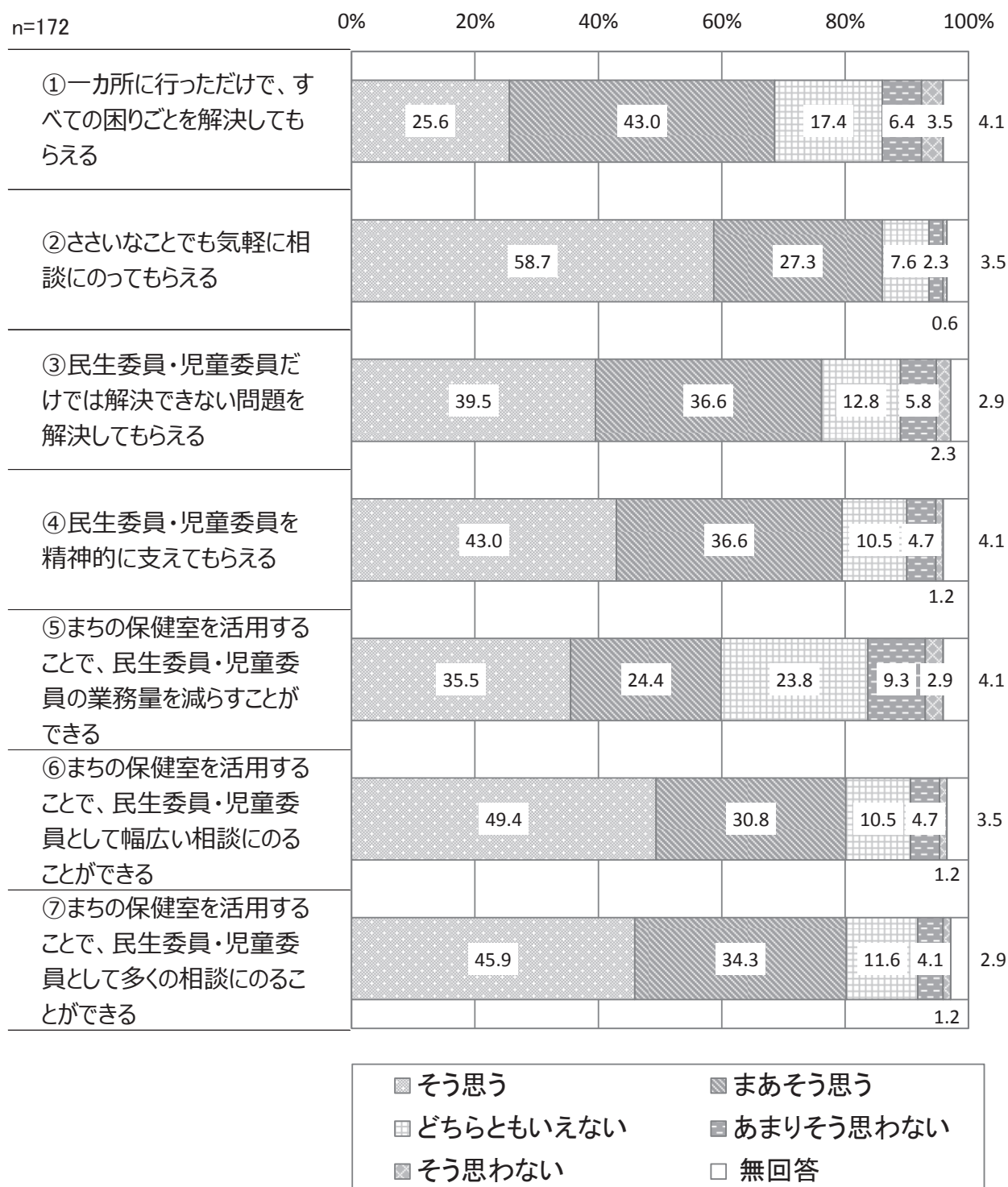
⑥ まちの保健室を活用することで、民生委員・児童委員として幅広い相談にのることができる

「そう思う」が49.4%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(30.8%)、「どちらともいえない」(10.5%)の順となっている。

⑦ まちの保健室を活用することで、民生委員・児童委員として多くの相談にのることができる

「そう思う」が45.9%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(34.3%)、「どちらともいえない」(11.6%)の順となっている。

図 15



10. 地域づくり組織の福祉部会について

問10 あなたの地域には、地域づくり組織の福祉部会がありますが、これについてどのように考えですか。「そう思う」「まあそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち、当てはまるものの番号を○で囲んでください。

① 地域で働く専門職との話し合いの場になっている

「どちらともいえない」が34.3%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(22.1%)、「あまりそう思わない」(16.9%)の順となっている。

② 地域活動に関わっている住民・ボランティアとの話し合いの場になっている

「まあそう思う」が32.6%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(24.4%)、「あまりそう思わない」(14.5%)の順となっている。

③ 民生委員・児童委員では解決できない問題について相談する場になっている

「どちらともいえない」が30.2%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(22.1%)、「あまりそう思わない」(18.0%)の順となっている。

④ 地域で支えが必要な人について相談する場になっている

「どちらともいえない」が26.7%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(21.5%)、「あまりそう思わない」(17.4%)の順となっている。

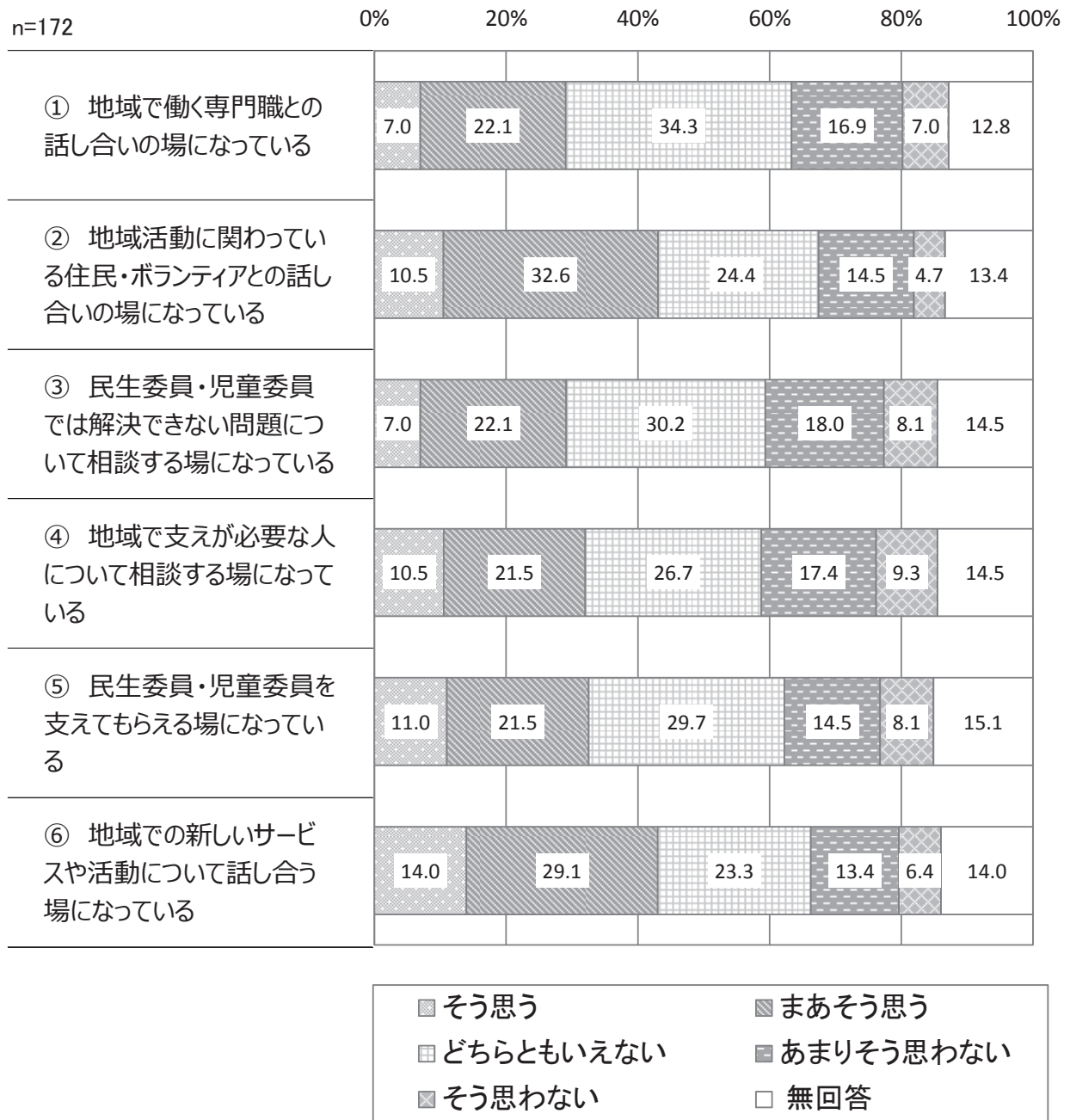
⑤ 民生委員・児童委員を支えてもらえる場になっている

「どちらともいえない」が29.7%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(21.5%)、「あまりそう思わない」(14.5%)の順となっている。

⑥ 地域での新しいサービスや活動について話し合う場になっている

「まあそう思う」が29.1%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(23.3%)、「そう思う」(14.0%)の順となっている。

図 16

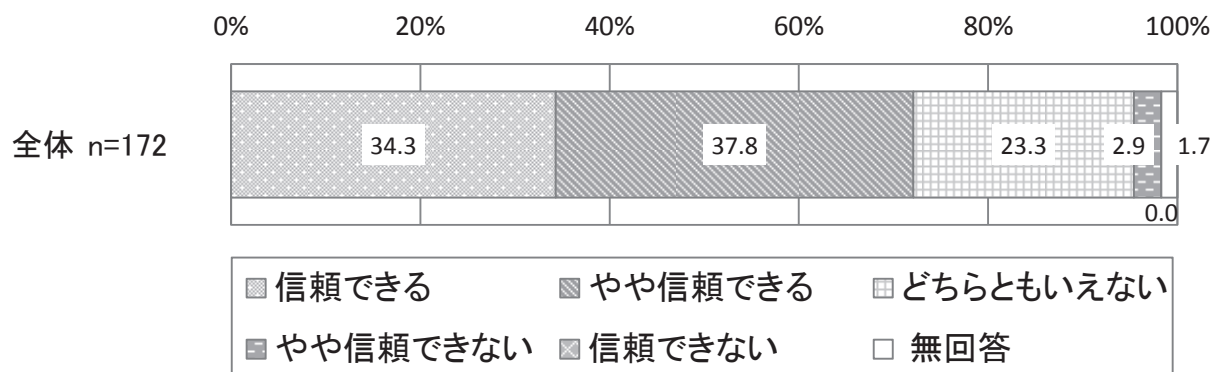


11. 自分が人を信頼できるかについて

問11 あなたは、一般的に人は信頼できると思いますか。それとも信頼できないと思いますか。当てはまる番号に一つだけ○をつけてください。

「やや信頼できる」が37.8%と最も多く、次いで、「信頼できる」(34.3%)、「どちらともいえない」(23.3%)の順となっている。

図 17

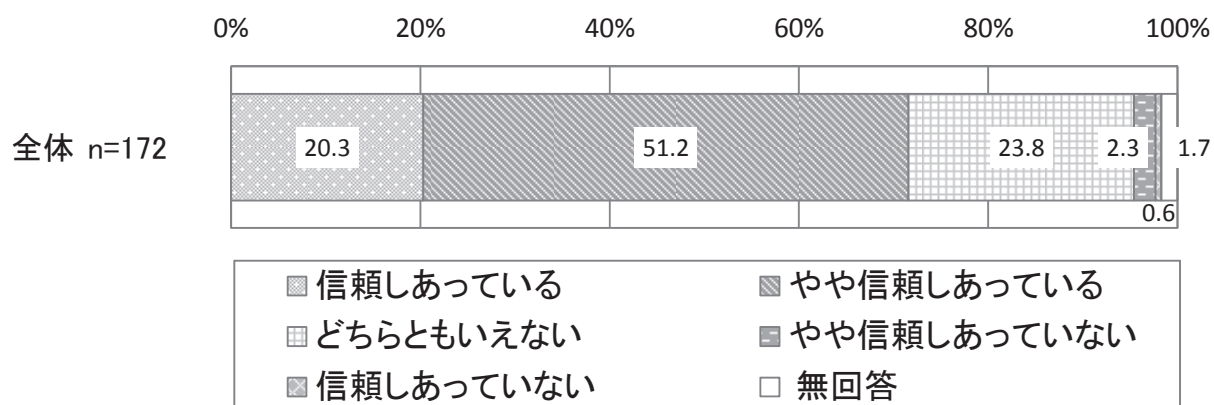


12. 地域の人々がお互いを信頼し合っているかについて

問12 あなたが現在お住まいの地域の人々は、全体としてお互いを信頼し合っていると思いますか。当てはまる番号に一つだけ○をつけてください。

「やや信頼しあっている」が 51.2%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(23.8%)、「信頼しあっている」(20.3%) の順となっている。

図 18

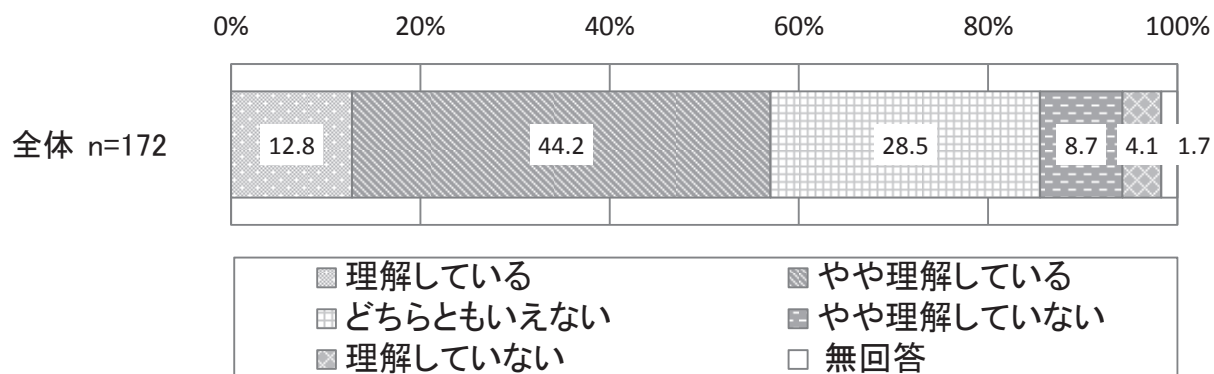


13. 地域の人々の民生委員・児童委員の理解度

問13 あなたの地域の人々は、民生委員・児童委員のことを理解していると思いますか。あなたのお気持ちに一番近いものの一つだけ○をつけてください。

「やや理解している」が44.2%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(28.5%)、「理解している」(12.8%)の順となっている。

図 19

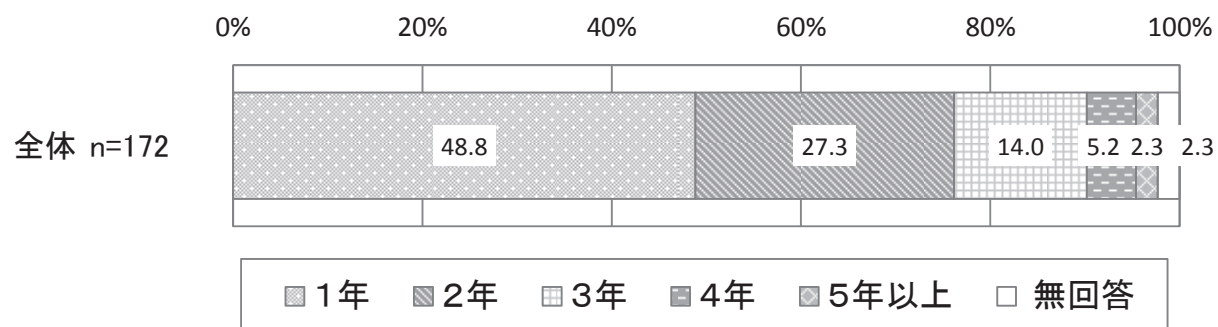


14. 民生委員・児童委員の任期

問14 平成29(2017)年2月1日現在、あなたは、民生委員・児童委員として何期目ですか。

「1年」が48.8%と最も多く、次いで、「2年」(27.3%)、「3年」(14.0%)の順となっている。

図 20

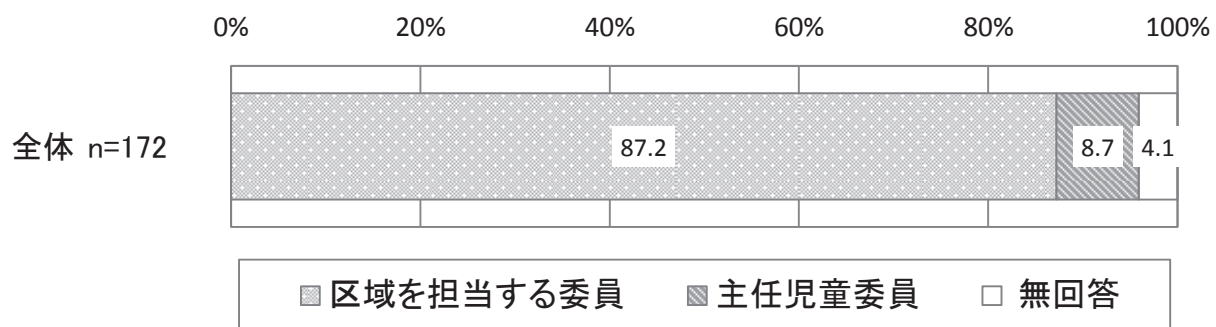


15. 民生委員・児童委員としての役割

問15 あなたの民生委員・児童委員としての役割に○をつけてください。

「区域を担当する委員」が 87.2%、「主任児童委員」が 8.7%となっている。

図 21



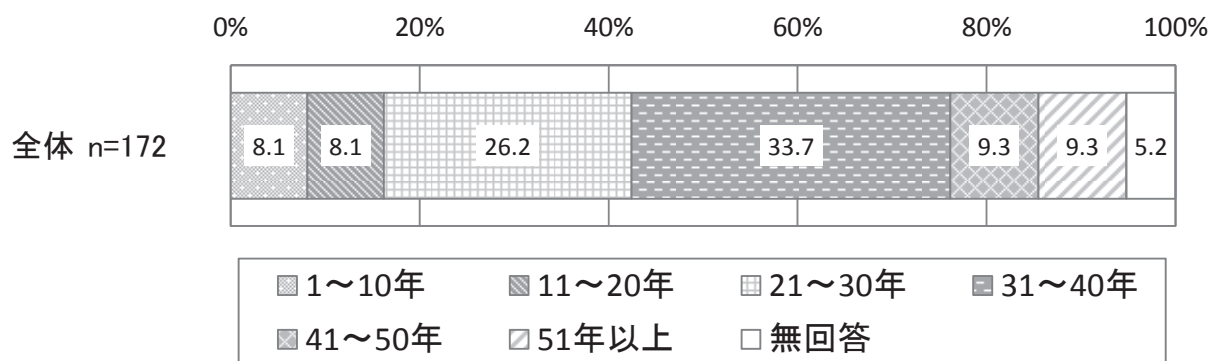
16. 担当区域内での居住歴

問16 あなたの民生委員・児童委員の担当区域内での居住歴はどれにあてはまりますか。()に年数を記入し、当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。

【居住年数】

「31～40年」が33.7%と最も多く、次いで、「21～30年」(26.2%)、「41～50年」「51年以上」(9.3%)の順となっている。

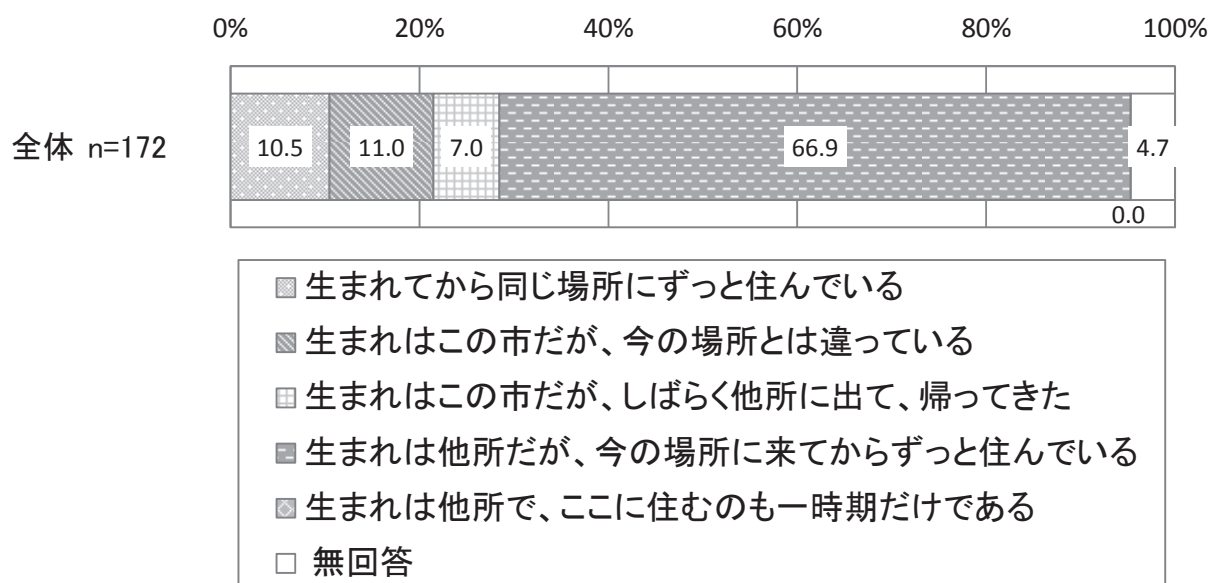
図 22



【居住歴】

「生まれは他所だが、今の場所に来てからずっと住んでいる」が66.9%と最も多く、次いで、「生まれはこの市だが、今の場所とは違っている」(11.0%)、「生まれてから同じ場所にずっと住んでいる」(10.5%)の順となっている。

図 23

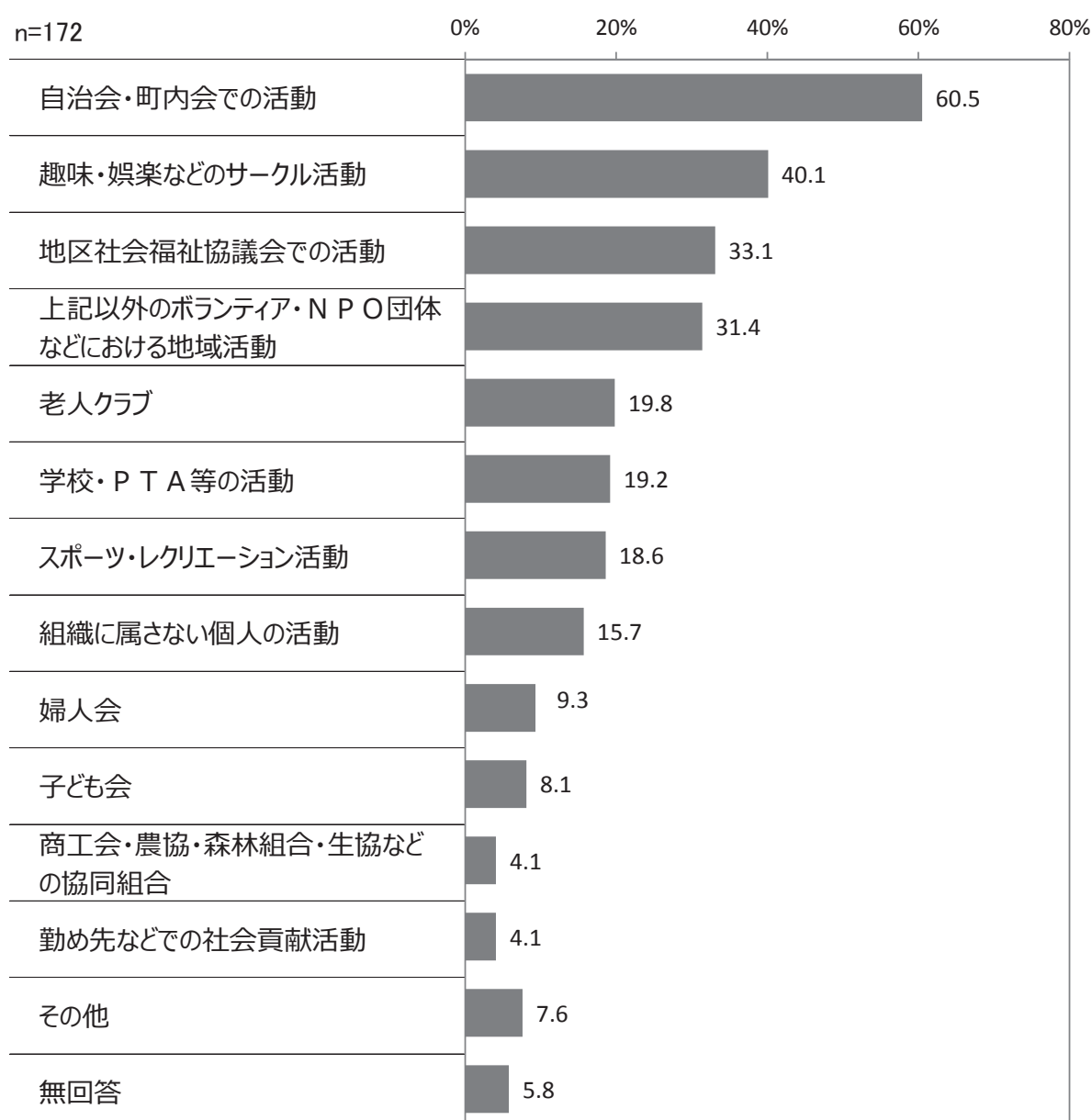


17. 地域での活動内容

問17 あなたは、現在、地域でどのような活動をされていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「自治会・町内会での活動」が60.5%と最も多く、次いで、「趣味・娯楽などのサークル活動」(40.1%)、「地区社会福祉協議会での活動」(33.1%)の順となっている。

図 24

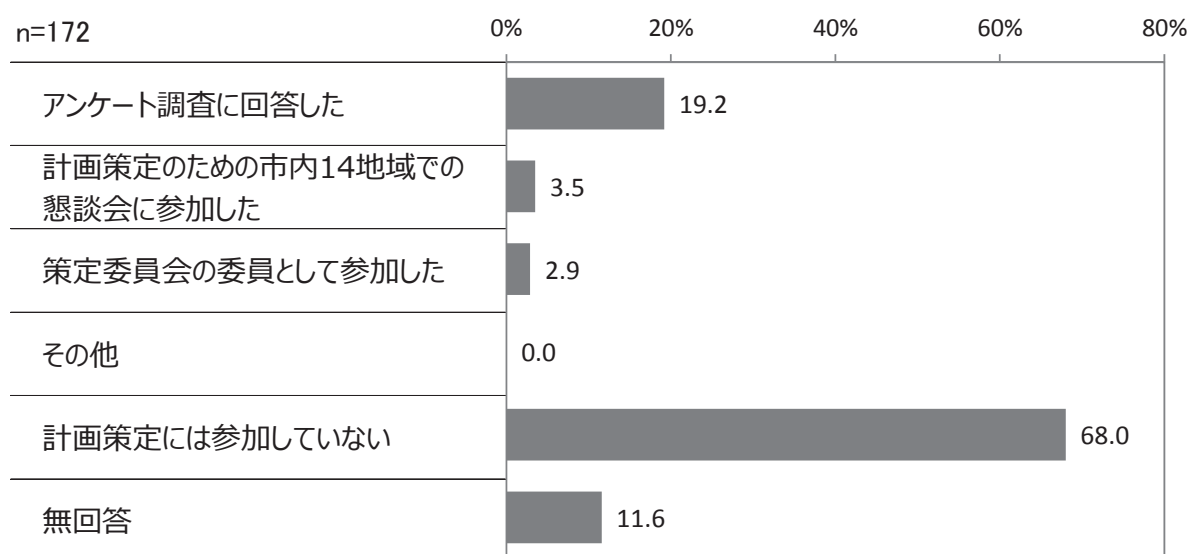


18. 地域福祉計画の策定への参加経験

問18 あなたは、平成 17(2005)年に名張市で策定された地域福祉計画の策定に参加されましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「計画策定には参加していない」が 68.0%と最も多く、次いで、「アンケート調査に回答した」(19.2%)、「計画策定のための市内 14 地域での懇談会に参加した」(3.5%) の順となっている。

図 25



地域の相談・支援体制に関するアンケート 都城市

調査結果報告書

目次

I. 調査概要	91
① 調査の目的.....	91
② 調査対象及び調査方法	91
③ 調査票の回収状況.....	91
④ 報告書の見方.....	91
II. 調査結果	92
1. 最初に思い浮かべる「地域」の範囲.....	92
2. 困りごとの相談を受ける経路.....	93
3. 困りごとを抱えている住民を発見する機会	95
4. 福祉に関わる困りごとの相談窓口	97
5. 民児協以外の相談相手	98
6. 困りごとを抱えている人がいたときの行動	99
7. 支え合い活動の取り組みで住民がまとまりやすい拠点（場所）	101
8-1. 市役所の福祉課の窓口の利便性	102
8-2. 地区社協の窓口の利便性.....	103
9. 地区社協について	104
10. まちづくり協議会について.....	106
11. 自分が人を信頼できるかについて.....	108
12. 地域の人々がお互いを信頼し合っているかについて.....	109
13. 地域の人々の民生委員・児童委員の理解度	110
14. 民生委員・児童委員の任期.....	111
15. 民生委員・児童委員としての役割.....	112
16. 担当区域内での居住歴.....	113
17. 地域での活動内容.....	114
18. 地域福祉計画の策定への参加経験.....	115

I. 調査概要

① 調査の目的

本調査は、日本地域福祉学会の研究プロジェクトにおいて、「コミュニティ再生に向けた地域福祉実践理論の構築とその研究方法論の確立に関する研究」をテーマに研究を進めている一環として、地域における相談・支援体制の実態を把握することを目的に実施しました。

② 調査対象及び調査方法

- (1) 調査地域：都城市内全域
- (2) 調査対象：民生委員・児童委員
- (3) 標本数：335 サンプル
- (4) 調査時期：2017年2月10日～3月10日
- (5) 調査方法：2017年2月10日開催の研修会で配布、3月の定例会で回収。

③ 調査票の回収状況

- (1) 配布数：335 件
- (2) 回収数(率)：282 件 (84.1%)
- (3) 有効回答数(率)：280 件 (83.5%)
- (4) 無効回答数(率)：2 件 (0.6%)

④ 報告書の見方

- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が0の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、選択肢の文章を簡略化してある場合もあります。

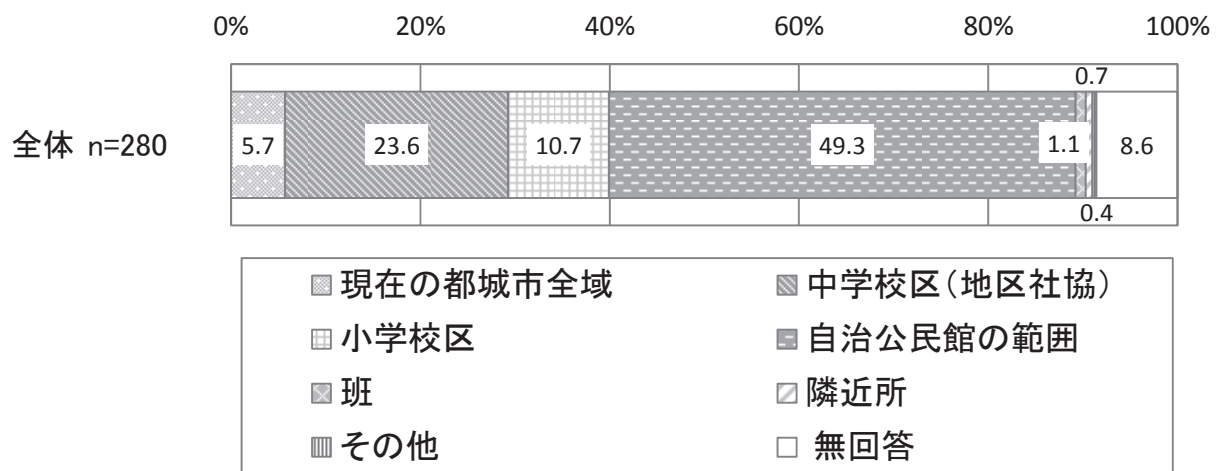
II. 調査結果

1. 最初に思い浮かべる「地域」の範囲

問1 「地域」という言葉を聞いたときに、あなたが最初に思い浮かべる「地域」の範囲は次のどれでしょうか。次の中からあてはまる番号に一つだけに○をつけてください。

「自治公民館の範囲」が49.3%と最も多く、次いで、「中学校区（地区社協）」（23.6%）、「小学校区」（10.7%）の順となっている。

図 1



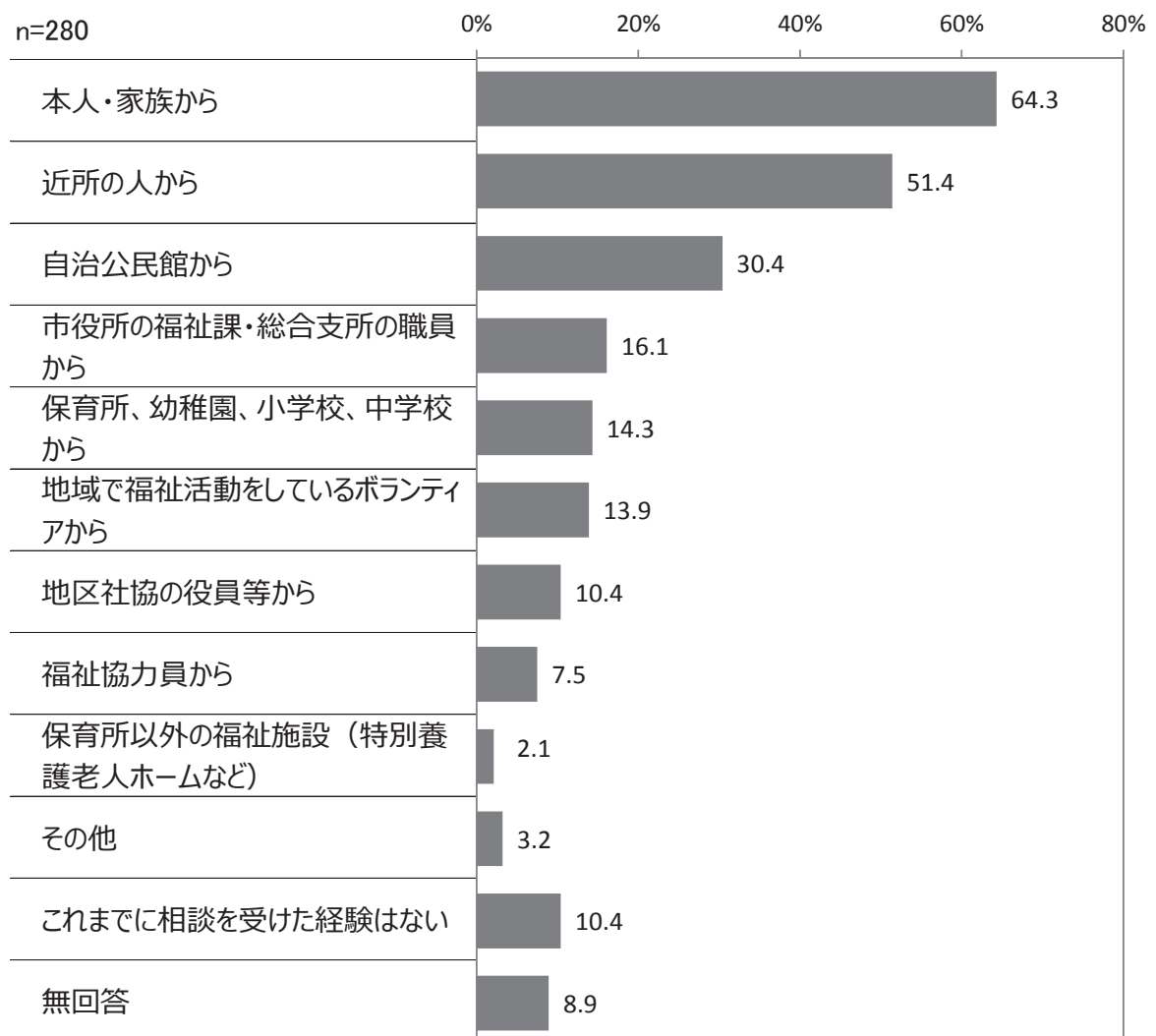
2. 困りごとの相談を受ける経路

問2 あなたは、住民の困りごとの相談をどのような経路で受けていますか。もっとも多いものに一つだけ◎をつけ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【相談を受けているすべての経路（◎と○の回答）】

「本人・家族から」が64.3%と最も多く、次いで、「近所の人から」(51.4%)、「自治公民館から」(30.4%)の順となっている。

図 2

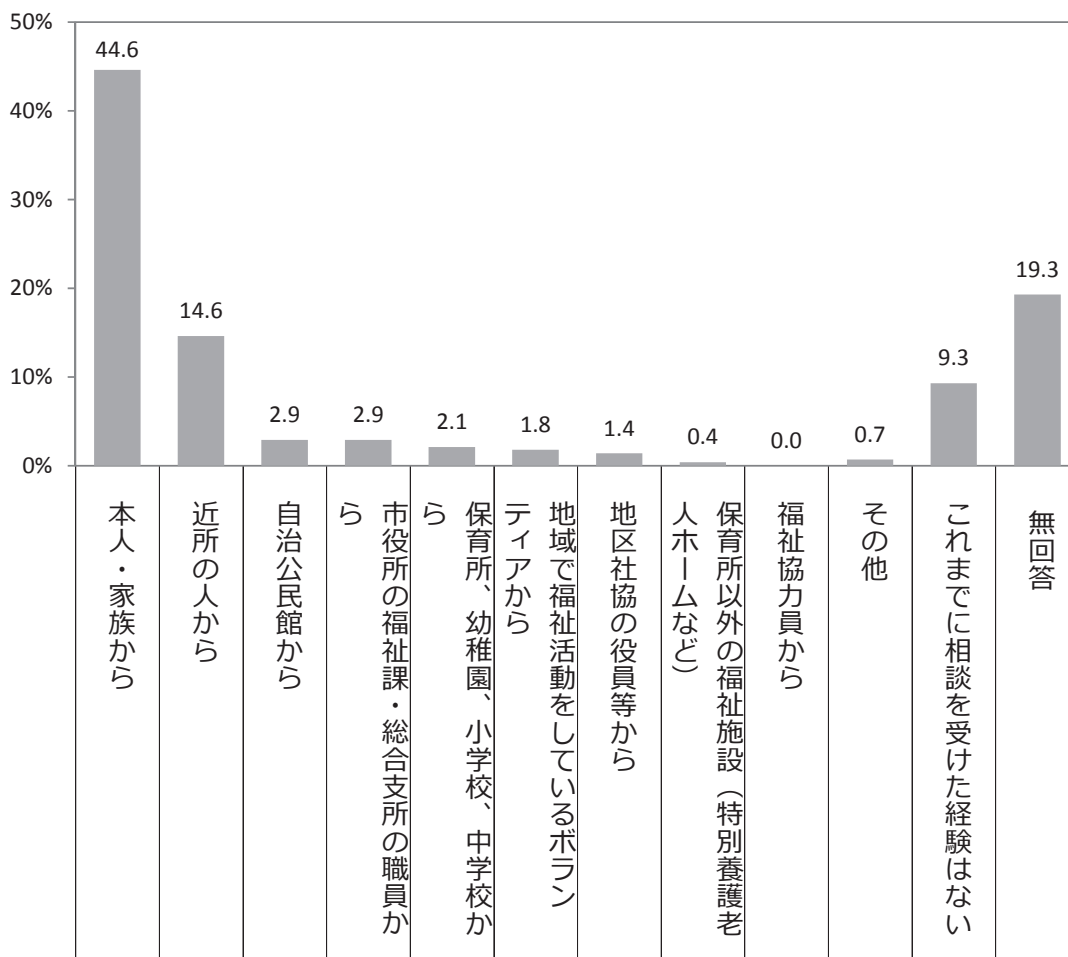


【相談を受けるもっとも多い経路（◎の回答）】

「本人・家族から」が44.6%と最も多く、次いで、「近所の人から」(14.6%)、「これまでに相談を受けた経験はない」(9.3%)の順となっている。

図 3

n=280



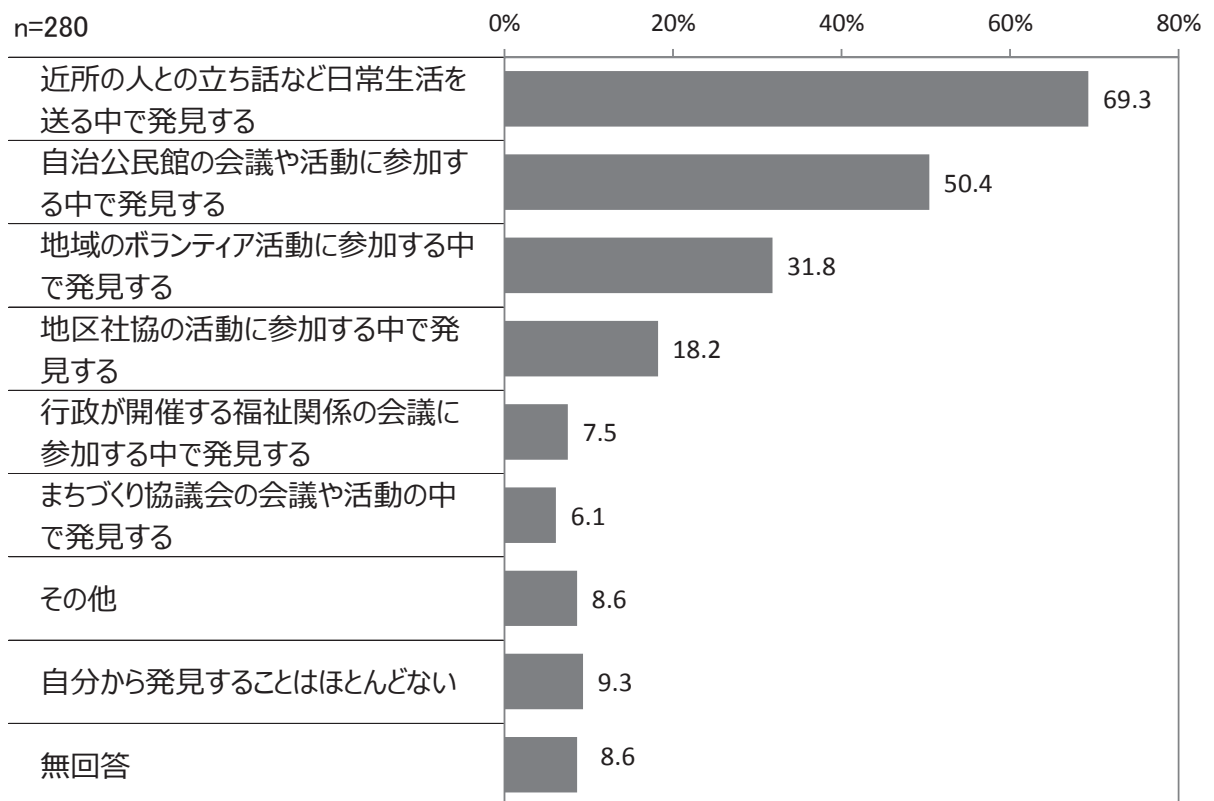
3. 困りごとを抱えている住民を発見する機会

問3 あなたは、民生委員・児童委員として、困りごとを抱えている住民をどのような機会に発見することが多いですか。もっとも多いものに一つだけ◎をつけ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【困りごとを抱えている住民を発見するすべての機会（◎と○の回答）】

「近所の人との立ち話など日常生活を送る中で発見する」が69.3%と最も多く、次いで、「自治公民館の会議や活動に参加する中で発見する」(50.4%)、「地域のボランティア活動に参加する中で発見する」(31.8%)の順となっている。

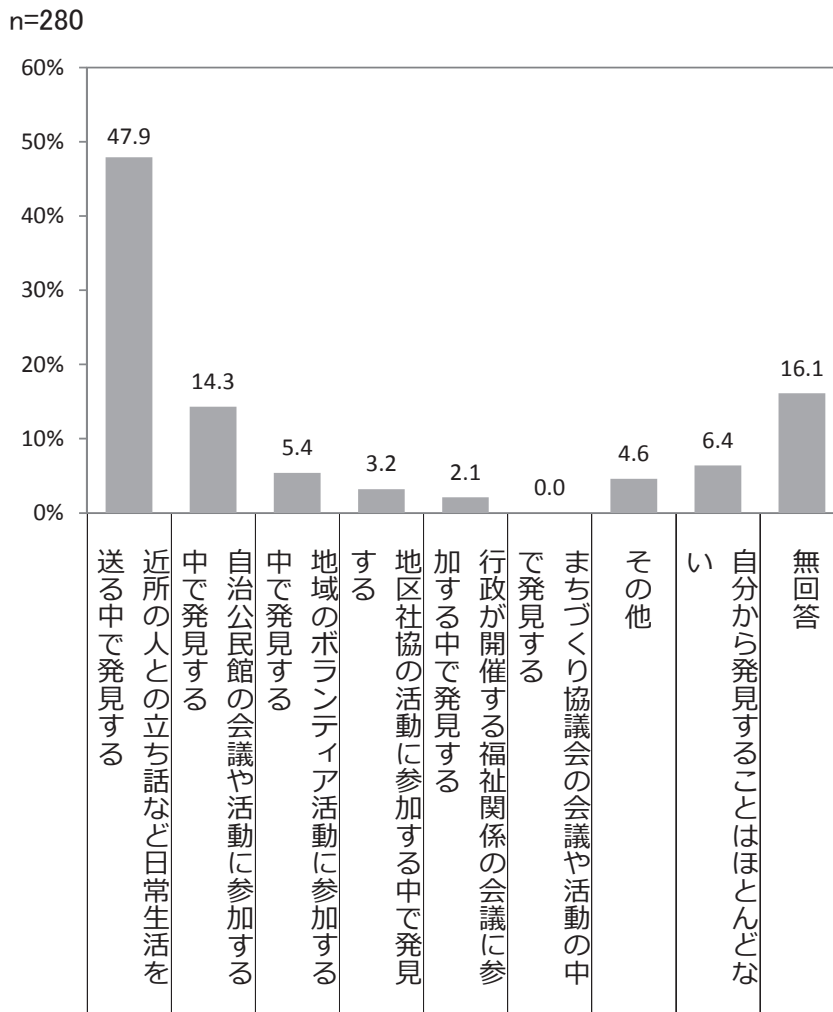
図 4



【困りごとを抱えている住民を発見するもっとも多い機会（◎の回答）】

「近所の人との立ち話など日常生活を送る中で発見する」が47.9%と最も多く、次いで、「自治公民館の会議や活動に参加する中で発見する」（14.3%）、「自分から発見することはほとんどない」（6.4%）の順となっている。

図 5

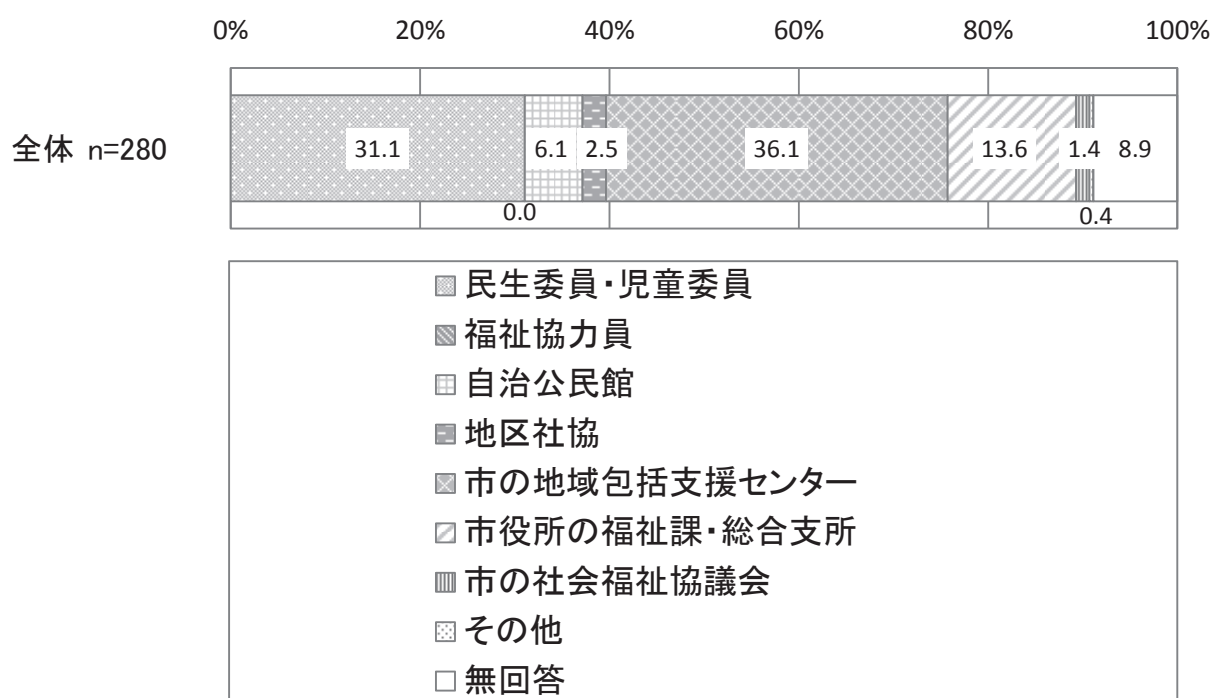


4. 福祉に関わる困りごとの相談窓口

問4 あなたの担当区域では、一般的に、一人暮らしの高齢者が福祉に関わる困りごとを抱えた時に相談に行くのはどの窓口だと思われますか。もっとも多いと思われるものに一つだけ○をつけてください。

「市の地域包括支援センター」が 36.1%と最も多く、次いで、「民生委員・児童委員」(31.1%)、「市役所の福祉課・総合支所」(13.6%)の順となっている。

図 6



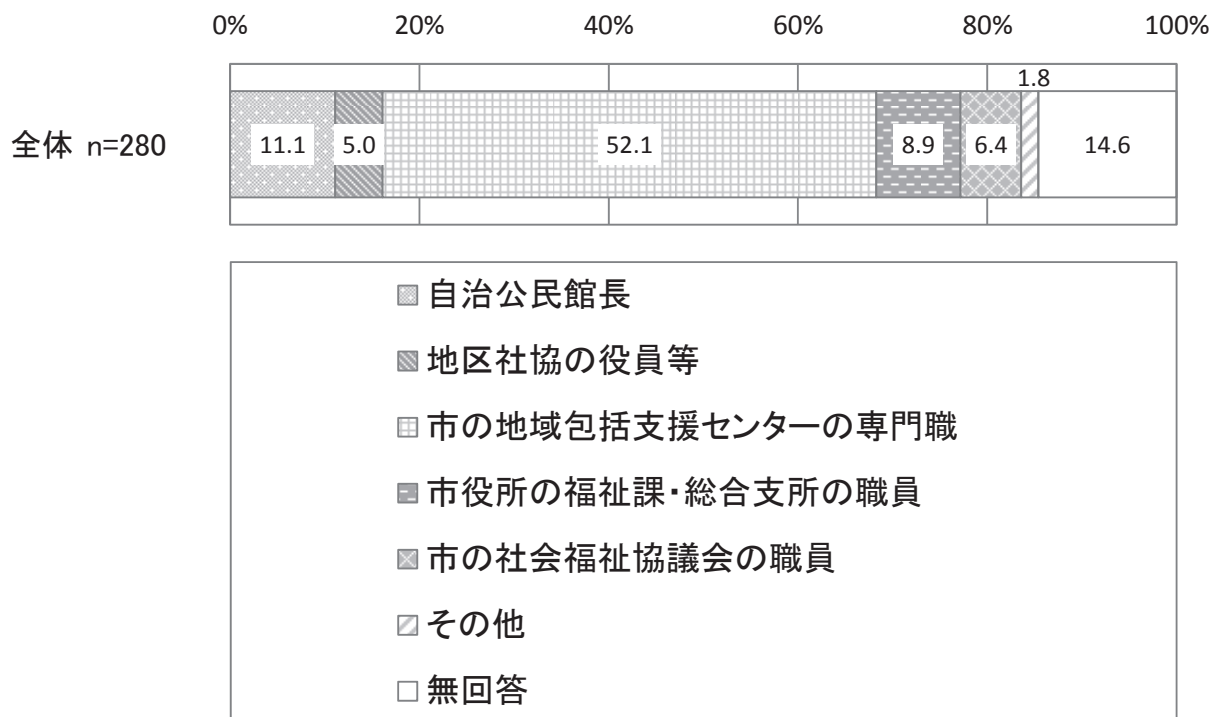
5. 民児協以外の相談相手

【区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

問5 あなたは、民生委員・児童委員として受けた相談を解決するためにつなげる機関やサービスが見つからない時、民児協内で相談する以外に、だれに相談しますか。もっともよく相談する相手に一つだけ○をつけてください。

「市の地域包括支援センターの専門職」が 52.1%と最も多く、次いで、「自治公民館長」(11.1%)、「市役所の福祉課・総合支所の職員」(8.9%)の順となっている。

図 7



6. 困りごとを抱えている人がいたときの行動

【区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

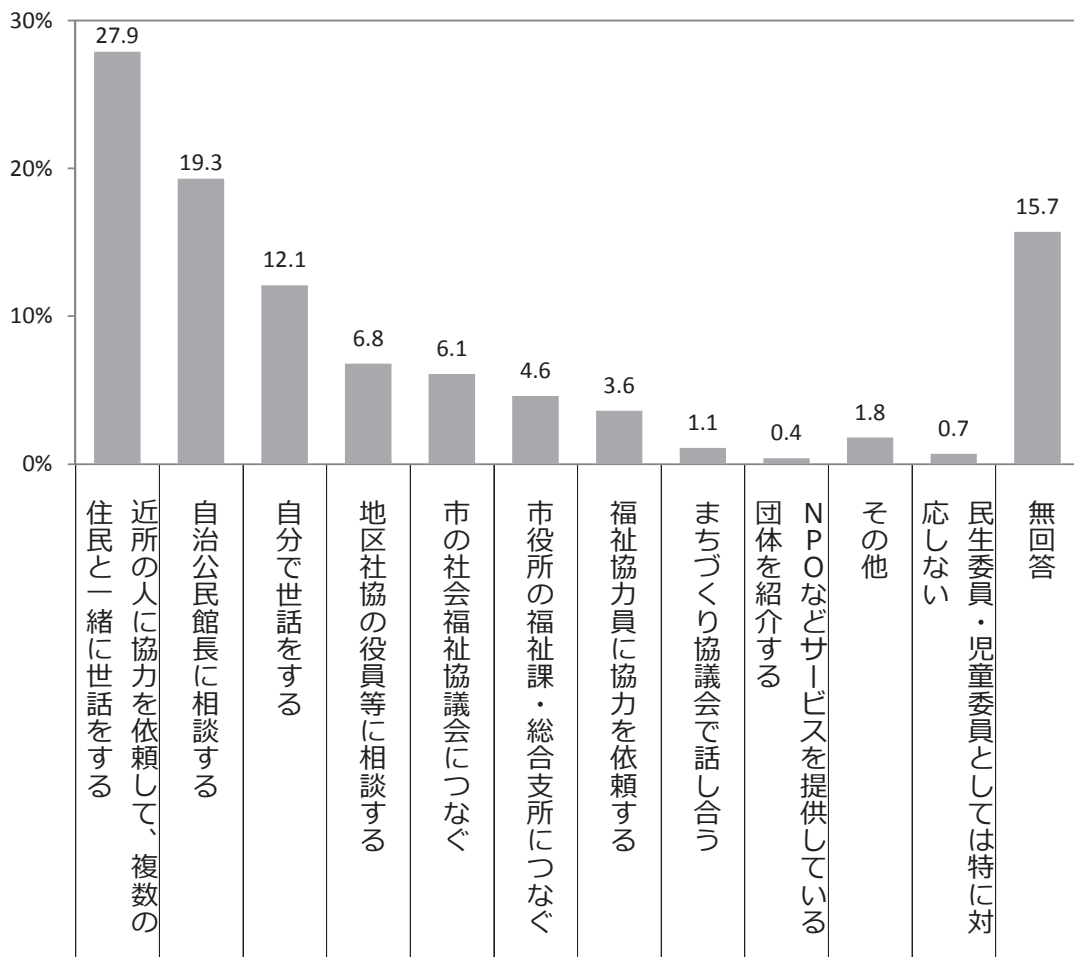
問6 もし、あなたの担当区域に次のような困りごとを抱えている人がいたら、あなたはどのように行動しますか。行動する可能性がもっとも高いものに一つだけ○をつけてください。

(1) 歩行が困難になりつつある一人暮らしの高齢者が、地域で開かれているサロンに参加したいと思っているが、移動の手段がない。

「近所の人に協力を依頼して、複数の住民と一緒に世話をする」が27.9%と最も多く、次いで、「自治公民館長に相談する」(19.3%)、「自分で世話をする」(12.1%)の順となっている。

図 8

n=280



【区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

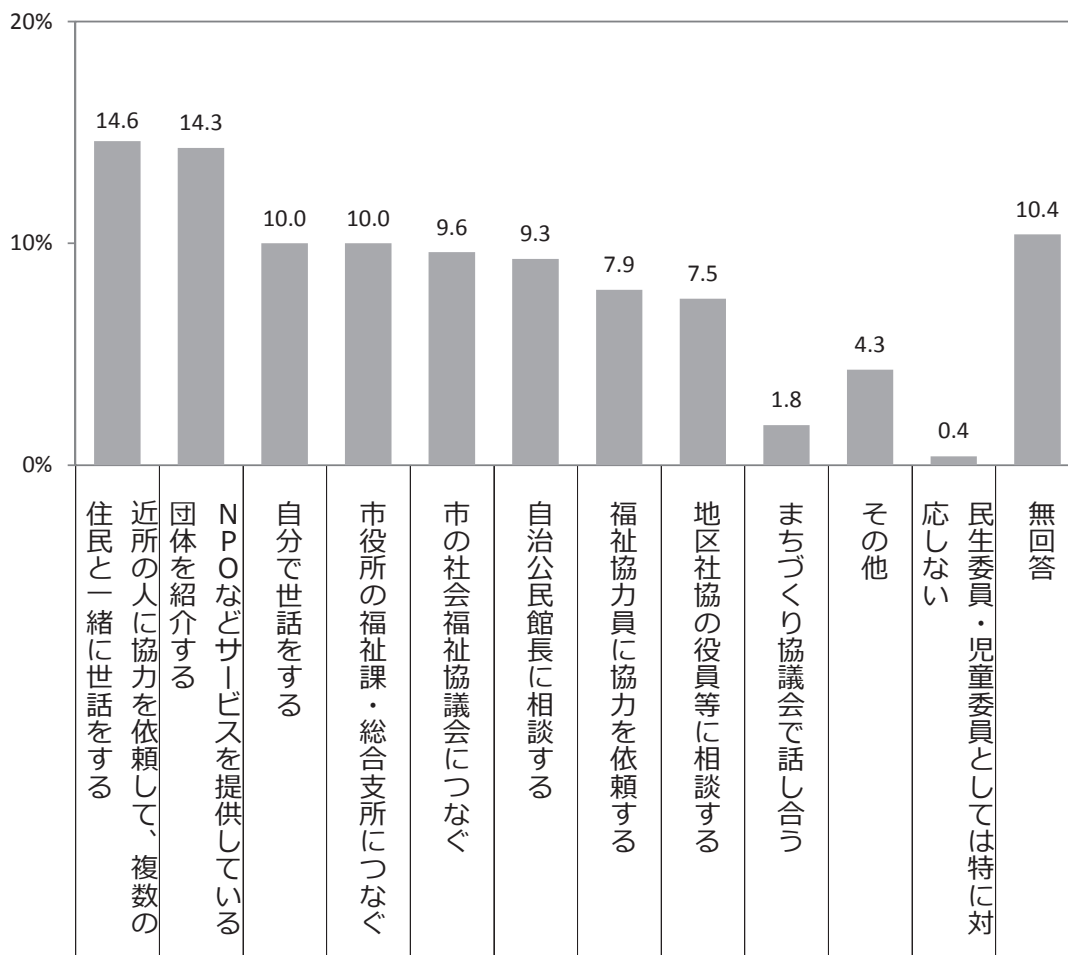
問6 もし、あなたの担当区域に次のような困りごとを抱えている人がいたら、あなたはどのように行動しますか。行動する可能性がもっとも高いものに一つだけ○をつけてください。

(2) 歩行が困難になりつつある一人暮らしの高齢者が、食料品を購入するための買い物に行くことが難しい。

「近所の人に協力を依頼して、複数の住民と一緒に世話をする」が14.6%と最も多く、次いで、「NPOなどサービスを提供している団体を紹介する」(14.3%)、「自分で世話をする」「市役所の福祉課・総合支所につなぐ」(10.0%)の順となっている。

図 9

n=280

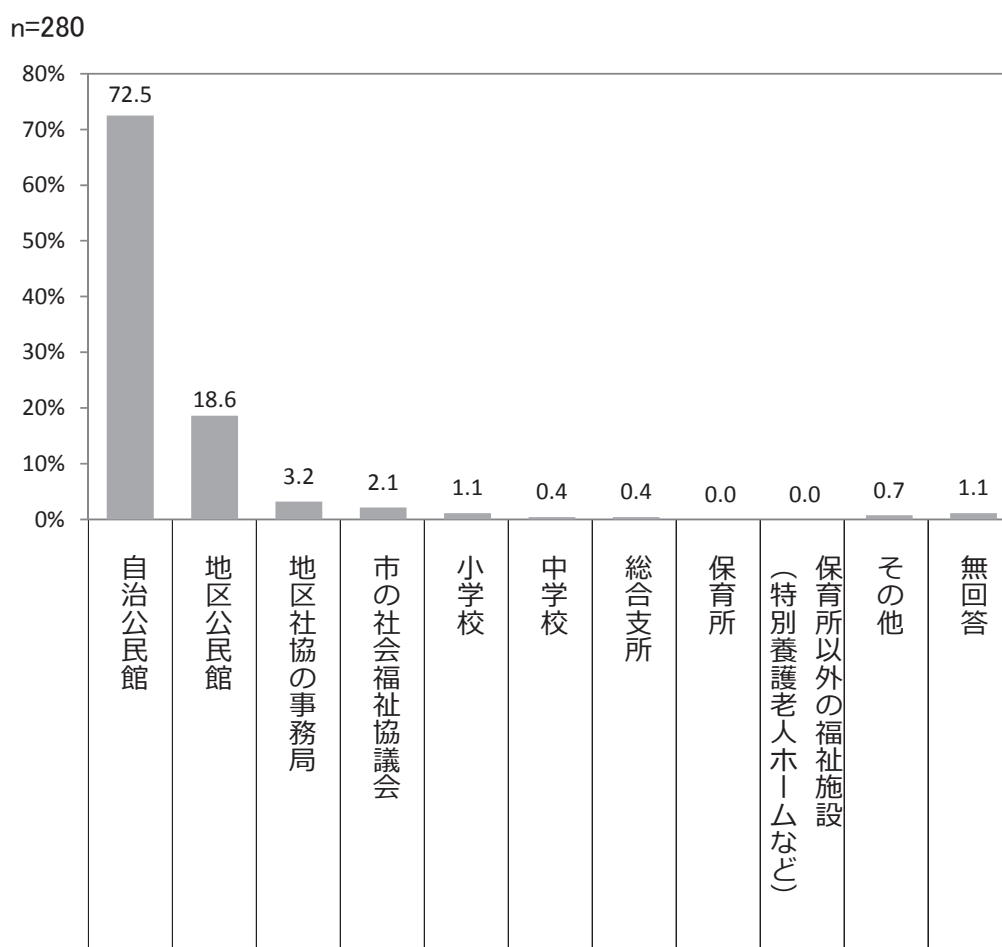


7. 支え合い活動の取り組みで住民がまとまりやすい拠点（場所）

問7 もし、あなたの地域で、支えあい活動に取り組むことになった場合、住民がまとまりやすい拠点（場所）としてどこが適切だとお考えですか。もっとも適切だと考える場所に一つだけ○をつけてください。

「自治公民館」が72.5%と最も多く、次いで、「地区公民館」（18.6%）、「地区社協の事務局」（3.2%）の順となっている。

図 10



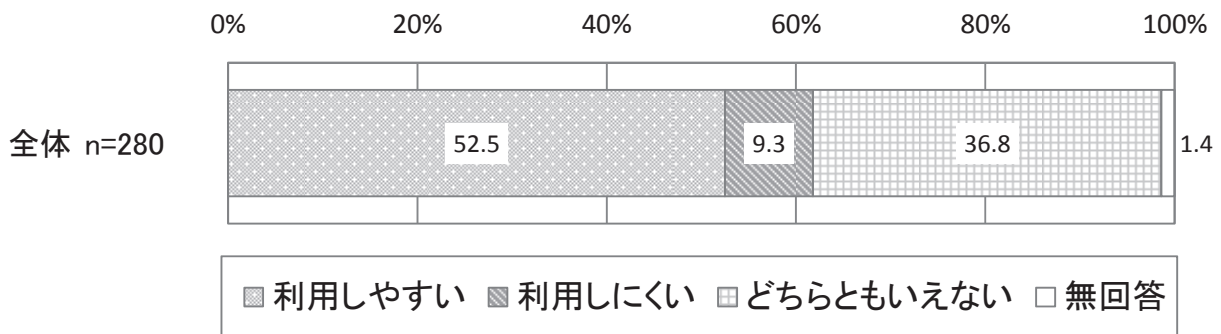
8-1. 市役所の福祉課の窓口の利便性

問8 あなたの地域にある次の機関は、民生委員・児童委員活動を行う上で利用しやすいですか。当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。

(1)市役所の福祉課の窓口

「利用しやすい」が52.5%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(36.8%)、「利用しにくい」(9.3%)の順となっている。

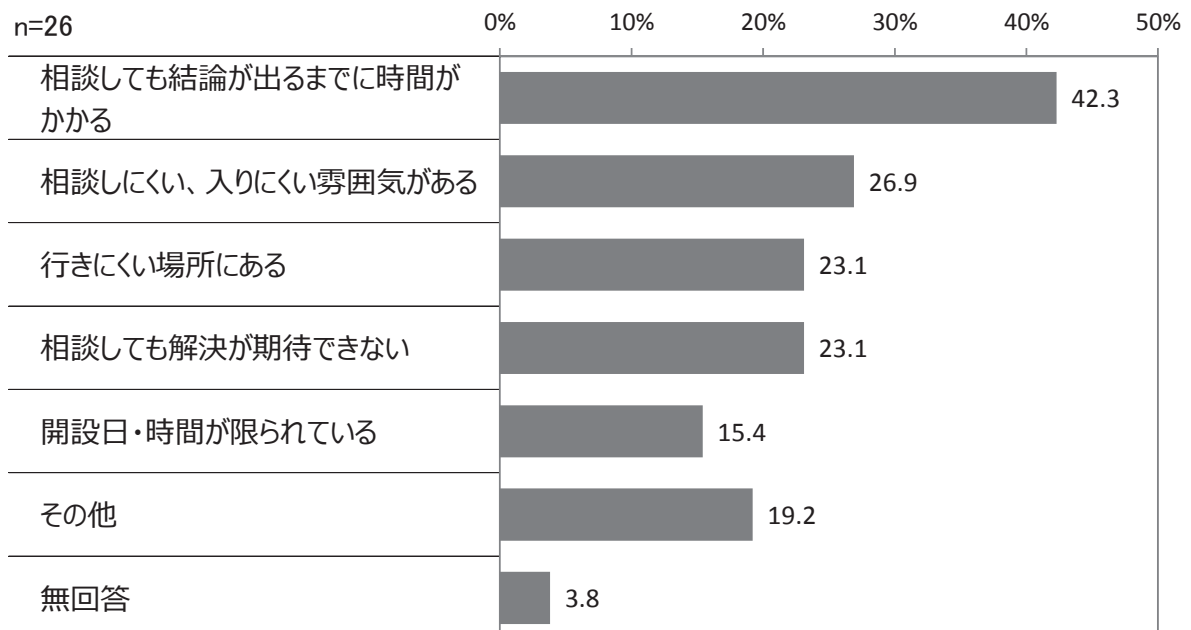
図 11



(1)-2 「2 利用しにくい」と回答された方にお尋ねします。それは、どのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「相談しても結論が出るまでに時間がかかる」が42.3%と最も多く、次いで、「相談しにくい、入りにくい雰囲気がある」(26.9%)、「行きにくい場所にある」「相談しても解決が期待できない」(23.1%)の順となっている。

図 12

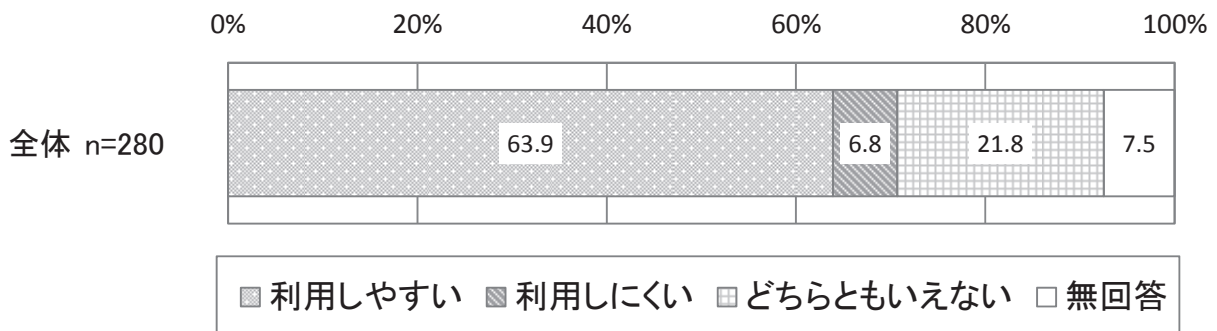


8-2. 地区社協の窓口の利便性

問8 あなたの地域にある次の機関は、民生委員・児童委員活動を行う上で利用しやすいですか。当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。
(2)地区社協の窓口

「利用しやすい」が63.9%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(21.8%)、「利用しにくい」(6.8%)の順となっている。

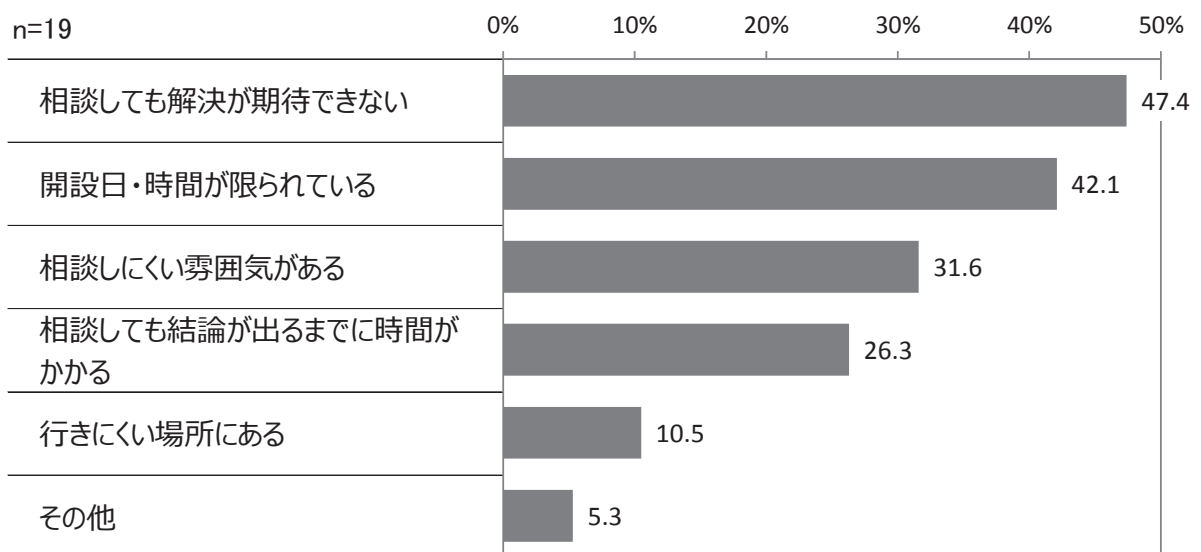
図 13



(2)-2 「2 利用しにくい」と回答された方にお尋ねします。それは、どのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「相談しても解決が期待できない」が47.4%と最も多く、次いで、「開設日・時間が限られている」(42.1%)、「相談しにくい雰囲気がある」(31.6%)の順となっている。

図 14



9. 地区社協について

問9 民生委員・児童委員活動をする上で、地区社協についてどのようにお考えですか。「そう思う」「まあそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち、当てはまるものの番号を○で囲んでください。

① 一カ所に行っただけで、すべての困りごとを解決してもらえる

「まあそう思う」が32.9%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(31.8%)、「あまりそう思わない」(13.2%)の順となっている。

② ささいなことでも気軽に相談にのってもらえる

「まあそう思う」が33.2%と最も多く、次いで、「そう思う」(32.9%)、「どちらともいえない」(18.6%)の順となっている。

③ 民生委員・児童委員だけでは解決できない問題を解決してもらえる

「どちらともいえない」が29.6%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(28.9%)、「そう思う」(25.4%)の順となっている。

④ 民生委員・児童委員を精神的に支えてもらえる

「まあそう思う」が31.4%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(27.9%)、「そう思う」(25.0%)の順となっている。

⑤ 地区社協を活用することで、民生委員・児童委員の業務量を減らすことができる

「どちらともいえない」が33.6%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(22.1%)、「あまりそう思わない」(17.1%)の順となっている

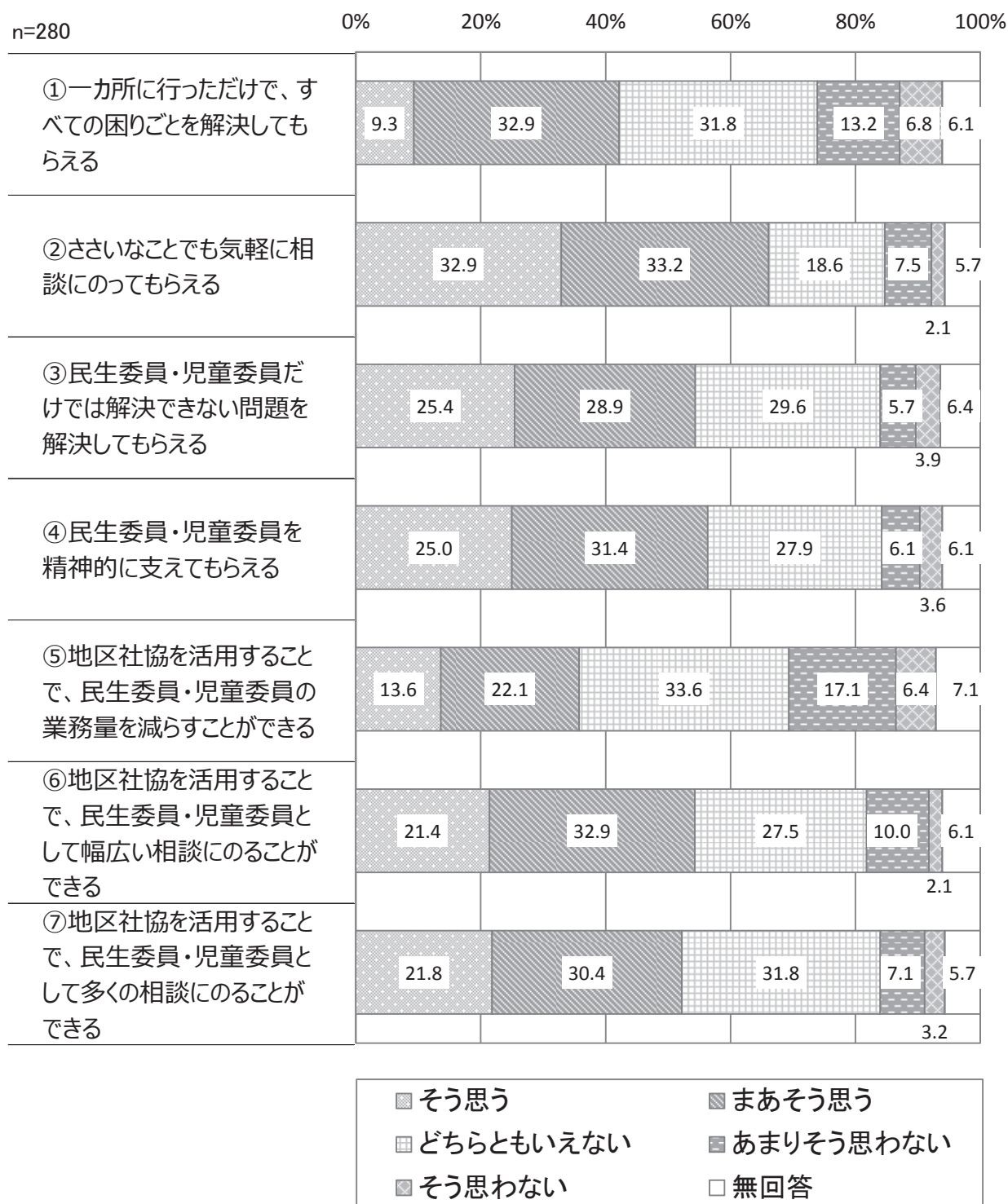
⑥ 地区社協を活用することで、民生委員・児童委員として幅広い相談にのることができる

「まあそう思う」が32.9%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(27.5%)、「そう思う」(21.4%)の順となっている。

⑦ 地区社協を活用することで、民生委員・児童委員として多くの相談にのることができる

「どちらともいえない」が31.8%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(30.4%)、「そう思う」(21.8%)の順となっている。

図 15



10. まちづくり協議会について

問10 あなたの地域には、まちづくり協議会がありますが、これについてどのように考えですか。「そう思う」「まあそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち、当てはまるものの番号を○で囲んでください。

① 地域で働く専門職との話し合いの場になっている

「どちらともいえない」が33.6%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(16.8%)、「あまりそう思わない」(10.7%)の順となっている。

② 地域活動に関わっている住民・ボランティアとの話し合いの場になっている

「どちらともいえない」が27.5%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(23.9%)、「そう思う」(11.8%)の順となっている。

③ 民生委員・児童委員では解決できない問題について相談する場になっている

「どちらともいえない」が31.4%と最も多く、次いで、「あまりそう思わない」(17.1%)、「まあそう思う」(15.7%)の順となっている。

④ 地域で支えが必要な人について相談する場になっている

「どちらともいえない」が29.6%と最も多く、次いで、「あまりそう思わない」(17.5%)、「まあそう思う」(15.0%)の順となっている。

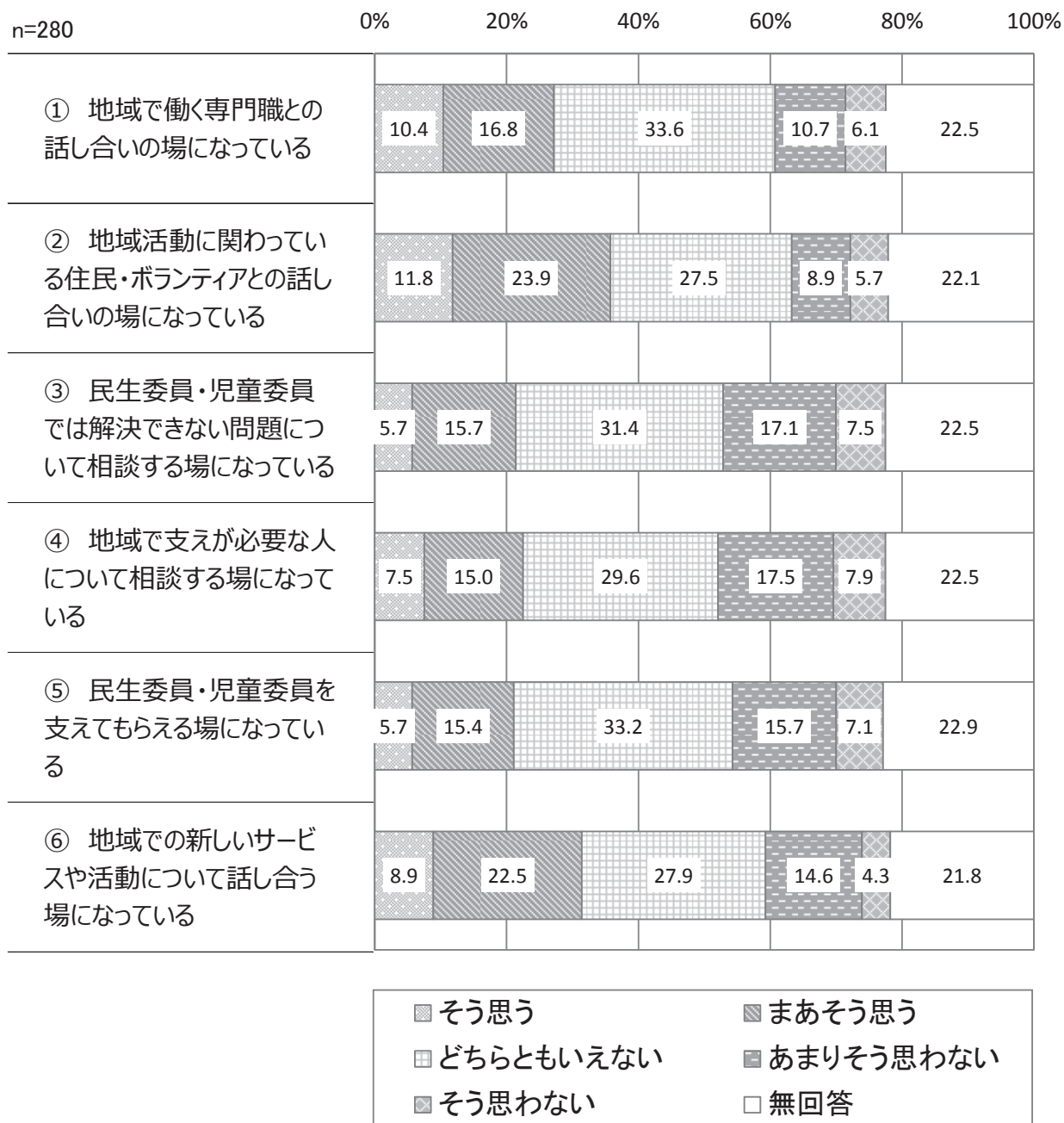
⑤ 民生委員・児童委員を支えてもらえる場になっている

「どちらともいえない」が33.2%と最も多く、次いで、「あまりそう思わない」(15.7%)、「まあそう思う」(15.4%)の順となっている。

⑥ 地域での新しいサービスや活動について話し合う場になっている

「どちらともいえない」が27.9%と最も多く、次いで、「まあそう思う」(22.5%)、「あまりそう思わない」(14.6%)の順となっている。

図 16

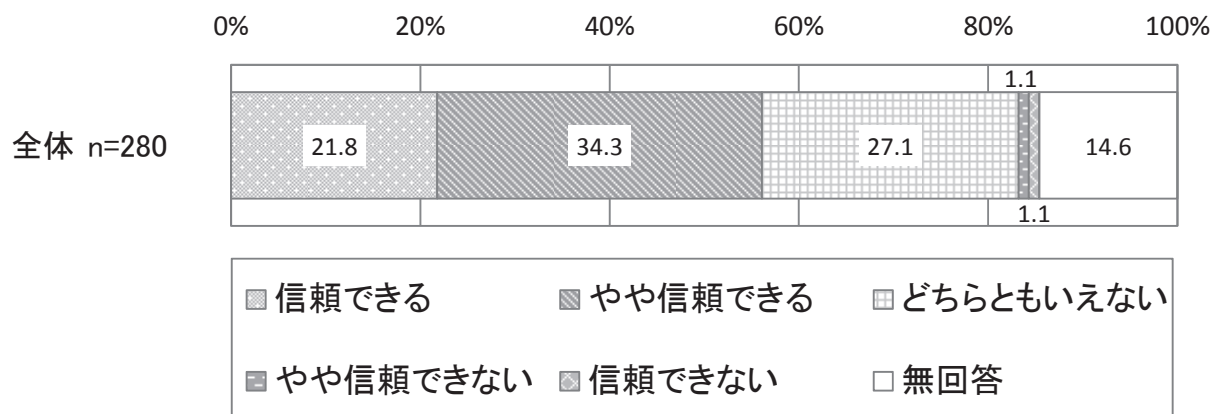


11. 自分が人を信頼できるかについて

問11 あなたは、一般的に人は信頼できると思いますか。それとも信頼できないと思いますか。当てはまる番号に一つだけ○をつけてください。

「やや信頼できる」が 34.3%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(27.1%)、「信頼できる」(21.8%) の順となっている。

図 17

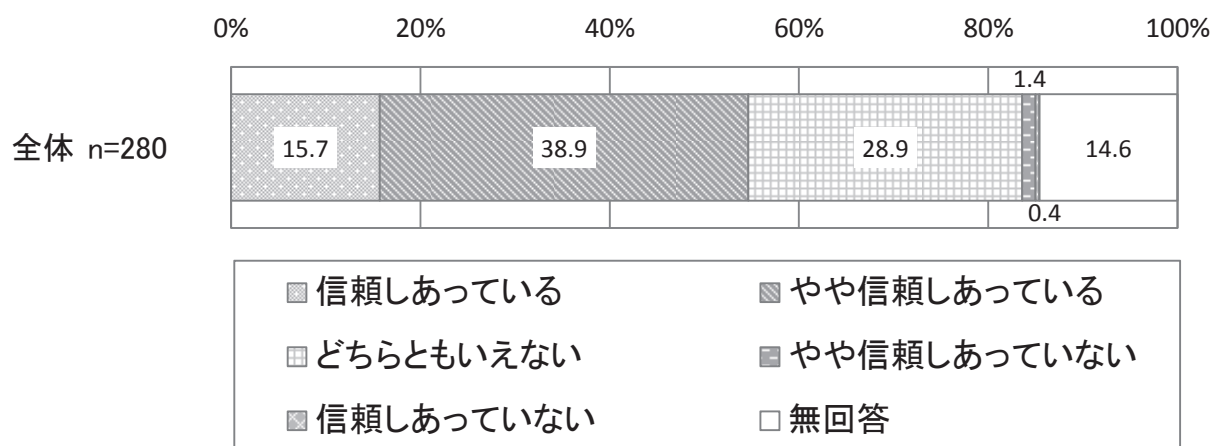


12. 地域の人々がお互いを信頼し合っているかについて

問12 あなたが現在お住まいの地域の人々は、全体としてお互いを信頼し合っていると思いますか。当てはまる番号に一つだけ○をつけてください。

「やや信頼しあっている」が 38.9%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(28.9%)、「信頼しあっている」(15.7%) の順となっている。

図 18

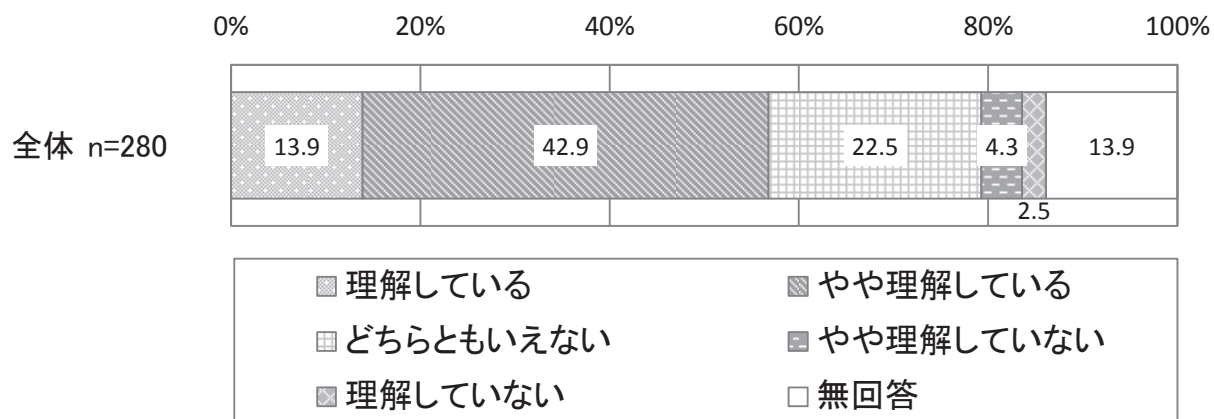


13. 地域の人々の民生委員・児童委員の理解度

問13 あなたの地域の人々は、民生委員・児童委員のことを理解していると思いますか。あなたのお気持ちに一番近いものの一つだけ○をつけてください。

「やや理解している」が42.9%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」(22.5%)、「理解している」(13.9%)の順となっている。

図 19

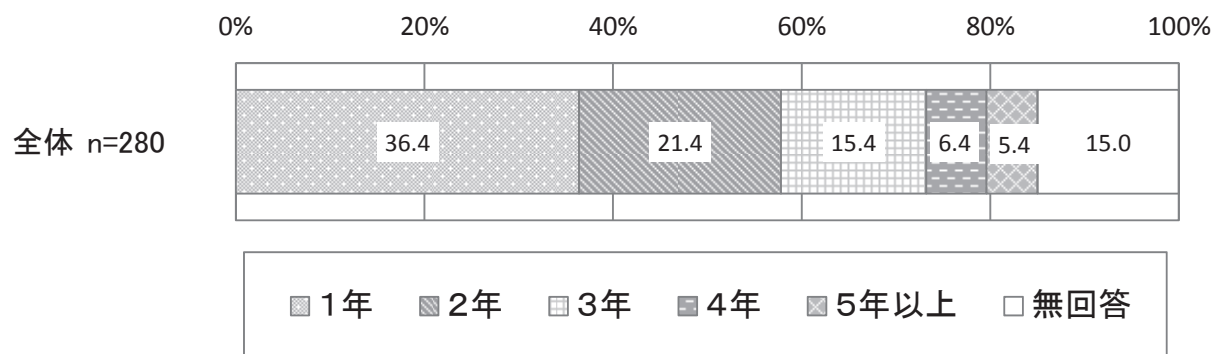


14. 民生委員・児童委員の任期

問14 平成29(2017)年2月1日現在、あなたは、民生委員・児童委員として何期目ですか。

「1年」が36.4%と最も多く、次いで、「2年」(21.4%)、「3年」(15.4%)の順となっている。

図 20

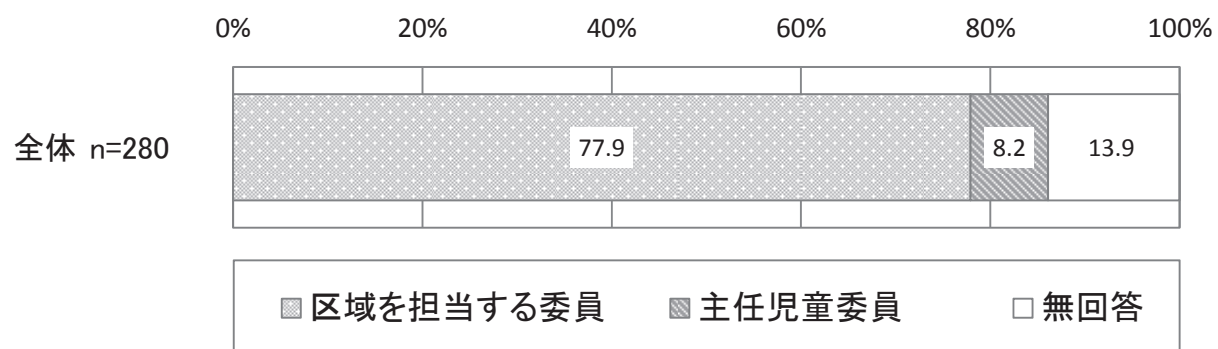


15. 民生委員・児童委員としての役割

問15 あなたの民生委員・児童委員としての役割に○をつけてください。

「区域を担当する委員」が 77.9%、「主任児童委員」(8.2%) となっている。

図 21



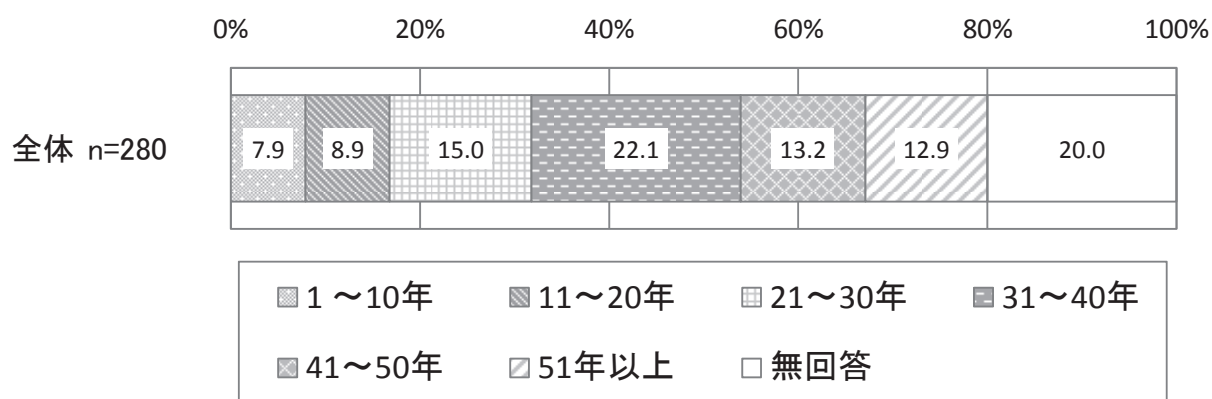
16. 担当区域内での居住歴

問16 あなたの民生委員・児童委員の担当区域内での居住歴はどれにあてはまりますか。()に年数を記入し、当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。

【居住年数】

「31～40年」が22.1%と最も多く、次いで、「21～30年」(15.0%)、「41～50年」(13.2%)の順となっている。

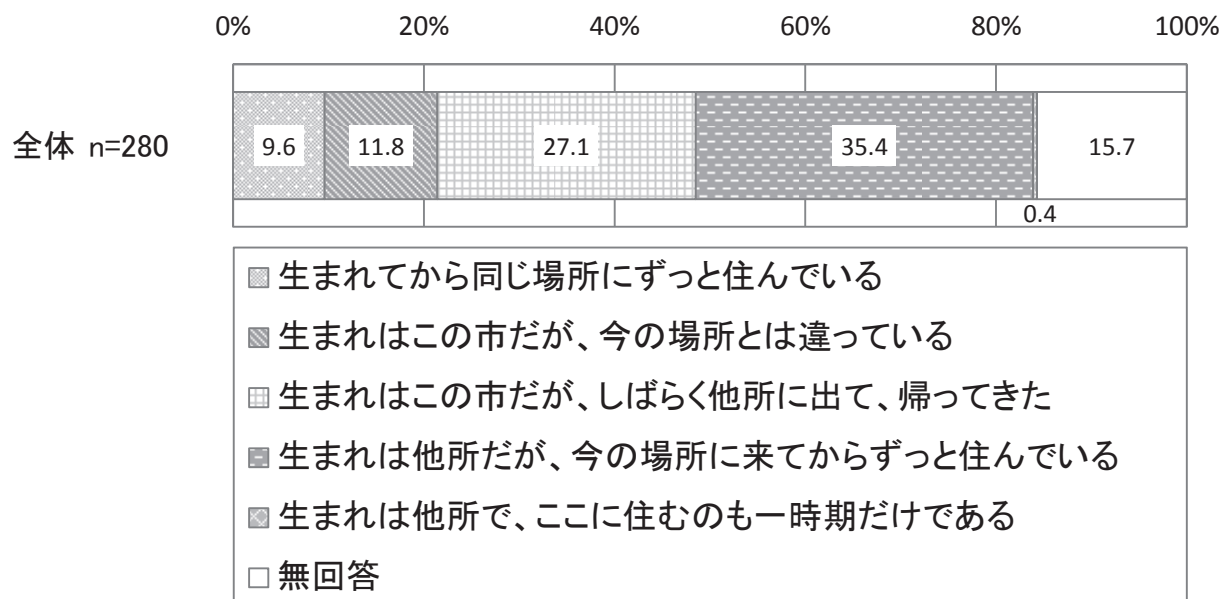
図 22



【居住歴】

「生まれは他所だが、今の場所に来てからずっと住んでいる」が35.4%と最も多く、次いで、「生まれはこの市だが、しばらく他所に出て、帰ってきた」(27.1%)、「生まれはこの市だが、今の場所とは違っている」(11.8%)の順となっている。

図 23

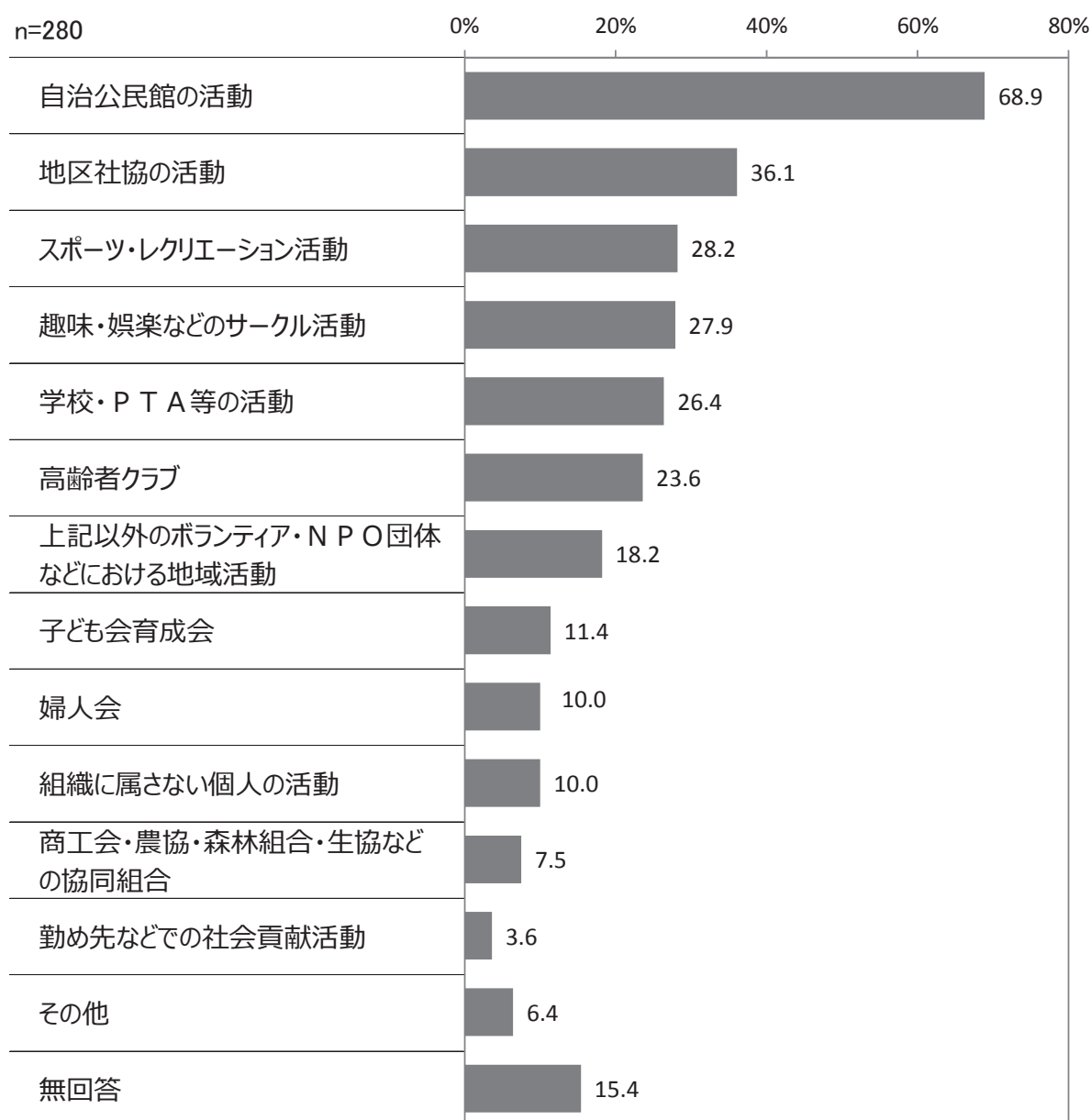


17. 地域での活動内容

問17 あなたは、現在、地域でどのような活動をされていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「自治公民館の活動」が68.9%と最も多く、次いで、「地区社協の活動」(36.1%)、「スポーツ・レクリエーション活動」(28.2%)の順となっている。

図 24

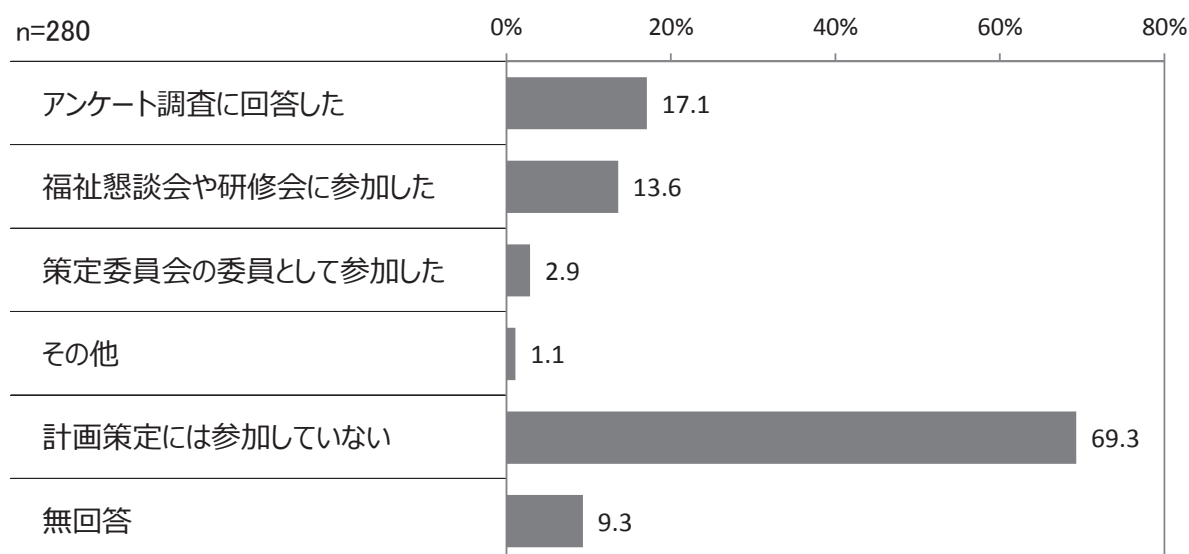


18. 地域福祉計画の策定への参加経験

問18 あなたは、平成 22(2010)年に都城市で策定された「第二次 地域福祉計画」の策定に参加されましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「計画策定には参加していない」が 69.3%と最も多く、次いで、「アンケート調査に回答した」(17.1%)、「福祉懇談会や研修会に参加した」(13.6%)の順となっている。

図 25



地域の相談・支援体制に関するアンケート【三鷹市民生委員・児童委員対象】

平成29年2月実施

日本地域福祉学会研究プロジェクト

研究代表 市川一宏（ルーテル学院大学教授）

問1 「地域」という言葉を聞いたときに、あなたが最初に思い浮かべる「地域」の範囲は次のどれでしょうか。次の中からあてはまる番号に一つだけに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|-----------|------------|
| 1 多摩ブロック | 2 三鷹市全域 | 3 住民協議会の圏域 |
| 4 ほのぼのネットの圏域 | 5 町内会・自治会 | 6 隣近所 |
| 7 その他（具体的に | | ） |

問2 あなたは、担当区域の住民の困りごとの相談をどのような経路で受けていますか。もっとも多いものに一つだけ◎をつけ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 本人・家族から
- 2 近所の人から
- 3 ほのぼのネット員から
- 4 地域ケアネットワークのメンバーから
- 5 上記3，4以外の町内会、自治会など地域の団体の役員から
- 6 地域で福祉活動をしているボランティアから
- 7 保育所、幼稚園、小学校、中学校から
- 8 社会福祉協議会（ボランティアセンターを含む）の職員から
- 9 地域包括支援センターの職員から
- 10 市役所の福祉関係課の職員から
- 11 その他（
- 12 これまでに相談を受けた経験はない

問3 あなたは、民生委員・児童委員として、困りごとを抱えている住民をどのような機会に発見することが多いですか。もっとも多いものに一つだけ◎をつけ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 近所の人との立ち話など日常生活を送る中で発見する
- 2 町内会など地域の団体の会議・行事などに参加する中で発見する
- 3 地域のボランティア活動に参加している中で発見する
- 4 地域づくり組織等の会議や活動の中で発見する
- 5 行政が開催する福祉関係の会議に参加する中で発見する
- 6 その他（
- 7 自分から発見することはほとんどない

問4 あなたの担当区域では、一般的に、一人暮らしの高齢者が福祉に関わる困りごとを抱えた時に相談に行くのはどの窓口だと思いますか。もっとも多いと思われるものに一つだけ○をつけてください。

- 1 民生委員・児童委員
- 2 地域包括支援センター
- 3 市役所の福祉関係課
- 4 市の社会福祉協議会
- 5 その他 ()

【問5・6は、区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

→主任児童委員は、次ページの間7に進んでください。

問5 あなたは、民生委員・児童委員として受けた相談を解決するためにつなげる機関やサービスが見つからない時、民児協内で相談する以外に、だれに相談しますか。もっともよく相談する相手に一つだけ○をつけてください。

- 1 町会長・自治会長など
- 2 地域包括支援センターの専門職
- 3 市役所の福祉関係課の職員
- 4 社会福祉協議会の職員
- 5 その他 ()

問6 もし、あなたの担当区域に次のような困りごとを抱えている人がいたら、あなたはどのように行動しますか。行動する可能性がもっとも高いものに一つだけ○をつけてください。

(1) 歩行が困難になりつつある一人暮らしの高齢者が、地域で開かれているサロンに参加したいと思っているが、移動の手段がない。

- 1 自分で世話をする
 - 2 近所の人に協力を依頼して、複数の住民と一緒に世話をする
 - 3 ほのぼのネットで話し合う
 - 4 地域ケアネットワークで話し合う
 - 5 町会長・自治会長に相談する
 - 6 NPOなどサービスを提供している団体を紹介する
 - 7 地域包括支援センターの専門職につなぐ
 - 8 市役所の福祉関係課につなぐ
 - 9 社会福祉協議会につなぐ
 - 10 その他 ()
 - 11 民生委員・児童委員としては特に対応しない
-

【区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

(2) 歩行が困難になりつつある一人暮らしの高齢者が、食料品を購入するための買い物に行くことが難しい。

- 1 自分で世話をする
- 2 近所の人に協力を依頼して、複数の住民と一緒に世話をする
- 3 ほのぼのネットで話し合う
- 4 地域ケアネットワークで話し合う
- 5 町内会長・自治会長に相談する
- 6 NPOなどサービスを提供している団体を紹介する
- 7 地域包括支援センターの専門職につなぐ
- 8 市役所の福祉関係課につなぐ
- 9 社会福祉協議会につなぐ
- 10 その他 ()
- 11 民生委員・児童委員としては特に対応しない

【ここからは全員お答えください】

問7 もし、あなたの地域で、支え合い活動に取り組むことになった場合、住民がまとまりやすい拠点(場所)としてどこが適切だとお考えですか。もっとも適切だと考える場所に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| 1 コミュニティセンター | 2 小学校 |
| 3 保育所 | 4 保育所以外の社会福祉施設(特別養護老人ホームなど) |
| 5 地区公会堂 | 6 市の社会福祉協議会 |
| 7 その他 () | |

問8 あなたの地域にある次の機関は、民生委員・児童委員活動を行う上で利用しやすいですか。当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。

(1) 市役所の福祉関係課の窓口

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| 1 利用しやすい | 2 利用しにくい | 3 どちらともいえない |
|----------|----------|-------------|

(1) - 2 「2 利用しにくい」と回答された方にお尋ねします。それは、どのような理由からですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 行きにくい場所にある
- 2 相談しにくい、入りにくい雰囲気がある
- 3 開設日・時間が限られている
- 4 相談しても解決が期待できない
- 5 相談しても結論が出るまでに時間がかかる
- 6 その他 ()

	そう 思う	まあ そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう 思わない
・民生委員・児童委員を精神的に支えてもらえる	1	2	3	4	5
・センターを活用することで、民生委員・児童委員の業務量を減らすことができる	1	2	3	4	5
・センターを活用することで、民生委員・児童委員として幅広い相談にのることができる	1	2	3	4	5
・センターを活用することで、民生委員・児童委員として多くの相談にのることができる	1	2	3	4	5

(2) 社会福祉協議会

	そう 思う	まあ そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう 思わない
・一カ所に行っただけで、すべての困りごとを解決してもらえる	1	2	3	4	5
・ささいなことでも気軽に相談にのってもらえる	1	2	3	4	5
・民生委員・児童委員だけでは解決できない問題を解決してもらえる	1	2	3	4	5
・民生委員・児童委員を精神的に支えてもらえる	1	2	3	4	5
・社協を活用することで、民生委員・児童委員の業務量を減らすことができる	1	2	3	4	5
・社協を活用することで、民生委員・児童委員として幅広い相談にのることができる	1	2	3	4	5
・社協を活用することで、民生委員・児童委員として多くの相談にのることができる	1	2	3	4	5

問10 あなたの地域には、「地域ケアネットワーク」「ほのぼのネット」がありますが、これについてどのように考えですか。それぞれについて、「そう思う」「まあそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち、当てはまるものの番号を○で囲んでください。

(1) 地域ケアネットワーク

	そう 思う	まあ そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう 思わない
・地域で働く専門職との話し合いの場 になっている	1	2	3	4	5
・地域活動に関わっている住民・ボラ ンティアとの話し合いの場になって いる	1	2	3	4	5
・民生委員・児童委員では解決できない 問題について相談する場になっている	1	2	3	4	5
・地域で支えが必要な人について相談す る場になっている	1	2	3	4	5
・民生委員・児童委員を支えてもらえ る場になっている	1	2	3	4	5
・地域での新しいサービスや活動につい て話し合う場になっている	1	2	3	4	5

(2) ほのぼのネット

	そう 思う	まあ そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう 思わない
・地域で働く専門職との話し合いの場 になっている	1	2	3	4	5
・地域活動に関わっている住民・ボラ ンティアとの話し合いの場になって いる	1	2	3	4	5
・民生委員・児童委員では解決できない 問題について相談する場になっている	1	2	3	4	5
・地域で支えが必要な人について相談す る場になっている	1	2	3	4	5
・民生委員・児童委員を支えてもらえ る場になっている	1	2	3	4	5

そう まあ どちらとも あまり そう
思う そう思う いえない そう思わない 思わない

・地域での新しいサービスや活動について話し合う場になっている 1 2 3 4 5

問11 あなたは、一般的に人は信頼できると思いますか。それとも信頼できないと思いますか。当てはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- 1 信頼できる
- 2 やや信頼できる
- 3 どちらともいえない
- 4 やや信頼できない
- 5 信頼できない

問12 あなたが現在お住まいの地域の人々は、全体としてお互いを信頼し合っていると思いますか。当てはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- 1 信頼しあっている
- 2 やや信頼しあっている
- 3 どちらともいえない
- 4 やや信頼しあっていない
- 5 信頼しあっていない

問13 あなたの地域の人々は、民生委員・児童委員のことを理解していると思いますか。あなたのお気持ちに一番近いものに一つだけ○をつけてください。

- 1 理解している
- 2 やや理解している
- 3 どちらともいえない
- 4 やや理解していない
- 5 理解していない

問14 平成29（2017）年2月1日現在、あなたは、民生委員・児童委員として何期目ですか。

（ ）期目

問15 あなたの民生委員・児童委員としての役割に○をつけてください。

- 1 区域を担当する委員 2 主任児童委員

問16 あなたの民生委員・児童委員の担当区域内での居住歴はどれにあてはまりますか。()に年数を記入し、当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。

※居住されている区域とは異なる区域を担当されている場合には、現在お住まいの場所における居住歴を回答してください。

居住年数 ()年

- 1 生まれてから同じ場所にずっと住んでいる
- 2 生まれはこの市だが、今の場所とは違っている
- 3 生まれはこの市だが、しばらく他所に出て、帰ってきた
- 4 生まれは他所だが、今の場所に来てからずっと住んでいる
- 5 生まれは他所で、ここに住むのも一時期だけである

問17 あなたは、現在、地域でどのような活動をされていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| 1 自治会・町内会での活動 | 2 ほのぼのネットでの活動 |
| 3 住民協議会での活動 | 4 地域ケアネットワークでの活動 |
| 5 学校・PTA等の活動 | 6 子ども会 |
| 7 婦人会 | 8 老人クラブ |
| 9 商工会・農協・森林組合・生協などの協同組合 | |
| 10 スポーツ・レクリエーション活動 | 11 趣味・娯楽などのサークル活動 |
| 12 地域福祉ファシリテーターによる活動 | |
| 13 上記以外のボランティア・NPO団体などにおける地域活動 | |
| 14 勤め先などでの社会貢献活動 | 15 組織に属さない個人の活動 |
| 16 その他(具体的に |) |

問18 三鷹市でだれもが安心して暮らし続けるための住民の相談・支援システムの課題について、あなたがお考えのことをご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

地域の相談・支援体制に関するアンケート【茅野市民生委員・児童委員対象】

平成29年1月実施

日本地域福祉学会研究プロジェクト
研究代表 市川一宏（ルーテル学院大学教授）

【調査の趣旨】

このアンケートは、地域における相談・支援体制の現状を把握し、地域包括支援体制をつくるための課題を明らかにするとともに、平成30年度以降の茅野市地域福祉計画策定のための資料として活用することを目的として、日本地域福祉学会研究プロジェクトが茅野市の協力を得て実施するものです。

回答にあたっては無記名でお答えいただき、ご回答いただいた内容はこの目的のみに使用し、結果は統計的に処理しますので、皆様にご迷惑をおかけすることはありません。本アンケートの趣旨を、どうかご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【調査対象者および回答方法】

本調査は、茅野市の民生委員・児童委員全員を対象としています。

ご記入後、アンケート用紙を同封の封筒に入れて、**2月17日(金)までに茅野市役所地域福祉推進課 福祉21 推進係**に提出をお願いします。

【本調査の問い合わせ及び提出先】

問合せ先：茅野市役所 健康福祉部 地域福祉推進課 福祉21 推進係

〒391-8501 茅野市塚原二丁目6番1号

TEL 0266-72-2101(代表) 内線302

FAX 0266-73-0391

E-Mail: chiikifukushi@city.chino.lg.jp

問1 「地域」という言葉を聞いたときに、あなたが最初に思い浮かべる「地域」の範囲は次のどれでしょうか。次の中からあてはまる番号に一つだけに○をつけてください。

- | | | |
|------------|---------|--------|
| 1 諏訪圏域 | 2 茅野市全域 | 3 中学校区 |
| 4 10地区 | 5 区・自治会 | 6 隣近所 |
| 7 その他（具体的に | | ） |
-

問2 あなたは、住民の困りごとの相談をどのような経路で受けていますか。もっとも多いものの一つだけ◎をつけ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 本人・家族から
 - 2 近所の人から
 - 3 福祉推進委員から
 - 4 区・自治会など地域の団体の役員から
 - 5 地域で福祉活動をしているボランティアから
 - 6 保育所、幼稚園、小学校、中学校から
 - 7 保健福祉サービスセンター専門職から
 - 8 市役所の福祉関係課の職員から
 - 9 その他（
 - 10 これまでに相談を受けた経験はない
-

問3 あなたは、民生委員・児童委員として、困りごとを抱えている住民をどのような機会に発見することが多いですか。もっとも多いものの一つだけ◎をつけ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 近所の人との立ち話など日常生活を送る中で発見する
 - 2 区・自治会など地域の団体の会議・行事などに参加する中で発見する
 - 3 地域のボランティア活動に参加している中で発見する
 - 4 地域づくり組織等の会議や活動の中で発見する
 - 5 行政が開催する福祉関係の会議に参加する中で発見する
 - 6 その他（
 - 7 自分から発見することはほとんどない
-

問4 あなたの担当区域では、一般的に、一人暮らしの高齢者が福祉に関わる困りごとを抱えた時に相談に行くのはどの窓口だと思われますか。もっとも多いと思われるもの一つだけ○をつけてください。

- 1 民生委員・児童委員
 - 2 福祉推進委員
 - 3 保健福祉サービスセンター
 - 4 市の地域包括支援センター
 - 5 市役所の福祉関係課
 - 6 社会福祉協議会
 - 7 その他（
-

問5・6は、区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

→主任児童委員は、次ページの間7に進んでください。

問5 あなたは、民生委員・児童委員として受けた相談を解決するためにつなげる機関やサービスがみつからない時、民児協内で相談する以外に、だれに相談しますか。もっともよく相談する相手に一つだけ○をつけてください。

- 1 区・自治会長など
- 2 保健福祉サービスセンターの専門職
- 3 市の地域包括支援センターの専門職
- 4 市役所の福祉関係課の窓口の職員
- 5 社会福祉協議会の職員
- 6 その他 ()

【区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

問6 もし、あなたの担当区域に次のような困りごとを抱えている人がいたら、あなたはどのように行動しますか。行動する可能性がもっとも高いものに一つだけ○をつけてください。

(1) 歩行が困難になりつつある一人暮らしの高齢者が、地域で開かれているサロンに参加したいと思っているが、移動の手段がない。

- 1 自分で世話をする
- 2 近所の人に協力を依頼して、複数の住民と一緒に世話をする
- 3 福祉推進委員に協力を依頼する
- 4 地域づくり組織の福祉部会で話し合う
- 5 区・自治会長に相談する
- 6 NPOなどサービスを提供している団体を紹介する
- 7 保健福祉サービスセンターの専門職につなぐ
- 8 市役所の福祉関係課につなぐ
- 9 社会福祉協議会につなぐ
- 10 その他 ()
- 11 民生委員・児童委員としては特に対応しない

【区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

(2) 歩行が困難になりつつある一人暮らしの高齢者が、食料品を購入するための買い物に行くことが難しい。

- 1 自分で世話をする
- 2 近所の人に協力を依頼して、複数の住民と一緒に世話をする
- 3 福祉推進委員に協力を依頼する
- 4 地域づくり組織の福祉部会で話し合う
- 5 区・自治会長に相談する
- 6 NPOなどサービスを提供している団体を紹介する
- 7 保健福祉サービスセンターの専門職につなぐ
- 8 市役所の福祉関係課につなぐ
- 9 社会福祉協議会につなぐ
- 10 その他 ()
- 11 民生委員・児童委員としては特に対応しない

【ここからは全員お答えください】

問7 もし、あなたの地域で、支えあい活動に取り組むことになった場合、住民がまとまりやすい拠点(場所)としてどこが適切だとお考えですか。もっとも適切だと考える場所に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------------------|
| 1 公民館 | 2 小学校 |
| 3 保育所 | 4 保育所以外の福祉施設(特別養護老人ホームなど) |
| 5 地区コミュニティセンター | 6 市の社会福祉協議会 |
| 7 その他 () | |

問8 あなたの地域にある次の機関は、民生委員・児童委員活動を行う上で利用しやすいですか。当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。

(1) 市役所の福祉関係課の窓口

- 1 利用しやすい 2 利用しにくい 3 どちらともいえない

(1) - 2 「2 利用しにくい」と回答された方にお尋ねします。それは、どのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 行きにくい場所にある
- 2 相談しにくい、入りにくい雰囲気がある
- 3 開設日・時間が限られている
- 4 相談しても解決が期待できない
- 5 相談しても結論が出るまでに時間がかかる
- 6 その他 ()

問10 あなたの地域には地域づくり組織の福祉部会がありますが、これについてどのように考えですか。「そう思う」「まあそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち、当てはまるものの番号を○で囲んでください。

	そう 思う	まあ そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう 思わない
・地域で働く専門職との話し合いの場 になっている	1	2	3	4	5
・地域活動に関わっている住民・ボラ ンティアとの話し合いの場になって いる	1	2	3	4	5
・民生委員・児童委員では解決できない 問題について相談する場になっている	1	2	3	4	5
・地域で支えが必要な人について相談す る場になっている	1	2	3	4	5
・民生委員・児童委員を支えてもらえる 場になっている	1	2	3	4	5
・地域での新しいサービスや活動につい て話し合う場になっている	1	2	3	4	5

問11 あなたは、一般的に人は信頼できると思いますか。それとも信頼できないと思いますか。当てはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- 1 信頼できる
- 2 やや信頼できる
- 3 どちらともいえない
- 4 やや信頼できない
- 5 信頼できない

問12 あなたが現在お住まいの地域の人々は、全体としてお互いを信頼し合っていると思いますか。当てはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- 1 信頼しあっている
- 2 やや信頼しあっている
- 3 どちらともいえない
- 4 やや信頼しあっていない
- 5 信頼しあっていない

問13 あなたの地域の人々は、民生委員・児童委員のことを理解していると思いますか。あなたのお気持ちに一番近いものに一つだけ○をつけてください。

- 1 理解している
- 2 やや理解している
- 3 どちらともいえない
- 4 やや理解していない
- 5 理解していない

問14 平成29(2017)年2月1日現在、あなたは、民生委員・児童委員として何期目ですか。

() 期目

問15 あなたの民生委員・児童委員としての役割に○をつけてください。

- 1 区域を担当する委員
- 2 主任児童委員

問16 あなたの民生委員・児童委員の担当区域内での居住歴はどれにあてはまりますか。()に年数を記入し、当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。

※居住されている区域とは異なる区域を担当されている場合には、現在お住まいの場所における居住歴を回答してください。

居住年数 () 年

- 1 生まれてから同じ場所にずっと住んでいる
- 2 生まれはこの市だが、今の場所とは違っている
- 3 生まれはこの市だが、しばらく他所に出て、帰ってきた
- 4 生まれは他所だが、今の場所に来てからずっと住んでいる
- 5 生まれは他所で、ここに住むのも一時期だけである

問17 あなたは、現在、地域でどのような活動をされていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 区・自治会での活動
- 2 地区社会福祉協議会での活動
- 3 学校・PTA等の活動
- 4 子ども会育成会
- 5 婦人会
- 6 高齢者クラブ
- 7 商工会・農協・森林組合・生協などの協同組合
- 8 スポーツ・レクリエーション活動
- 9 趣味・娯楽などのサークル活動
- 10 上記以外のボランティア・NPO団体などにおける地域活動
- 11 勤め先などでの社会貢献活動
- 12 組織に属さない個人の活動
- 13 その他(具体的に)

問18 あなたは、10地区で策定された『地域福祉行動計画』の策定に参加されましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 策定委員会の委員として参加した
 - 2 地域での懇談会などに参加した
 - 3 アンケート調査に回答した
 - 4 その他 ()
 - 5 計画策定には参加していない
-

問19 茅野市でだれもが安心して暮らし続けるために必要な相談や支援のあり方について、あなたがお考えのことをご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

地域の相談・支援体制に関するアンケート【名張市民生委員・児童委員対象】

平成29年2月実施

日本地域福祉学会研究プロジェクト
研究代表 市川一宏 (ルーテル学院大学教授)

問1 「地域」という言葉を聞いたときに、あなたが最初に思い浮かべる「地域」の範囲は次のどれでしょうか。次の中からあてはまる番号に一つだけに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|---------|--------|
| 1 伊賀圏域 | 2 名張市全域 | 3 中学校区 |
| 4 地域づくり組織の圏域 | 5 区・自治会 | 6 隣近所 |
| 7 その他（具体的に | |) |

問2 あなたは、住民の困りごとの相談をどのような経路で受けていますか。もっとも多いものに一つだけ◎をつけ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 本人・家族から
- 2 近所の人から
- 3 町内会など地域の団体の役員から
- 4 地域で福祉活動をしているボランティアから
- 5 保育所、幼稚園、小学校、中学校から
- 6 まちの保健室の専門職から
- 7 市役所の福祉関係課の職員から
- 8 その他（)
- 9 これまでに相談を受けた経験はない

問3 あなたは、民生委員・児童委員として、困りごとを抱えている住民をどのような機会に発見することが多いですか。もっとも多いものに一つだけ◎をつけ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 近所の人との立ち話など日常生活を送る中で発見する
- 2 町内会など地域の団体の会議・行事などに参加する中で発見する
- 3 地域のボランティア活動に参加している中で発見する
- 4 地域づくり組織等の会議や活動の中で発見する
- 5 行政が開催する福祉関係の会議に参加する中で発見する
- 6 その他（)
- 7 自分から発見することはほとんどない

問4 あなたの担当区域では、一般的に、一人暮らしの高齢者が福祉に関わる困りごとを抱えた時に相談に行くのはどの窓口だと思いますか。もっとも多いと思われるものに一つだけ○をつけてください。

- 1 民生委員・児童委員
- 2 まちの保健室
- 3 市の地域包括支援センター
- 4 市役所の福祉関係課
- 5 市の社会福祉協議会
- 6 その他 ()

【問5・6は、区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

→主任児童委員は、次ページの問7に進んでください。

問5 あなたは、民生委員・児童委員として受けた相談を解決するためにつなげる機関やサービスが見つからない時、民児協内で相談する以外に、だれに相談しますか。もっともよく相談する相手に一つだけ○をつけてください。

- 1 町内会長・自治会長など
- 2 まちの保健室の専門職
- 3 市の地域包括支援センターの専門職
- 4 市役所の福祉関係課の窓口の職員
- 5 社会福祉協議会の職員
- 6 その他 ()

【区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

問6 もし、あなたの地域に次のような困りごとを抱えている人がいたら、あなたはどのように行動しますか。行動する可能性がもっとも高いものに一つだけ○をつけてください。

(1) 歩行が困難になりつつある一人暮らしの高齢者が、地域で開かれているサロンに参加したいと思っているが、移動の手段がない。

- 1 自分で世話をする
- 2 近所の人に協力を依頼して、複数の住民と一緒に世話をする
- 3 地域づくり組織の福祉部会で話し合う
- 4 町内会長・自治会長に相談する
- 5 NPOなどサービスを提供している団体を紹介する
- 6 まちの保健室の専門職につなぐ
- 7 市役所の福祉関係課につなぐ
- 8 社会福祉協議会につなぐ
- 9 その他 ()
- 10 民生委員・児童委員としては特に対応しない

【区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

(2) 歩行が困難になりつつある一人暮らしの高齢者が、食料品を購入するための買い物に行くことが難しい。

- 1 自分で世話をする
- 2 近所の人に協力を依頼して、複数の住民と一緒に世話をする
- 3 地域づくり組織の福祉部会で話し合う
- 4 町内会長・自治会長に相談する
- 5 NPOなどサービスを提供している団体を紹介する
- 6 まちの保健室の専門職につなぐ
- 7 市役所の福祉関係課につなぐ
- 8 社会福祉協議会につなぐ
- 9 その他 ()
- 10 民生委員・児童委員としては特に対応しない

【ここからは全員お答えください】

問7 もし、あなたの地域で、支え合い活動に取り組むことになった場合、住民がまとまりやすい拠点(場所)としてどこが適切だとお考えですか。もっとも適切だと考える場所に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------------------|
| 1 公民館(市民センター) | 2 小学校 |
| 3 保育所 | 4 保育所以外の福祉施設(特別養護老人ホームなど) |
| 5 地区社会福祉協議会 | 6 市の社会福祉協議会 |
| 7 その他 () | |

問8 あなたの地域にある次の機関は、民生委員・児童委員活動を行う上で利用しやすいですか。当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。

(1) 市役所の福祉関係課の窓口

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| 1 利用しやすい | 2 利用しにくい | 3 どちらともいえない |
|----------|----------|-------------|

(1) - 2 「2 利用しにくい」と回答された方にお尋ねします。それは、どのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 行きにくい場所にある
- 2 相談しにくい、入りにくい雰囲気がある
- 3 開設日・時間が限られている
- 4 相談しても解決が期待できない
- 5 相談しても結論が出るまでに時間がかかる
- 6 その他 ()

問10 あなたの地域には、地域づくり組織の福祉部会がありますが、これについてどのように考えですか。「そう思う」「まあそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち、当てはまるものの番号を○で囲んでください。

	そう 思う	まあ そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう 思わない
・地域で働く専門職との話し合いの場 になっている	1	2	3	4	5
・地域活動に関わっている住民・ボラ ンティアとの話し合いの場になって いる	1	2	3	4	5
・民生委員・児童委員では解決できない 問題について相談する場になっている	1	2	3	4	5
・地域で支えが必要な人について相談す る場になっている	1	2	3	4	5
・民生委員・児童委員を支えてもらえる 場になっている	1	2	3	4	5
・地域での新しいサービスや活動につい て話し合う場になっている	1	2	3	4	5

問11 あなたは、一般的に人は信頼できると思いますか。それとも信頼できないと思いますか。当てはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- 1 信頼できる
- 2 やや信頼できる
- 3 どちらともいえない
- 4 やや信頼できない
- 5 信頼できない

問12 あなたが現在お住まいの地域の人々は、全体としてお互いを信頼し合っていると思いますか。当てはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- 1 信頼しあっている
- 2 やや信頼しあっている
- 3 どちらともいえない
- 4 やや信頼しあっていない
- 5 信頼しあっていない

問13 あなたの地域の人々は、民生委員・児童委員のことを理解していると思いますか。あなたのお気持ちに一番近いものに一つだけ○をつけてください。

- 1 理解している
- 2 やや理解している
- 3 どちらともいえない
- 4 やや理解していない
- 5 理解していない

問14 平成29(2017)年2月1日現在、あなたは、民生委員・児童委員として何期目ですか。

() 期目

問15 あなたの民生委員・児童委員としての役割に○をつけてください。

- 1 区域を担当する委員
- 2 主任児童委員

問16 あなたの民生委員・児童委員の担当区域内での居住歴はどれにあてはまりますか。()に年数を記入し、当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。

※居住されている区域とは異なる区域を担当されている場合には、現在お住まいの場所における居住歴を回答してください。

居住年数 () 年

- 1 生まれてから同じ場所にずっと住んでいる
- 2 生まれはこの市だが、今の場所とは違っている
- 3 生まれはこの市だが、しばらく他所に出て、帰ってきた
- 4 生まれは他所だが、今の場所に来てからずっと住んでいる
- 5 生まれは他所で、ここに住むのも一時期だけである

問17 あなたは、現在、地域でどのような活動をされていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 自治会・町内会での活動
- 2 地区社会福祉協議会での活動
- 3 学校・PTA等の活動
- 4 子ども会
- 5 婦人会
- 6 老人クラブ
- 7 商工会・農協・森林組合・生協などの協同組合
- 8 スポーツ・レクリエーション活動
- 9 趣味・娯楽などのサークル活動
- 10 上記以外のボランティア・NPO団体などにおける地域活動
- 11 勤め先などでの社会貢献活動
- 12 組織に属さない個人の活動
- 13 その他(具体的に)

問18 あなたは、平成17(2005)年に名張市で策定された地域福祉計画の策定に参加されましたか。あ
てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 策定委員会の委員として参加した
 - 2 計画策定のための市内14地域での懇談会に参加した
 - 3 アンケート調査に回答した
 - 4 その他 ()
 - 5 計画策定には参加していない
-

問19 名張市でだれもが安心して暮らし続けるための住民の相談・支援システムの課題について、あなたがお考えのことをご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

地域の相談・支援体制に関するアンケート【都城市民生委員・児童委員対象】

平成29年2月実施

日本地域福祉学会研究プロジェクト
研究代表 市川一宏（ルーテル学院大学教授）

【調査の趣旨】

このアンケートは、地域における相談・支援体制の現状を把握し、地域包括支援体制をつくるための課題を明らかにすることを目的として、日本地域福祉学会研究プロジェクトが都城市社会福祉協議会の協力を得て実施するものです。

回答にあたっては無記名でお答えいただき、ご回答いただいた内容はこの目的のみに使用し、結果は統計的に処理しますので、皆様にご迷惑をおかけすることはありません。

本アンケートの趣旨を、ご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【調査対象者および回答方法】

本調査は、都城市の民生委員・児童委員全員を対象としています。

ご記入後、アンケート用紙を同封の封筒に入れて、**3月の定例会**で、提出をお願いします。

【本調査の問い合わせ先】

都城市社会福祉協議会 地域福祉課 担当：大田勝信

〒885-0077 都城市松元町4街区17号

電話：0986-25-2123

FAX：0986-25-2103

e-mail：ota-k@m-syakyo.or.jp

問1 「地域」という言葉を聞いたときに、あなたが最初に思い浮かべる「地域」の範囲は次のどれでしょうか。次の中からあてはまる番号に一つだけに○をつけてください。

- 1 現在の都城市全域
- 2 中学校区（地区社協）
- 3 小学校区
- 4 自治公民館の範囲
- 5 班
- 6 隣近所
- 7 その他（具体的に _____）

問2 あなたは、住民の困りごとの相談をどのような経路で受けていますか。もっとも多いものに一つだけ◎をつけ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 本人・家族から
- 2 近所の人から
- 3 福祉協力員から
- 4 自治公民館から
- 5 地区社協の役員等から
- 6 地域で福祉活動をしているボランティアから
- 7 保育所、幼稚園、小学校、中学校から
- 8 保育所以外の福祉施設（特別養護老人ホームなど）
- 9 市役所の福祉課・総合支所の職員から
- 10 その他（ _____）
- 11 これまでに相談を受けた経験はない

問3 あなたは、民生委員・児童委員として、困りごとを抱えている住民をどのような機会に発見することが多いですか。もっとも多いものに一つだけ◎をつけ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 近所の人との立ち話など日常生活を送る中で発見する
- 2 自治公民館の会議や活動に参加する中で発見する
- 3 地区社協の活動に参加する中で発見する
- 4 地域のボランティア活動に参加する中で発見する
- 5 まちづくり協議会の会議や活動の中で発見する
- 6 行政が開催する福祉関係の会議に参加する中で発見する
- 7 その他（ _____）
- 8 自分から発見することはほとんどない

問4 あなたの担当区域では、一般的に、一人暮らしの高齢者が福祉に関わる困りごとを抱えた時に相談に行くのはどの窓口だと思いますか。もっとも多いと思われるものに一つだけ○をつけてください。

- 1 民生委員・児童委員
- 2 福祉協力員
- 3 自治公民館
- 4 地区社協
- 5 市の地域包括支援センター
- 6 市役所の福祉課・総合支所
- 7 市の社会福祉協議会
- 8 その他 ()

【問5・6は、区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

→主任児童委員は、次ページの間7に進んでください。

問5 あなたは、民生委員・児童委員として受けた相談を解決するためにつなげる機関やサービスがみつからない時、民児協内で相談する以外に、だれに相談しますか。もっともよく相談する相手に一つだけ○をつけてください。

- 1 自治公民館長
- 2 地区社協の役員等
- 3 市の地域包括支援センターの専門職
- 4 市役所の福祉課・総合支所の職員
- 5 市の社会福祉協議会の職員
- 6 その他 ()

【区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

問6 もし、あなたの担当区域に次のような困りごとを抱えている人がいたら、あなたはどのように行動しますか。行動する可能性がもっとも高いものに一つだけ○をつけてください。

(1) 歩行が困難になりつつある一人暮らしの高齢者が、地域で開かれているサロンに参加したいと思っているが、移動の手段がない。

- 1 自分で世話をする
- 2 近所の人に協力を依頼して、複数の住民と一緒に世話をする
- 3 福祉協力員に協力を依頼する
- 4 自治公民館長に相談する
- 5 地区社協の役員等に相談する
- 6 まちづくり協議会で話し合う
- 7 NPOなどサービスを提供している団体を紹介する
- 8 市役所の福祉課・総合支所につなぐ
- 9 市の社会福祉協議会につなぐ
- 10 その他 ()
- 11 民生委員・児童委員としては特に対応しない

【区域を担当する民生委員・児童委員のみお答えください】

(2) 歩行が困難になりつつある一人暮らしの高齢者が、食料品を購入するための買い物に行くことが難しい。

- 1 自分で世話をする
- 2 近所の人に協力を依頼して、複数の住民と一緒に世話をする
- 3 福祉協力員に協力を依頼する
- 4 自治公民館長に相談する
- 5 地区社協の役員等に相談する
- 6 まちづくり協議会で話し合う
- 7 NPOなどサービスを提供している団体を紹介する
- 8 市役所の福祉課・総合支所につなぐ
- 9 市の社会福祉協議会につなぐ
- 10 その他 ()
- 11 民生委員・児童委員としては特に対応しない

【ここからは全員お答えください】

問7 もし、あなたの地域で、支えあい活動に取り組むことになった場合、住民がまとまりやすい拠点(場所)としてどこが適切だとお考えですか。もっとも適切だと考える場所に一つだけ○をつけてください。

- | | | |
|---------------------------|---------|------------|
| 1 自治公民館 | 2 地区公民館 | 3 地区社協の事務局 |
| 4 小学校 | 5 中学校 | 6 保育所 |
| 7 保育所以外の福祉施設(特別養護老人ホームなど) | 8 総合支所 | |
| 9 市の社会福祉協議会 | | |
| 10 その他 () | | |

問8 あなたの地域にある次の機関は、民生委員・児童委員活動を行う上で利用しやすいですか。当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。

(1) 市役所の福祉課の窓口

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| 1 利用しやすい | 2 利用しにくい | 3 どちらともいえない |
|----------|----------|-------------|

(1) -2 「2 利用しにくい」と回答された方にお尋ねします。それは、どのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 行きにくい場所にある
- 2 相談しにくい、入りにくい雰囲気がある
- 3 開設日・時間が限られている
- 4 相談しても解決が期待できない
- 5 相談しても結論が出るまでに時間がかかる
- 6 その他 ()

問10 あなたの地域にはまちづくり協議会がありますが、これについてどのように考えですか。「そう思う」「まあそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち、当てはまるものの番号を○で囲んでください。

	そう 思う	まあ そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう 思わない
・地域で働く専門職との話し合いの場 になっている	1	2	3	4	5
・地域活動に関わっている住民・ボラ ンティアとの話し合いの場になって いる	1	2	3	4	5
・民生委員・児童委員では解決できない 問題について相談する場になっている	1	2	3	4	5
・地域で支えが必要な人について相談す る場になっている	1	2	3	4	5
・民生委員・児童委員を支えてもらえる 場になっている	1	2	3	4	5
・地域での新しいサービスや活動につい て話し合う場になっている	1	2	3	4	5

問11 あなたは、一般的に人は信頼できると思いますか。それとも信頼できないと思いますか。当てはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- 1 信頼できる
- 2 やや信頼できる
- 3 どちらともいえない
- 4 やや信頼できない
- 5 信頼できない

問12 あなたが現在お住まいの地域の人々は、全体としてお互いを信頼し合っていると思いますか。当てはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- 1 信頼しあっている
- 2 やや信頼しあっている
- 3 どちらともいえない
- 4 やや信頼しあっていない
- 5 信頼しあっていない

問13 あなたの地域の人々は、民生委員・児童委員のことを理解していると思いますか。あなたのお気持ちに一番近いものに一つだけ○をつけてください。

- 1 理解している
- 2 やや理解している
- 3 どちらともいえない
- 4 やや理解していない
- 5 理解していない

問14 平成29(2017)年2月1日現在、あなたは、民生委員・児童委員として何期目ですか。

() 期目

問15 あなたの民生委員・児童委員としての役割に○をつけてください。

- 1 区域を担当する委員
- 2 主任児童委員

問16 あなたの民生委員・児童委員の担当区域内での居住歴はどれにあてはまりますか。()に年数を記入し、当てはまる番号に一つだけに○をつけてください。

※居住されている区域とは異なる区域を担当されている場合には、現在お住まいの場所における居住歴を回答してください。

居住年数 () 年

- 1 生まれてから同じ場所にずっと住んでいる
- 2 生まれはこの市だが、今の場所とは違っている
- 3 生まれはこの市だが、しばらく他所に出て、帰ってきた
- 4 生まれは他所だが、今の場所に来てからずっと住んでいる
- 5 生まれは他所で、ここに住むのも一時期だけである

問17 あなたは、現在、地域でどのような活動をされていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 1 自治公民館の活動 | 2 地区社協の活動 |
| 3 学校・PTA等の活動 | 4 子ども会育成会 |
| 5 婦人会 | 6 高齢者クラブ |
| 7 商工会・農協・森林組合・生協などの協同組合 | |
| 8 スポーツ・レクリエーション活動 | 9 趣味・娯楽などのサークル活動 |
| 10 上記以外のボランティア・NPO団体などにおける地域活動 | |
| 11 勤め先などでの社会貢献活動 | 12 組織に属さない個人の活動 |
| 13 その他(具体的に |) |

問18 あなたは、平成22(2010)年に都城市で策定された「第二次 地域福祉計画」の策定に参加されましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 策定委員会の委員として参加した
 - 2 福祉懇談会や研修会に参加した
 - 3 アンケート調査に回答した
 - 4 その他 ()
 - 5 計画策定には参加していない
-

問19 都城市でだれもが安心して暮らし続けるために必要な相談や支援のあり方について、あなたがお考えのことをご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

日本地域福祉学会研究プロジェクト

【研究代表】 市川 一宏（ルーテル学院大学）

原田 正樹（日本福祉大学）

小松 理佐子（日本福祉大学）

高野 和良（九州大学大学院）

妻鹿 ふみ子（東海大学）

永田 祐（同志社大学）

菱沼 幹男（日本社会事業大学）

室田 信一（首都大学東京）

渋谷 篤男（全国社会福祉協議会）

佐甲 学（全国社会福祉協議会）

【事務局】 秋貞由美子（中央共同募金会）

地域の相談・支援体制に関するアンケート【民生委員・児童委員対象】
調査結果報告書

平成 29 年 5 月

日本地域福祉学会研究プロジェクト

平成 27-29 年度科学研究費補助金基盤研究 (B)

「コミュニティ再生に向けた地域福祉実践理論の構築とその研究方法論の確立に関する研究」

(課題番号: 15H03434)

研究代表 市川 一宏 (ルーテル学院大学)

〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-20

電話 0422-31-4611 (代)